

令和6年度使用
小学校教科用図書調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査員会

目 次

国 語	1
書 写	6
社 会	10
地 図	15
算 数	18
理 科	28
生 活	34
音 楽	46
図画工作	54
家 庭	58
保 健	60
英 語	67
道 徳	77

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に登録された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	国語	3	5

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	17 教出	38 光村
基礎・基本の 定着	<p>① 単元の目標の示し方</p> <p>○各単元の教材文の前の導入ページに「言葉の力」として目標を示している。</p> <p>② 言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>○「言葉の広場」では、多くの言葉を示している。上巻では「学校にあるものの名前」(30語)、「家にあるものの名前」(30語)、「町や村にあるものの名前」(47語)、「くらしの中でよくつかうことば」(58語)、下巻では「みちかな人をあはわすことば」(20語)、「もののようにすをあはわすことば」(30語)、「人の体をあはわすことば」(39語)、「人がすることをあはわすことば」(56語)の項目別に示している。(第2学年)</p> <p>○二次元コードにより、Web上に掲載されている全学年の「ことばの広場」を見ることができる。</p>	<p>① 単元の目標の示し方</p> <p>○単元末の「ここが大事」欄に、教材文を例示しながら目標を示している。</p> <p>② 言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>○「言葉の木」では、上巻に「はんたいのいみの言葉」(18語)、「にたいみの言葉」(18語)、下巻に「ひろいことばとせまいことば」(19語)に分けて示している。(第2学年)</p>	<p>① 単元の目標の示し方</p> <p>○各単元の冒頭に何をどのように学習するのかを示すとともに、単元末の「たいせつ」欄に目標を箇条書きで示している。</p> <p>② 言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>○「ことばのたからばこ」では、「じんぶつをあはわすことば」(10語)、「もののようにすをあはわすことば」(14語)、「気もちをあはわすことば」(20語)、下巻では「じんぶつをあはわすことば」(10語)、「もののようにすをあはわすことば」(15語)、「気もちをあはわすことば」(21語)に分けて示している。(第2学年)</p> <p>○二次元コードにより、Web上に掲載されている下学年で学んだ言葉を見ることができる。</p>

	<p>③ 情報の扱い方に関する事項</p> <p>○「じょうほうのとびら」では、「全体と中心」、「分ける」、「考えと理由」について、関連する単元の前後に配置し、二人の人物の会話を通して示している。(第3学年)</p>	<p>③ 情報の扱い方に関する事項</p> <p>○「じょうほうのまとめ」では、「全体と中心」、「辞典や事典・ずかんの使い方」、「考えとその理由・事例」、「メモの取り方」について、巻末にまとめて示している。(第3学年)</p>	<p>③ 情報の扱い方に関する事項</p> <p>○「じょうほう」では、「全体と中心」、「引用するとき」について、関連する単元の前後に配置し、二人の人物の会話や吹き出し、例を示すなどして明確に示している。(第3学年)</p>
主体的に学習に取り組む工夫	<p>④ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○「話すこと・聞くこと」の単元「第5学年・問題を解決するために話し合おう」では、「身の回りのある問題」を題材にし、「取り組む」過程で(1)議題を決めよう(2)議題に対する自分の考えを持とう(3)計画的に話し合おう、を示している。</p> <p>⑤ 課題解決的な学習を実施するための工夫</p> <p>○「読むこと」の単元「第3学年・モチモチの木」では、課題として「どんなせいかくの登場人物が出てくるかな。」「モチモチの木っていったいどんな木なんだろう。登場人物とどんな関係があるのかな。」を設定している。</p> <p>○学習の進め方として、「見通す」「取り組む」「振り返る」を示している。</p> <p>⑥ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <p>○「書くこと」の単元「第4学年・『和と洋新聞』を作ろう」では、資料として「記事の下書きの例」等合計6つを示している。</p>	<p>④ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○「話すこと・聞くこと」の単元「第5学年・立場を明確にして話し合おう」では、「ミニディベート-AI とのくらし」を題材に、「見通しをもとう」の過程で(1)決めよう・集めよう(2)組み立てよう(3)話そう・聞こう(4)伝えよう、を示している。</p> <p>⑤ 課題解決的な学習を実施するための工夫</p> <p>○「読むこと」の単元「第3学年・モチモチの木」では、課題として「豆太の行動や会話からせいかくをそうぞうして、考えたことをつたえ合おう。」を設定している。</p> <p>○学習の進め方として、「たしかめよう」「くわしくよもう」「まとめよう」「つたえあおう」を示している。</p> <p>⑥ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <p>○「書くこと」の単元「第4学年・集めたざいりょうでわかりやすく伝えよう」では、資料として「出来上がった新聞の例」等合計5つを示している。</p>	<p>④ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○「話すこと・聞くこと」の単元「第5学年・たがいの立場を明確にして、話し合おう」では、「よりよい学校生活のために」を題材に、「見通しをもとう」の過程で(1)決めよう集めよう(2)準備しよう(3)話そう 聞こう(4)つなげよう、を示している。</p> <p>⑤ 課題解決的な学習を実施するための工夫</p> <p>○「読むこと」の単元「第3学年・モチモチの木」では、課題として「あなたは、『豆太』をどのような人物だと思いましたか。友だちはどのように考えているのでしょうか。」を設定している。</p> <p>○学習の進め方として、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」を示している。</p> <p>⑥ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <p>○「書くこと」の単元「第4学年・見せ方を工夫して書こう」では、資料として「取材をするときのポイント」等合計11を示している。</p>

	<p>○全単元共通して、単元冒頭の「見通す」で、単元で身につけたい「言葉の力」と学習の流れを見開き（または片面）紙面で示している。「ふり返る」では、「言葉の力」を確かめて振り返る問いかけとなっている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では学習のステップとして「学習の進め方」を単元の冒頭に示している。「読むこと」では、「学習のてびき」を見開き構成で提示し、めあてと振り返りを照応させている。</p>	<p>○全単元共通して、「問いをもとう」「目標」の二つを示し、単元の振り返り「ふりかえろう」では、学習指導要領の三つの観点に沿って自己評価できるように「知る」「読む」「書く」「つなぐ」を示している。</p>
<p>内容の構成・配列・分量</p>	<p>⑦ 単元や資料等の配列</p> <p>○第1学年から第4学年までは、上下巻の2冊構成、第5学年及び第6学年は各1冊である。</p> <p>○第2学年以上の各巻の巻頭に、「言葉の力を集めよう」「国語の学習の進め方」を設定している。</p> <p>○全学年の「言葉の力」が領域別・学年別にまとめられた資料をWeb上で見ることができ二次元コードを付している。</p> <p>○「読むこと」の単元と「書くこと」の単元の間、小単元「情報のとびら」を配置し、両単元を関連させる学習を設定している。</p> <p>⑧ 伝統と文化に関する内容の記述</p> <p>○6年間を通して「きせつの足音（第1学年～第4学年）」「季節の足音（第5・6学年）」を設定し、詩、俳句、短歌、ことわざ等の教材を掲載している。また、第6学年では狂言、能、歌舞伎等の教材も掲載している。</p> <p>○単元等数</p> <p>第1・2学年 8 第3・4学年 12 第5・6学年 12</p>	<p>⑦ 単元や資料等の配列</p> <p>○全学年上下巻の2冊構成である。</p> <p>○巻頭に「〇年生で学ぶこと」を設定している。</p> <p>○上下巻それぞれの巻末に、学習したことを振り返ることができるコーナー「ひろがる言葉」を設定している。</p> <p>○第3学年以上には、「読むこと」の単元の1つにおいて、教材文を読む際の視点に気付くための導入教材を配置している。</p> <p>⑧ 伝統と文化に関する内容の記述</p> <p>○6年間を通して「ことばのぶんか（第1学年）」「言葉の文化（第2学年～第6学年）」を設定し、詩、俳句、短歌、ことわざ等の教材を掲載している。</p> <p>○単元等数</p> <p>第1・2学年 7 第3・4学年 9 第5・6学年 10</p>	<p>⑦ 単元や資料等の配列</p> <p>○第1学年から第4学年までは、上下巻の2冊構成、第5学年及び第6学年は各1冊である。</p> <p>○巻頭に「国語の学びを見わたそう」を設定している。</p> <p>○第3学年以上には、「読むこと」の単元の1つにおいて、教材文を読む際の視点に気付くための導入教材〔練習〕を配置している。</p> <p>⑧ 伝統と文化に関する内容の記述</p> <p>○6年間を通して「きせつのことば（第1・2学年）」「きせつという言葉（第3学年）」「季節の言葉（第4学年～第6学年）」を設定し、詩、俳句、短歌、ことわざ等の教材を掲載している。また、第6学年では狂言、能、歌舞伎等の教材も掲載している。</p> <p>○単元等数</p> <p>第1・2学年 12 第3・4学年 15 第5・6学年 15</p>

<p>内容の 表現・表記</p>	<p>⑨ 巻頭の示し方</p> <p>○学習の進め方として、第2学年以上で「国語の学習の進め方」と提示し、「思い出そう」「見通す」「取り組む」「振り返る」「生かそう」という学習過程を示している。</p> <p>○身に付けたい力・学習することとして、第2学年以上で、「言葉の力を集めよう」と提示し、「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、各単元で身に付けたい力を一覧で示している。身に付けたい力の内容をWeb上で見ることができるように、二次元コードを示している。</p> <p>○前学年の学習の振り返りとして、第3学年以上で、巻末に「言葉の力のつながり」と提示し、「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、当該学年と前学年の「言葉の力」を併せて示している。</p> <p>⑩ 本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用</p> <p>○第5学年「書き手の意図を考えよう 新聞記事を読み比べよう」では、同じ出来事について、それぞれの新聞記事はどのように伝えているのか、記事と写真との関係に注意しながら、書き手の意図を読み取る学習を設定している。</p>	<p>⑨ 巻頭の示し方</p> <p>○学習の進め方として、「話す・聞く」「書く」の単元は最初のページに「読む」の単元は最後のページに「見通しをもとう」から「ふり返ろう」までの単元の学習過程を示している。</p> <p>○身に付けたい力・学習することとして、「□年生で学ぶこと」と提示し、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域に分け、教材名・単元名・身に付けたい力を示している。「言語の文化」「漢字の広場」「言葉の文化」「読書の広場」ごとに、単元名を示している。</p> <p>⑩ 本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用</p> <p>○第5学年「根拠となる資料にもとづいて考えを深め、自分の意見を書こう 世界遺産 白山山地からの提言―意見文を書こう」では、説明文と7つの資料を読んで、自然保護についての自分の意見を根拠となる資料に基づいて書く学習を設定している。</p>	<p>⑨ 巻頭の示し方</p> <p>○学習の進め方として、第2学年以上で「国語の学びを見わたそう」と提示し、「学習や生活の中で」「見通しをもつ」「問いをもつ」「話す・聞く」「書く」「読む」「ふりかえる」「学習や生活にいかす」という学習過程を示している。</p> <p>○身に付けたい力・学習することとして、第2学年以上で「□年生で学ぶこと」と提示し、「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、教材名・身に付けたい力、学習用語を示している。</p> <p>○前学年の学習の振り返りとして、「△年生（前学年又は当該学年の上巻）で学んだこと」と提示し、「□年生で学ぶこと」の下段に、領域ごとに対比させる形で、前学年で学んだことを示している。「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域については学習過程に沿って示し、「言葉」の領域については「言葉の使い方」「受けつがれてきた言葉」「情報」「読書」の4つに分けて示している。</p> <p>⑩ 本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用</p> <p>○第5学年「資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう 固有種が教えてくれること」では、資料を用いた文章の効果を考え、それを生かして意見文を書く学習を設定している。</p> <p>・地図・表、年表・図、図、写真、棒グラフ、</p>
----------------------	--	---	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の紙面「記事の構成」・写真「アップ」「ロング」・「A社の記事」「B社の記事」を提示している。 ・「記事と写真の関係を考える」「紙面の印象や、記事に対する読み手の興味は、写真がなかった場合とどう変わるか考える」「写真を選んだ理由を、書き手の意図と結び付けて考える」「書き手が記事の内容や見出し、写真に、どのような意図をこめているのかを考える」等の活動を促す記述がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の文書資料、写真、新聞記事、棒グラフなどを提示している。 ・「できるだけたくさんの資料を比べて、自分の考えをはっきりさせる」「「意見」と「根拠（もととなる資料）」が合っているか」「〈ふり返ろう〉さまざまな資料を比べながら読み、自分の考えをまとめるときに、どのようなことを意識したか」等の活動を促す記述がある。 	<p>折れ線グラフ等の複数の資料を提示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文章と、図表やグラフ、写真との関わりに注意しながら、確かめる」「筆者の考えや説明の工夫について、資料の効果にもふれながら、自分の考えをまとめる」「資料の効果を考えるときは〈筆者の立場から考える〉〈読み手の立場から考える〉」等の活動を促す記述がある。
<p>言語活動の充実</p>	<p>⑪ 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫 ○第3学年では「グループでの話し合い」、第4では学年「クラス全体での話し合い」、第5学年では「グループで話し合った後、クラスで共有し、話し合う」、第6学年では「グループでの話し合い」を取り上げている。</p> <p>⑫ 学校図書館機能の利活用 ○図書館での約束、本の仲間分け（日本十進分類法）、本のラベル、配架順、百科事典や図鑑などの調べ方、日本十進分類法（NDC）の仕組み、本のラベル（請求番号）、本のラベル（請求記号）、本のつくりと奥付、多様な本（点字付きの触って読める絵本・大活字本・マルチメディアデイジー・リーディングトラッカー）、目的に応じた調べ方や選書、図書館、文学館、歴史資料館、博物館、科学館、美術館の活用の仕方が示されている。</p>	<p>⑪ 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫 ○第3学年では「グループでの話し合い」、第4学年では「クラス全体での話し合い」、第5学年では「ミニディベート」、第6学年では「パネルディスカッション」を取り上げている。</p> <p>⑫ 学校図書館機能の利活用 ○図書館の利用、司書・目次、分かったことをメモしよう、図書館マップによる本の分類、本の探し方、本のラベル（分類記号）、目次や索引の使い方、前書き・後書き・奥付・本のつくり、日本十進分類法、本のラベル（所在記号・請求記号）、本の探し方、目的に応じた情報の使い分け、インターネット検索の仕方・注意、博物館、資料館、文学館、記念館、公共図書館、防災センターの説明の活用の仕方が示されている。</p>	<p>⑪ 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫 ○第3学年では「班での話し合い」、第4学年では「クラス全体での話し合い」、第5学年・第6学年では「グループでの話し合い」を取り上げている。</p> <p>⑫ 学校図書館等の利活用 ○図書館の利用・約束、本の探し方、本のつくり（表紙・題名）、図書館の本の分け方・並べ方、本の分類、本の探し方、地域の図書館、本の探し方（分類・ラベル・司書の先生・百科事典）、百科事典の活用（見出し語の見つけ方）、日本十進分類法、著作権の尊重、公共図書館（本以外の資料・多くの人が利用しやすい図書や機器・多様な本に親しめる工夫・ウェブサイト検索・電子図書館）、図書館以外の施設（文学館・博物館・資料館・美術館）の活用の仕方が示されている</p>

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に登録された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	書写	3	4

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	17 教出	38 光村
基礎・基本の 定着	<p>① 単元目標の示し方 【第6学年の「字配り・配列」の単元では】 ・「用紙に合った文字の大きさ」の中では(㉗～㉙)を比べて「適切な文字の大きさで書いているのはどれだろう」、「分かりやすく伝える書き方」では(前後の文を比較して)「どこをどのように変えているだろう」、「配列(小筆)」では(㉗～㉙)の例を示し「何をどのように直すと読みやすくなるか考えよう」と三つ示している。</p> <p>② 姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方 【第1学年では】 ・字を書く姿勢・手や足の置き方の写真とイラスト、線のなぞり・とめ・はらい等のイラスト、鉛筆・フェルトペンの持ち方の写真とイラスト等 計35P</p>	<p>① 単元目標の示し方 【第6学年の「字配り・配列」の単元では】 ・「用紙に対する文字の大きさと配列に気をつけて書こう」「用紙に対する文字の大きさと配列、点画のつながりに気をつけて書こう」(小筆)(大筆)と三つ示している。</p> <p>② 姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方 【第1学年では】 ・字を書く姿勢、字を消す時の手や足の置き方の写真とイラスト、線のなぞり方・とめ・はね等のイラスト、鉛筆・フェルトペン水筆の持ち方、水書用紙の使い方の写真とイラスト 計23P</p>	<p>① 単元目標の示し方 【第6学年の「字配り・配列」の単元では】 ・「用紙に合った文字の大きさや配列を工夫して書こう」「伝えたい情報は何かを考えて、文字の大きさや配列を工夫しよう」と二つ示している。</p> <p>② 姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方 【第1学年では】 ・字を書く姿勢・手の置き方・足の置き方、タブレットを使う姿勢の写真とイラスト、線のなぞり・止め・はらい・はね・曲がり・折れ・折り返し・むすび・反りの写真とイラスト、鉛筆・フェルトペン・水筆の持ち方の写真とイラスト 計22P</p>

	<p>【第3学年では】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆・鉛筆で机の上で書くときの姿勢・手の置き方・足の置き方、腕の使い方、ひじの位置、毛筆で立って書くとき・床の上で書くときの姿勢の写真、筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・曲がり・反り・はねの写真とイラスト、筆の持ち方・おろし方、用具の置き方と扱い方、墨のすり方、紙のしまい方、用具の後始末、鉛筆の持ち方、小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト 計 28P 	<p>【第3学年では】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆で机の上で書くとき・立って書くとき・床の上で書くときの姿勢の写真とイラスト、筆圧・始筆・送筆・終筆等毛筆で机の上で書くときの姿勢・手の置き方・足の置き方・ひじの位置、立って書くとき・床の上で書くとき・パソコンやタブレットを使うときの姿勢、バインダーで字を書くときの手の置き方の写真とイラストの写真とイラスト、筆の持ち方・おろし方、用具の置き方、扱い方等の写真とイラスト 計 27P 	<p>【第3学年では】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆で机の上で書くときの姿勢・手の置き方・足の置き方・ひじの位置・腕の使い方、立って書くとき・床の上で書くとき・鉛筆で机の上で書くとき・タブレットを使うときの姿勢の写真とイラスト、筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・はね・曲がり・反りの写真とイラスト、筆の持ち方・おろし方、用具の置き方と扱い方、紙のしまい方、墨の持ち方とすり方、用具の後始末、鉛筆の持ち方・小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト 計 33P
<p>主体的に学習に取り組む工夫</p>	<p>③ 課題解決的な学習を実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程を「見つけよう→たしかめよう→生かそう→ふり返ろう→生活に広げよう」と示している。 ・「書写のかぎ」（文字を整えて書くためのポイント）をキーワードに、課題解決的な学習展開になっている。それぞれの学習過程において「書写のかぎ」に関わる視点を示して、話し合ったり、生かしたり、広げたりする構成にしている。 ・Web上で動画視聴ができる二次元コードを記載しており、書く際のポイントや気を付けることを確かめて書くことができるようにしている。 	<p>③ 課題解決的な学習を実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程を「つかむ・考える→たしかめる→ふり返る→生かす・広げる」と示している。 ・「ためし書きと教科書の文字をくらべて、気をつけることを見つめよう」→「めあてに気をつけているか、たしかめながら練習しよう」→「めあてに気をつけて書けたか、友達と伝え合おう」→「学習した書き方を、他の文字にも生かそう」の流れで、自分の書いた文字と教材を比較・検討し、気付いたことを生かして書く構成にしている。 ・Web上で動画視聴ができる二次元コードを記載しており、書く際のポイントや気を付けることを確かめて書くことができるようにしている。 	<p>③ 課題解決的な学習を実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程を「考えよう→たしかめよう→生かそう」と示している。 ・「考えよう」と「たしかめよう」では課題解決的な学習になっており、話し合うことで大事にすべきことを考えたり、「たいせつ」（整った文字の書き方）を手掛かりに、大事なことを確かめ書いたりする学習展開にしている。 ・Web上で動画視聴ができる二次元コードを記載しており、書く際のポイントや気を付けることを確かめて書くことができるようにしている。

<p>内容の構成・配 列・分量</p>	<p>④ 単元等の配列、分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年：硬筆 26、記入欄 21P ・第2学年：硬筆 20、記入欄 18P ・第3学年：毛筆 10、硬筆 6、硬筆記入欄 13P ・第4学年：毛筆 9、硬筆 5、硬筆記入欄 13P ・第5学年：毛筆 8、硬筆 4、硬筆記入欄 14P ・第6学年：毛筆 8、硬筆 4、硬筆記入欄 12P <p>⑤ 伝統と文化に関する内容の記述</p> <p>【書写の歴史に関する資料等の内容とページ数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えんぴつの作り方、どうやって作るの筆・和紙・すずり・すみ、手書き文字と活字、書きぞめをしよう、手書きの文字のいろいろな書き方、世界の文字のいろいろ、日本の文字の歴史、他 全学年で 36P <p>【伝統的な言語文化に関する内容とページ数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔話、いろはうた、俳句、短歌、古文、漢詩、漢文 全学年で 9P (合計 45P) 	<p>④ 単元等の配列、分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年：硬筆 25、記入欄 11P ・第2学年：硬筆 18、記入欄 3P ・第3学年：毛筆 9、硬筆 9、硬筆記入欄 10P ・第4学年：毛筆 9、硬筆 9、硬筆記入欄 11P ・第5学年：毛筆 9、硬筆 6、硬筆記入欄 8P ・第6学年：毛筆 7、硬筆 6、硬筆記入欄 6P <p>⑤ 伝統と文化に関する内容の記述</p> <p>【書写の歴史に関する資料等の内容とページ数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんのかたちからできたかん字かな？筆について知ろう、書きぞめ、知りたいな世界の「書く」伝えたいな日本の「書く」、文字の旅 他 全学年で 42P <p>【伝統的な言語文化に関する内容とページ数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔話、俳句、短歌、古文、かるた 全学年で 11P (合計 53P) 	<p>④ 単元等の配列、分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年：硬筆 22、記入欄 24P ・第2学年：硬筆 20、記入欄 15P ・第3学年：毛筆 9、硬筆 4、硬筆記入欄 12P ・第4学年：毛筆 8、硬筆 3、硬筆記入欄 7P ・第5学年：毛筆 7、硬筆 6、硬筆記入欄 9P ・第6学年：毛筆 7、硬筆 4、硬筆記入欄 7P <p>⑤ 伝統と文化に関する内容の記述</p> <p>【書写の歴史に関する資料等の内容とページ数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年がじょう、書きぞめ、全国筆・紙・すみ・すずりマップ、手書き文字と活字、文字の歴史他 全学年で 39P <p>【伝統的な言語文化に関する内容とページ数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俳句・ことわざ、古文 全学年で 9P (合計 48P)
<p>内容の 表現・表記</p>	<p>⑥ 配色、レイアウト等表現・表記の工夫</p> <p>【第2学年の「筆順」の示し方について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆順のきまりをオレンジ色の矢印で示している。(上から、左から) ・筆順のきまりに当たる部分の色をピンク色で示している。 ・筆順を赤数字で示している。 ・筆順のきまりを漢字2字で例示している。 ・下部分に上段で取り上げた漢字の書き込み欄を設け、実際に書くことができるようにしている。 	<p>⑥ 配色、レイアウト等表現・表記の工夫</p> <p>【第2学年の「筆順」の示し方について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『よこ画から』『長いたて画から』を色の違う太矢印で示している。 ・「つらぬくたて画はあと」「外がわから内がわ」「にているところ」のきまりに当たる部分を赤で示している。 ・「つらぬくたて画はあと」「外がわから内がわ」以外は、筆順のきまりに当たる部分の筆順を、黒数字で示している。また、上段で取り上げた漢字の一部の筆順を黒数字で示し 	<p>⑥ 配色、レイアウト等表現・表記の工夫</p> <p>【第2学年の「筆順」の示し方について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆順のきまりを緑色の矢印で示している。(上から、左から) ・筆順のきまりに当たる部分の色を濃く示している。 ・2段目については、きまりの部分とそれ以外の部分を異なる色で示している。 ・上段：筆順(数字)ごとに異なる色で示している。下段：筆順を赤数字で示している。 ・筆順のきまりを漢字2字で例示している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ原則で書く漢字を複数例示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ原則で書く漢字や、カタカナと同じ原則で書く漢字を例示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下部分に上段で取り上げた漢字の書き込み欄を設け、実際に書くことができるようにしている。 ・同じ原則で書く漢字を1つ例示している。
言語活動の充実	<p>⑦ 学習や日常生活に生かす言語活動の工夫 「生活に広げよう」「文字といっしょに」「学びを生かそう」などの単元を設定している。</p> <p>【各学年の教材数と教材の例】</p> <p>第1学年（7）「にっきをかこう」 第2学年（8）「かんさつカードをかこう」 第3学年（9）「実験したことを記録しよう」 第4学年（9）「調べたことを伝える新聞を作ろう」 第5学年（10）「委員会活動を伝えるリーフレットを作ろう」 第6学年（11）「発表のためのポスターを書こう」 (合計 54)</p>	<p>⑦ 学習や日常生活に生かす言語活動の工夫 「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」などの単元を設定している。</p> <p>【各学年の教材数と教材の例】</p> <p>第1学年（7）「[かんさつカード・えにっき]かいてみよう」 第2学年（5）「しょうたいじょう、本のしょうかいカードをかこう」 第3学年（9）「暑中みまい」 第4学年（10）「ぼうさいかるたを作る」 第5学年（8）「年賀状、絵はがきを書こう」 第6学年（10）「思い出の残る言葉を書こう」 (合計 49)</p>	<p>⑦ 学習や日常生活に生かす言語活動の工夫 「書写広げたい」「もっと知りたい」「書写ブック」などの単元を設定している。</p> <p>【各学年の教材数と教材の例】</p> <p>第1学年（6）「すきなこと、なあに」 第2学年（6）「げんこう用紙に書くとき」 第3学年（7）「手紙の書き方」 第4学年（7）「みんなで考えよう SDGsブック」 第5学年（9）「英語で書いてみよう」 第6学年（9）「書写ブック」 (合計 44)</p>

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に登録された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	社会	3	5

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	17 教出	116 日文
基礎・基本の 定着	<p>① 目標の示し方</p> <p>○1時間ごとの学習問題の記載の仕方(第3学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きの左側に「つかむ」「調べる」「まとめる」等の学習過程とともに、「どのような～でしょうか。」「～しましょう。」等と記載している。 見開きごとに、1時間ごとの学習課題を端的にタイトルに示している。 <p>② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫</p> <p>○日本の位置と領土についての扱い(第5学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地図…日本の国土の位置、領土・領海の範囲、竹島、尖閣諸島、北方領土 写真…与那国島、択捉島、沖の鳥島、南鳥島、竹島、尖閣諸島、歯舞群島 	<p>① 目標の示し方</p> <p>○1時間ごとの学習問題の記載の仕方(第3学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「つかむ」「調べる」「まとめる」等の学習過程とともに、「どのような～だろう。」「～には、どうすればよいだろう。」等と記載している。 「次につなげよう」のコーナーを設け、「～はどうか。」「～しよう」等のように、今後の学習につながるように記載している。 <p>② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫</p> <p>○日本の位置と領土についての扱い(第5学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地図…日本の国土の位置、領土・領海の範囲、竹島、尖閣諸島 写真…与那国島、択捉島、沖の鳥島、南鳥島、北方領土、竹島、尖閣諸島 	<p>① 目標の示し方</p> <p>○1時間ごとの学習問題の記載の仕方(第3学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きの左側に「どのような～だろう。」「～は何だろう」等と記載している。 見開きごとに、1時間ごとの学習課題を端的にタイトルに示している。 <p>② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫</p> <p>○日本の位置と領土についての扱い(第5学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地図…日本の国土の位置、領土・領海の範囲、北方領土、竹島、尖閣諸島 写真…与那国島、沖の鳥島、択捉島、南鳥島、色丹島、竹島、尖閣諸島

	<p>○世界文化遺産の扱い（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。 ・「日本の世界文化遺産」のページで世界文化遺産を紹介している。 	<p>○世界文化遺産の扱い（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びのてびき」で世界遺産を示すマークを紹介している。 ・「日本列島 歴史の旅に出かけよう」のイラストの中で世界文化遺産を一部紹介している。 	<p>○世界文化遺産の扱い（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教科書の中のいろいろなコーナー」で世界遺産を示すマークを紹介している。 ・本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。
主体的に学習に取り組む工夫	<p>③ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○導入の工夫（第5学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入において、見開きや観音開きのページ構成、写真やキャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。 <p>④ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <p>○学習の進め方（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに「つかむ」の後に「学習問題」を示し、見開きページごとに問いを提示しながら「調べる学習」を進め、学習問題について調べて分かったことを整理し、「まとめる」というページを設けている。単元によっては、単元末に、学習したことを次の学習や生活に「いかす」、学習したことを基に、他の学習に「ひろげる」というページを設けている。 <p>○体験的な学習を実施するための工夫（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今に伝わる室町文化」「ひろげる」の学習の中で、「室町文化を体験して、レポートを書こう」というページを設け、茶の湯体験の様子と児童のレポートを例示している。 	<p>③ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○導入の工夫（第5学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入において、見開きや観音開きのページ構成、写真やキャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。 <p>④ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <p>○学習の進め方（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに「つかむ」の後に「みんなで作った学習問題」を示し、見開きページごとに問いを提示しながら「調べる学習」を進め、学習問題について調べてわかったことを整理し、「まとめる」というページを設けている。単元によっては、自分の生活に生かす「つなげる」、単元末に資料として「もっと知りたい」という構成で示している。 <p>○体験的な学習を実施するための工夫（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「室町文化と力をつける人々」「まとめる」という学習の中で、茶の湯と狂言の写真を提示し、茶の湯と能や狂言を外国から来た旅行者に説明する活動を設けるとともに、児童が室町時代の文化を説明している。 	<p>③ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○導入の工夫（第5学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入において、見開きや観音開きのページ構成、写真やキャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。 <p>④ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <p>○学習の進め方（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに「学習問題」を示し、「問い」を提示しながら調べる学習を進め、これまで学習してきたことを基に、考えたことや調べたことを表現する活動を設定している。単元によっては、単元末に児童が調べたいことや気になったことを取り上げる「未来へつなげる」というページを設けている。 <p>○体験的な学習を実施するための工夫（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今に伝わる室町文化と人々の暮らし」「調べる」学習の中で、茶の湯を体験する児童の写真を提示している。

<p>内容の構成・配列・分量</p>	<p>⑤ 単元や資料等の配列、分量</p> <p>○単元と構成と分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(3年) 通年1冊 (140 ページ) わたしのまち (38) はたらく人 (48) くらしを守る (34) 市のうつりかわり (32) ・(4年) 通年1冊 (168 ページ) 県 (26) 住みよいくらし (40) 自然災害 (22) 郷土 (36) 特色ある地域 (36) ・(5年) 上下巻 (上 116 ページ 下 124 ページ) 国土 (60) 農業・水産業 (58) (下 124) 工業 (48) 情報 (36) 環境 (40) ・(6年) 通年2冊 (260 ページ) 政治 (54) 歴史 (158) 国際社会 (48) <p>⑥ 現代的な諸課題の扱い</p> <p>○自然災害から人々を守る活動に関する内容の扱い (第4学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【大単元の導入 (2)、風水害 (16) ※発展: 地震 (2)、火山災害 (2)】 ・風水害に備えた家庭での自助の取組について調べている。 ・風水害から私たちの暮らしを守る取組を、ノートに図でまとめている。 ・マイ・タイムラインを作成し、風水害に備えて、自分たちにできる取組を考え、発表している。 	<p>⑤ 単元や資料等の配列、分量</p> <p>○単元と構成と分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(3年) 通年1冊 (176 ページ) わたしのまち (38) はたらく人 (48) くらしを守る (34) 市のうつりかわり (32) ・(4年) 通年1冊 (216 ページ) 県 (25) 健康なくらし (52) 自然災害 (34) 郷土 (30) 特色ある地域 (56) ・(5年) 通年1冊 (240 ページ) 国土 (52) 農業・水産業 (62) 工業 (52) 情報 (34) 環境 (40) ・(6年) 通年1冊 (280 ページ) 政治 (60) 歴史 (170) 国際社会 (50) <p>⑥ 現代的な諸課題の扱い</p> <p>○自然災害から人々を守る活動に関する内容の扱い (第4学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【大単元の導入 (2)、地震災害・津波災害 (16) ※選択: 水害 (12)、火山災害 (2)、雪害 (2)】 ・避難地や津波避難タワーを取り上げ、地震や津波に備えた施設や設備を調べている。 ・自治会の人や地域の人の話から、夜の避難訓練や岩手県の取組等、地震や津波に備えた取組を調べている。 ・地震や津波に備えた取組をまとめ、これからの生活に生かすための標語を作っている。 	<p>⑤ 単元や資料等の配列、分量</p> <p>○単元と構成と分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(3年) 通年1冊 (166 ページ) わたしのまち (36) はたらく人 (50) くらしを守る (34) 市のうつりかわり (30) ・(4年) 通年1冊 (212 ページ) 県 (22) 健康なくらし (50) 自然災害 (40) 郷土 (50) 特色ある地域 (34) ・(5年) 通年1冊 (274 ページ) 国土 (60) 農業・水産業 (68) 工業 (58) 情報 (44) 環境 (44) ・(6年) 通年1冊 (272 ページ) 政治 (54) 歴史 (170) 国際社会 (48) <p>⑥ 現代的な諸課題の扱い</p> <p>○自然災害から人々を守る活動に関する内容の扱い (第4学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【大単元の導入 (2)、風水害 (18) ※選択: 地震災害 (6)、津波災害 (6)、火山災害 (4)、雪害 (2)】 ・区役所や消防署、警察署の人の話から、風水害等の災害時の対応について調べている。 ・避難所運営訓練を取り上げ、災害に備える取組を調べている。 ・災害に備えて自分たちにできることを考えてスライドにまとめ、その取組を発表している。
<p>内容の表現・表記</p>	<p>⑧ 本文以外の記述の工夫</p> <p>○脚注・側注の扱い (第3学年)</p>	<p>⑧ 本文以外の記述の工夫</p> <p>○脚注・側注の扱い (第3学年)</p>	<p>⑧ 本文以外の記述の工夫</p> <p>○脚注・側注の扱い (第3学年)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のはじめに「めあて」の欄を設け、単元で学習するねらいを示している。 ・「まなび方コーナー」では、「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・伝える」などの観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元によっては、はじめに、キャラクターの吹き出しにより、単元で学習するねらいを示している。 ・「学びのてびき」には「集める」「読み取る」「表す」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のはじめに、「学習のまど」により、単元で学習するねらいを示している。 ・「学び方・調べ方コーナー」を「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。
言語活動の充実	<p>⑩ 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫</p> <p>○新聞・地図・年表・レポートなどでのまとめ例（第3・4学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵地図、白地図、せんでんシール、ノート、見学カード、しつもんカード、表、標語、年表、図、地図、せんでんポスター、ポスター、キャッチコピー、グラフ、見学メモ、新聞、カード（第3学年） ・白地図、図、年表、ポスター、4コマCM、しょうかいパンフレット、表、ノート、マイ・タイムライン、紙しばい、三角ポスト、感想文、レポート（第4学年） <p>⑪ 観察・調査や資料活用を通して、収集した情報を基に、互いの考えを深めていくための工夫</p> <p>○単元末等における話合いや説明の活動を促す工夫（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「まとめる」の場面や、単元後の「いかす」の場面において、「説明しよう」「話し合おう」「発表しよう」などと提示し、学習 	<p>⑩ 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫</p> <p>○新聞・地図・年表・レポートなどでのまとめ例（第3・4学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵地図、表、白地図、ポスター、買い物調べカード、買い物地図、グラフ、かんけい図、メモ、ノート、標語、安全マップ、道具調べカード、年表、絵カード、地図、作物カレンダー（第3学年） ・地図、表、図、ノート、カード、標語、関係図、すごろく、キャッチコピー、ガイドマップ、ふせん、順位づけ（ランキング）、デジタル紙しばい、プレゼンテーション、年表（第4学年） <p>⑪ 観察・調査や資料活用を通して収集した情報を基に、互いの考えを深めていくための工夫</p> <p>○単元末等における話合いや説明の活動を促す工夫（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「まとめる」の場面や、単元後の「つなげる」の場面において、「説明しよう」「話し合おう」「発表しよう」などと提示し、学 	<p>⑩ 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫</p> <p>○新聞・地図・年表・レポートなどでのまとめ例（第3・4学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白地図、ガイドマップ、表、見学カード、ノート、年表、カード、図、地図、メモ、ポスター、買い物調べカード、見学メモ、たんざくカード、標語、ワークシート、かんけい図（第3学年） ・ノート、まとめカード、カルタ、人物カード、図、白地図、表、関係図、リーフレット、ワークシート、スライド、ハザードマップ、カード、紙しばい（第4学年） <p>⑪ 観察・調査や資料活用を通して収集した情報を基に、互いの考えを深めていくための工夫</p> <p>○単元末等における話合いや説明の活動を促す工夫（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末や単元後の「日本の歴史の学習を終えて」の場面において、学習したことをまとめたノートの例や児童が話し合っている様子

	した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象について説明や話し合いの活動を設けている。	習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象について説明や話し合いの活動を設けている。	をイラストで示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象についての説明や話し合いの活動を設けている。
--	--	---	--

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に登録された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	地図	2	3

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	46 帝国
基礎・基本の 定着	<p>① 地図帳に関する説明の仕方の工夫</p> <p>○地図の見方の記載例及び資料の活用方法の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読図に関しては、『地図のきまり』『地図帳の使い方◆凡例、さくいん◆』でくわしく説明し、イラストを使って説明している。 ・二次元コードが掲載してあり、日本や世界の白地図がダウンロードできたり、日本の特徴ある地形について説明した動画を視聴したりすることができるようになっている。 ・「さくいん」の「さくいん」に取り上げた地名」で、地名の種類を表す記号・色、ページ、横の線間の数字、縦の線間のカタカナによる場所の探し方を示すとともに、これまでの学習で調べた項目が記録できるように、索引の項目ごとにチェック欄が設けられている。 	<p>① 地図帳に関する説明の仕方の工夫</p> <p>○地図の見方の記載例及び資料の活用方法の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読図に関しては、『地図って何だろう』『地図のやくそく』『地図帳の使い方』でくわしく説明し、具体的な活用の仕方を例示している。 ・二次元コードが掲載してあり、各都道府県のテーマごとの地図や日本や世界の統計地図を閲覧したり、地図の成り立ちについて説明した動画を視聴したりすることができるようにしている。 ・「さくいん」の「さくいんの見かた」で、地名の種類を表す記号・色、ページ、列の記号と行の記号による場所の探し方を示している。
主体的に学 習に取り組 む 工夫	<p>③ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○興味・関心を高めるための例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「地図のぼうげんに出発！World Map」のイラストマップに、世界の特産物等をイラストで示すとともに、「世界みんなに「ありがとう！」」で世界の言葉を紹介している。 ・地図学習の導入として、「空からまちを見てみよう」で、イラストマップや地図を用いて地図の仕組みを紹介している。 	<p>③ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○興味・関心を高めるための例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「地図で世界発見！」のイラストマップに、世界各地の名所や食事、日本が多く輸入するもの等をイラストで示すとともに、「世界の国からこんにちは！」で、世界のあいさつを紹介している。 ・地図学習の導入として、「地図の世界へようこそ」「地図ってなんだろう」で、イラストマップや航空写真、地図を用いて地図の仕組み

	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿地方の地図に「金閣」、「東大寺の大仏」の写真を、中部地方の地図に「自動車工場と関連工場の分布」を掲載する等、地域の特徴的な事象を紹介している。 ・「日本の伝統文化◆歴史的景観、祭り、食文化◆」の「1 日本のおもな歴史的景観と祭り」で、各地の祭りの位置をイラスト等で示すとともに、世界文化遺産等の写真を掲載し、地図にその位置を示している。 	<p>を紹介している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島市の原爆による被害状況、北海道のアイヌ語地名等、各地方図で地域の特徴的な事象を紹介している。 ・世界の地方図で、地域の特色を示す物産や建物等のイラストを掲載するとともに、「集まれ！世界の子どもたち」や「世界のSDGs」で、各地域の特徴的な生活や取組について写真で紹介している。 ・「日本の世界遺産」で、世界自然遺産と世界文化遺産の写真を掲載し、地図にその位置を示している。
内容の構成・配列・分量	<p>⑤ 単元や資料等の配列</p> <p>○統計資料と地図の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本とその周りを見渡す地図に始まり、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料地図、統計表、索引の順で配列している。 ・陸の高さや海の深さが、地図に応じて細かく色分けされており（最大17段階）、土地利用も市街地・工業地などの最大7種類で示している。 	<p>⑤ 単元や資料等の配列</p> <p>○統計資料と地図の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の複数の地方を広く見渡す地図に始まり、日本とその周りを見渡す地図、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料図、統計、索引の順で配列している。 ・陸の高さや海の深さが、地図に応じて細かく色分けされており（最大13段階）、土地利用も商業地、住宅地などを最大8種類で示している。
内容の表現・表記	<p>⑥ 資料読取りのための工夫</p> <p>○ユニバーサルデザイン等に関する配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字の視認性を高めるために、白色で縁取りをしている。 ・円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れて表記するとともに、棒グラフも含め、視認性を高めるために、一部の文字を太字にしている。 	<p>⑥ 資料読取りのための工夫</p> <p>○ユニバーサルデザイン等に関する配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字の視認性を高めるために、縁取りを付けている。 ・円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れて表記している。
言語活動の充実	<p>⑦ 観察・調査や各種資料の活用の工夫</p> <p>○地図を活用した調べ方の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって、「ホップ、ステップ、マップでジャンプ」で、資料活用の仕方を示している。 	<p>⑦ 観察・調査や各種資料の活用の工夫</p> <p>○地図を活用した調べ方の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって、「地図マスターへの道」で、資料活用の仕方を示している。

<p>⑧ 調べたことや考えたことを適切に」表現する力を育成するための工夫</p> <p>○地図を活用した表現の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の自然災害」で、ハザードマップを示し、自分の地域のハザードマップで確認する点について掲載し、表現する活動に取り組む際の視点を示している。 ・日本の自然、日本の産業、日本の交通、都市、日本の貿易、日本の歴史、日本の伝統文化、日本の自然災害について、資料地図・統計表で示している。 	<p>⑧ 調べたことや考えたことを適切に」表現する力を育成するための工夫</p> <p>○地図を活用した表現の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の自然災害と防災（２）」の、「防災マップづくり」で、地図を使ったまとめ方のヒントや手順を示すとともに、地図の作品の例を掲載し、表現する活動の例を示している。 ・日本の自然のようす、日本の自然災害と防災、日本の産業のようす、日本と世界の結び付き、日本の歴史、持続可能な開発目標（SDGs）、日本の世界遺産、都道府県の名前と位置について、資料図等で示している。
--	--

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に登録された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	算数	6	10

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	116 日文
基礎・基本の定着 4年「2けたでわるわり算」における単元の目標を達成するための工夫 (単元の流れと主な問題、問題や練習の示し方)	<p>【単元の流れと主な問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ひき算などの復習筆算 ○何十でわる計算 ・60÷20 ○2けたの数でわる筆算(1) ・84÷21、87÷21、86÷23、78÷19、87÷25、153÷24 ○2けたの数でわる筆算(2) ・345÷21、941÷23 960÷16、732÷216 ○わり算のせいしつ ○わり算のくふう ・24000÷500、2700÷400 ○学習のしあげ ○つないでいこう 算数の目 	<p>【単元の流れと主な問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○何十でわる計算 ・60÷20、170÷50 ○(2けた)÷(2けた)の筆算 ・63÷21、93÷34、85÷27 ○(3けた)÷(2けた)の筆算 ・543÷62、483÷21 ○大きな数のわり算の筆算 ・1768÷34 ○わり算のきまり ・200÷25、4800÷500 ○かけ算かな、わり算かな ○たしかめ問題 	<p>【単元の流れと主な問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○はてなを発見 ・80÷5 ○何十でわるわり算 ・80÷20、80÷30 ○2けたでわるわり算(1) ・84÷21、96÷33、68÷16、170÷34 ○2けたでわるわり算(2) ・252÷12、607÷56 ・942÷314 ○わり算のくふう ・24000÷300 ○どんな式になるかな ○できるようになったこと・まなびをいかそう ○考え方モンスターでふりかえろう! 	<p>【単元の流れと主な問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どんな学習がはじまるかな? ・80÷20 ○何十でわる計算 ・140÷40 ○2けた÷2けたの計算 ・85÷21 ○商の見つけ方① ・94÷32、61÷13 ○商の見つけ方② ・87÷17 ○3けた÷2けたの計算 ・172÷21、268÷35 385÷12、6522÷27 2776÷46、3016÷28 ○わり算のきまり ・3600÷900、1900÷800 ○学んだことを使おう ○ふり返ろう ○たしかめよう 	<p>【単元の流れと主な問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○何本買えるかな? ・80÷8 ○何十でわるわり算 ・80÷20、80÷30、170÷30 ○商が1けたになる筆算 ・96÷32、175÷35、252÷36、168÷28、324÷36 ○商が2けた、3けたになる筆算 ・552÷24、9646÷26 ・1485÷26、7536÷314 ○練習 ○わり算のせいしつ ・6500÷250 ○学びのまとめ 	<p>【単元の流れと主な問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計算できるかな ○何十でわる計算 ・80÷20、120÷40、140÷30 ○2けたの数でわる計算(1) ・65÷21、89÷28、71÷12 143÷23、436÷48、73÷17 ○2けたの数でわる計算(2) ・368÷24、860÷43、743÷24 ○わり算のきまり ・150÷25、4800÷600 2500÷200 ○わかっているかな ○たしかめよう

<p>【問題や練習の示し方】</p> <p>【問題】86÷23 を筆算でしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・23を20とみて、商の見当をつけてみましょう。 ・かりの商は、正しい商になっていますか。→商を1小さくする。(1回) ・81÷12の筆算のしかたを説明しましょう。→商を1小さくする。(2回) <p>【まとめ】かりの商が大きすぎたときは、商を小さくしていく。</p> <p>【練習】57÷14、95÷13 他6問→巻末練習問題</p> <p>◆78÷19の問題で、商が小さすぎたときに商を大きくしていく内容を扱う。</p>	<p>【問題や練習の示し方】</p> <p>【問題】93÷34 の筆算のしかたを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わる数の34を30とみて、商の見当をつけて計算してみましょう。 ・商をいくつに直したらよいか考えて、計算し直しましょう。→商を1小さくする。(1回) <p>・84÷13の筆算のしかたを考えましょう。→商を1小さくする(2回)。</p> <p>【まとめ】見当をつけた商が大きすぎたときは、商を小さくしていき、正しい商を見つけます。</p> <p>【練習】86÷24、95÷12 他6問 →巻末練習問題</p> <p>◆85÷27の問題で、商が小さすぎたときに商を大きくしていく内容を扱う。</p>	<p>【問題や練習の示し方】</p> <p>【問題】96÷33 の筆算のしかたを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商の見当をつけましょう。 ・商を3として計算してみましょう。→商を1小さくする。(1回) <p>・答えのたしかめをしましょう。</p> <p>【練習】商の見当をつけて計算しましょう。また、答えのたしかめもしましょう。56÷14、68÷24 他4問</p> <p>【問題】68÷16の筆算のしかたを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かりの商をたてましょう。 ・わる数とかりの商をかけましょう。 ・かりの商を1小さくしましょう。 ・かりの商をさらに1小さくしましょう。→商を1小さくする。(2回) <p>【練習】57÷18の計算を、商の見当をつけて計算しましょう。また、答えのたしかめもしましょう。</p> <p>【まとめ】かりの商が大きすぎたとき、かりの商を1ずつ小さくしていき、正しい商を見つけます。</p> <p>【練習】商の見当をつけて計算しましょう。答えのたしかめもしましょう。70÷14、69÷15 他4問</p>	<p>【問題や練習の示し方】</p> <p>【問題】94÷32 の計算のしかたを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商の見当をつけましょう。 ・わる数の32を30とみたてた商は、大きすぎました。商をどのようになおせばよいでしょうか。→商を1小さくする。(1回) <p>【練習】商の見当をつけて、計算をしましょう。67÷23、58÷12 他3問</p> <p>【問題】61÷13の計算のしかたを考えましょう。</p> <p>【まとめ】見当をつけた商が大きすぎたときは、商を1ずつ小さくして行って、正しい商を見つけます。→商を1小さくする。(2回)</p> <p>【練習】商の見当をつけて、計算をしましょう。71÷13、93÷12 他3問→巻末練習問題</p> <p>◆87÷17の問題で、商が小さすぎたときに商を大きくしていく内容を扱う。</p>	<p>【問題や練習の示し方】</p> <p>【問題】次の計算をしてみましょう。</p> <p>ア 252÷36 イ 168÷28 ウ 324÷36</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ア 252÷36→商を1小さくする。(1回) ・イ 168÷28→商を1小さくする。(2回) ・ウ 324÷36→商を1小さくする。(1回) <p>【まとめ】商が大きすぎたら、1ずつ小さくすればいいんだね。</p> <p>【練習】52÷13、75÷15、522÷58 他3問</p>	<p>【問題や練習の示し方】</p> <p>【問題】89÷28 を筆算でしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商の見当をつけましょう。→商を1小さくする。(1回) <p>【練習】65÷26 他2問</p> <p>【問題】71÷12を筆算でしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商の見当をつけましょう。→商を1小さくする。(2回) <p>【まとめ】見当をつけた商が大きすぎたときは商を1ずつ小さくしていきます。</p> <p>【練習】67÷16 他2問 →巻末練習問題</p>
--	---	--	--	--	---

<p>1年～3年 「数と計 算」におけ る基礎的・ 基本的な知 識・技能を 定着させる ための工夫 (スパイラ ルに取り扱 われている 内容と練習 問題数)</p>	<p>【スパイラルに取り扱われ ている内容と練習問題数】</p> <p>①おおきいかず ・「たねの数を数字でかく」 の例題 6 問</p> <p>②おおきいかず ・$30+4$、$34-4$、$25+3$、 $28-3$、$30+20$、$50-20$ の例題 16 問</p> <p>③3けたの数 ・10を14こあつめた数、230 は10を何こあつめた数の 例題 2 問</p> <p>④3けたの数 ・$300+200$、$600-200$、500 $+30$、$530-30$の例題 10 問 たし算とひき算のひっ算 ・$415+32$、$345-21$、$18+345$、 $526+9$、$483-27$、$524-$ 6の例題 12 問</p> <p>⑤かけ算(2) ・九九の表を拡張し、1位数 $\times 12$までの数及び12まで の数$\times 1$位数の表に答え を記入 0 問</p> <p>⑥大きい数のしくみ ・25を10倍、250を10で割 る、25の100倍の例題 4 問</p> <p>⑦大きい数のわり算、分数と わり算 ・$60\div 3$、$69\div 3$の例題 8 問</p> <p>練習問題数 58 問</p>	<p>【スパイラルに取り扱われ ている内容と練習問題数】</p> <p>①大きなかず ・「おはじきの数を数字でか く」の例題 4 問</p> <p>②大きなかず ・$40+30$、$50-30$、$32+6$、 $38-6$の例題 24 問</p> <p>③100より大きい数 ・10を13こあつめた数、10 を28こあつめた数、160 は10をいくつあつめた数、 250は10をいくつあつめ た数の例題 7 問</p> <p>④たし算とひき算のひっ算 ・$327+68$、$8+459$、$582-$ 63、$713-5$の例題 7 問 1000より大きい数 ・$700+400$、$900-400$の例題 9 問</p> <p>⑤かけ算のきまり ・九九の表を拡張し、1位数 $\times 12$までの数及び12まで の数$\times 1$位数の表に答え を記入 2 問</p> <p>⑥10000より大きい数 ・20を10倍、32を10倍、 32を100倍、32を1000倍、 200を10で割る、450を10 で割るの例題 19 問</p> <p>⑦答えが2けたになるわり 算 ・$60\div 3$、$69\div 3$の例題 10 問</p> <p>練習問題数 82 問</p>	<p>【スパイラルに取り扱われ ている内容と練習問題数】</p> <p>①大きいかずをかぞえよう ・「ブロックの数を数える」 の例題 4 問</p> <p>②大きいかずをかぞえよう ・$20+30$、$23+6$、$50-20$、 $38-5$の例題 26 問</p> <p>③1000までの数 ・230は10を何こあつめた数 の例題 3 問</p> <p>④大きい数のたし算とひき 算 ・$400+300$、$700+300$、628 $+7$の例題 12 問 大きい数のたし算とひき 算 ・$500-300$、$753-6$の例題 16 問</p> <p>⑤かけ算(3) ・3の段の九九を拡張し、3 $\times 10$、3×11、3×12を計 算 2 問</p> <p>⑥大きい数 ・20の10倍、150を10で割 るの例題 25 問</p> <p>⑦わり算 ・$80\div 4$、$36\div 3$の例題 6 問</p> <p>練習問題数 94 問</p>	<p>【スパイラルに取り扱われ ている内容と練習問題数】</p> <p>①大きなかず ・「たねの数を数える」の例 題 4 問</p> <p>②大きなかず ・$30+20$、$60-20$、$24+3$、 $36-4$の例題 12 問</p> <p>③100より大きい数 ・10を16こあつめた数、250 は10を何こあつめた数の 例題 5 問</p> <p>④たし算とひき算 ・$437+6$、$719+33$、$282-$ 6、$271-34$の計算の仕方 16 問 100より大きい数 ・$300+400$、$700-200$、430 $+20$、$360-40$の計算の仕 方 10 問</p> <p>⑤九九の表 ・4×10、4×11、4×12、 10×4、11×4、12×4の 求め方を考え、九九表を1 位数$\times 12$までの数」「12ま での数$\times 1$位数」の範囲に 拡張 0 問</p> <p>⑥10000より大きい数 ・20の10倍、25の10倍、 25の100倍$\cdot 1000$倍、200 を10で割るの例題 12 問</p> <p>⑦わり算 ・$60\div 3$、$69\div 3$の計算の仕 方 10 問</p> <p>練習問題数 69 問</p>	<p>【スパイラルに取り扱われ ている内容と練習問題数】</p> <p>①大きいかず ・「ぼうの数を数字でかく」 の例題 3 問</p> <p>②100までのかずのけいさん ・$40+30$、$70-20$、$20+6$、 $34-4$、$32+5$、$27-4$の 例題 32 問</p> <p>③100をこえる数 ・10を24こあつめた数、360 は10を何こあつめた数の 例題 2 問</p> <p>④たし算とひき算のひっ算 (2) ・$234+57$、$381-53$の計算の 仕方 8 問 100をこえる数 ・$200+400$、$800-600$の例題 6 問</p> <p>⑤かけ算のきまり ・4×12の立式と答えの求め 方 ・12×4の立式と答えの求め 方 2 問</p> <p>⑥一万をこえる数 ・20の10倍、25の10倍、 25の100倍、25の1000倍、 50を10で割る、250を10 で割るの例題 17 問</p> <p>⑦わり算 ・$40\div 4$、$60\div 3$、$69\div 3$の 計算の仕方 11 問</p> <p>練習問題数 81 問</p>	<p>【スパイラルに取り扱われ ている内容と練習問題数】</p> <p>①20より大きいかず ・「ブロックの数を数字でか く」の例題 4 問</p> <p>②たしざんとひきざん ・$20+30$、$50-20$、$20+4$、 $35+3$、$24-4$、$26-3$の 計算の仕方 27 問</p> <p>③1000までの数 ・10を13こあつめた数、240 は10を何こあつめた数の 例題 0 問</p> <p>④たし算とひき算の筆算 ・$543+24$、$468+25$、$156+$ 9、$393-52$、$276-29$、324 -8」の計算の仕方 20 問 10000までの数 ・$800+500$、$800-100$の例題 4 問</p> <p>⑤九九のひょう ・九九の表を拡張し、1位数 $\times 12$までの数及び12まで の数$\times 1$位数の表に答え を記入 0 問</p> <p>⑥大きい数 ・20を10倍、25を10倍、 25の100倍$\cdot 1000$倍、200 を10で割るの例題 8 問</p> <p>⑦わり算 ・$60\div 3$、$69\div 3$の立式と計 算の仕方 9 問</p> <p>練習問題数 72 問</p>
--	--	---	--	--	---	---

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	116 日文
主体的に学習に取り組む工夫 5年 「平面図形の面積」における問題解決的な学習を実施するための工夫 (単元の問題解決の過程)	<p>【単元名】面積の求め方を考えよう</p> <p>○図やイラスト等で対話により既習、未習に着目させ単元の学習課題をつくる「単元プロローグ」がある。(1P)</p> <p>色々な四角形や三角形について、既習と未習の事項を確認する。</p> <p>【展開①】課題提示○と主な発問・めあて</p> <p>○下の平行四辺形A B C Dの面積は何cm²ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 面積の求め方を考えよう。 平行四辺形の面積を求める公式をつくろう。 平行四辺形の高さについて考えよう。 <p>既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 等積変形(2種類) <p>【展開②】課題提示○と主な</p>	<p>【単元名】四角形と三角形の面積</p> <p>○イラスト等の場面から、問題や疑問を見いだす「新しい学習がはじまるよ」がある。(1P)</p> <p>色々な四角形や三角形について、既習と未習の事項を確認する。</p> <p>【展開①】課題提示○と主な発問・めあて</p> <p>○次の平行四辺形の面積を求めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の面積の求め方を考えよう。 平行四辺形の面積を求める公式をつくろう。 高さが底辺上にない平行四辺形でも、底辺×高さで面積が求められるか考えよう。 <p>既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 等積変形(2種類) <p>【展開②】課題提示○と主な</p>	<p>【単元名】面積の求め方を考えよう</p> <p>○イラスト等から、日常や算数の授業の中で疑問が生まれる場面、「?を発見」がある。(1P)</p> <p>厚紙で作った長方形の枠を傾けて平行四辺形になった場面から、長方形と平行四辺形の面積が等しいか考える。</p> <p>【展開①】課題提示○と主な発問・めあて</p> <p>○右のような長方形と下の平行四辺形の面積を比べてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の面積を求める公式はあるのかな。 次の平行四辺形の面積を求めましょう。 どこが底辺と高さになるのかな。 <p>既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 等積変形(2種類) <p>【展開②】課題提示○と主な</p>	<p>【単元名】四角形や三角形の面積</p> <p>○身近な題材から問題を見し、算数の問題としてモデル化する「どんな学習がはじまるのかな?」がある。(2P)</p> <p>厚紙で作った長方形の枠を傾けて平行四辺形になった場面から、長方形と平行四辺形の面積が等しいか考える。</p> <p>【展開①】課題提示○と主な発問・めあて</p> <p>○平行四辺形の面積の求め方を考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の面積を、計算で求める方法を考えましょう。 面積の求め方を説明しましょう。 下の平行四辺形の面積を比べましょう。 <p>既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 等積変形(2種類) <p>【展開②】課題提示○と主な</p>	<p>【単元名】面積</p> <p>○日常の事象や既習事項から問題を見いだす「単元とびら」がある。(1P)</p> <p>色々な四角形や三角形について、面積の求め方を学習した図形を確認する。</p> <p>【展開①】課題提示○と主な発問・めあて</p> <p>○直角三角形の面積を求めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 三角形の面積の求め方を考えよう。 三角形の面積の公式をつくろう。 <p>既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 等積変形(2種類) 既習の図形の半分の面積とみる考え(2種類) 既習の図形に分割する考え(1種類) <p>【展開②】課題提示○と主な</p>	<p>【単元名】面積の求め方を考えよう</p> <p>○日常生活や既習事項を使って「おや?」と思う場面を設定し、課題発見につながる「単元アプローチ」がある。(1P)</p> <p>周りの長さと同じ長さの4つの班の花壇についてどの班の花壇が広いか考える。</p> <p>【展開①】課題提示○と主な発問・めあて</p> <p>○下の平行四辺形の面積を求めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の面積の求め方を考えよう。 平行四辺形の面積を求める公式をつくろう。 平行四辺形の面積の求め方をさらに考えよう。 <p>既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 等積変形(3種類) 既習の図形の半分の面積とみる考え(1種類) <p>【展開②】課題提示○と主な</p>

	<p>発問・めあて</p> <p>○下の三角形ABCの面積は何cm^2ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積の求め方を考えよう。 ・三角形の面積を求める公式をつくろう。 ・三角形の高さについて考えよう。 <p>既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等積変形（1種類） ・既習の図形の半分の面積とみる考え（2種類） <p>【他の図形等への発展】</p> <p>台形・ひし形→三角形の高さと面積の関係→既習の面積の求め方の活用</p>	<p>発問・めあて</p> <p>○次の三角形の面積を求めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の面積の求め方を考えよう。 ・三角形の面積を求める公式をつくろう。 ・高さが底辺上にない三角形でも、底辺×高さ÷2で面積が求められるか考えよう。 <p>既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等積変形（1種類） ・既習の図形の半分の面積とみる考え（2種類） <p>【他の図形等への発展】</p> <p>台形・ひし形→一般的な四角形や五角形→既習の面積の求め方の活用</p>	<p>発問・めあて</p> <p>○次のような三角形の面積の求め方を考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の面積はどのように求めればよいのかな。 ・三角形の面積を求める公式はあるのかな。 ・三角形の高さはどこにあるのかな。 <p>既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等積変形（2種類） ・既習の図形の半分の面積とみる考え（2種類） <p>【他の図形等への発展】</p> <p>台形・ひし形→一般的な四角形や五角形→既習の面積の求め方の活用</p>	<p>発問・めあて</p> <p>○下の三角形の面積の求め方を考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下の三角形の面積を求めましょう。 ・三角形の面積を、計算で求める方法を考えましょう。 ・面積の求め方を説明しましょう。 <p>既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等積変形（1種類） ・既習の図形の半分の面積とみる考え（2種類） <p>【他の図形等への発展】</p> <p>台形・ひし形→一般的な四角形や五角形→およその面積→既習の面積の求め方の活用</p>	<p>発問・めあて</p> <p>○平行四辺形の面積を求めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形の面積の求め方を考えよう。 ・平行四辺形の面積の公式をつくろう。 ・三角形や平行四辺の高さについて考えよう。 <p>既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等積変形（3種類） ・既習の図形に分割する考え（1種類） <p>【他の図形等への発展】</p> <p>台形・ひし形→多角形→三角形の面積と高さの関係→既習の面積の求め方の活用</p>	<p>発問・めあて</p> <p>○下の三角形の面積を求めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の面積の求め方を考えよう。 ・三角形の面積を求める公式をつくろう。 ・三角形の面積の求め方をさらに考えよう。 <p>既習の面積の求め方の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等積変形（1種類） ・既習の図形の半分の面積とみる考え（1種類） <p>【他の図形等への発展】</p> <p>台形・ひし形→一般的な四角形→平行四辺形や三角形の高さと面積の関係→既習の面積の求め方の活用</p>
興味・関心を高める工夫 (単元末の工夫)	<p>【単元末の工夫】</p> <p>○対話により、単元全体の学習を振り返り、価値づけたり、次の学習を創出したりする「つないでいこう算数の目」がある。</p>	<p>【単元末の工夫】</p> <p>○興味・関心を高めたり、算数が社会で生かされていることを実感したりできる「ふくろう先生のなるほど算数教室」がある。</p>	<p>【単元末の工夫】</p> <p>○単元全体の学習を振り返ることにより生じた新たな問いを算数の世界を広げる「つなげたいな」がある。</p>	<p>【単元末の工夫】</p> <p>○単元で学習したことを日常生活に活用する「学んだことを使おう」がある。</p>	<p>【単元末の工夫】</p> <p>○単元全体を振り返り、活用したり深めたりする「たしかめよう・ふりかえろう・やってみよう」がある。</p>	<p>【単元末の工夫】</p> <p>○身についた知識・技能やこれから学びたいことを子どもの言葉を通して伝える「ふり振り返りコーナー」がある。</p>
	<p>プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための活動</p> <p>全学年で7単元</p>	<p>プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための活動</p> <p>全学年で11単元</p>	<p>プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための活動</p> <p>全学年で6単元</p>	<p>プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための活動</p> <p>全学年で4単元</p>	<p>プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための活動</p> <p>全学年で6単元</p>	<p>プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための活動</p> <p>全学年で10単元</p>

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	116 日文
内容の 構成・配列 ・分量 単元や資料 等の配列 （単元配列 の特色、配 当時数・予 備時数、ペ ージ数・単 元数、冊 数・サイ ズ・重量）	<p>【単元配列の特色】 ○前後の学年の内容も視野に入れ、児童の発達段階、単元相互の関連や領域のバランス、学習効率などを考慮した単元配列としている。</p> <p>【配当時数・予備時数】 ○1年 120・16 2年 148・27 3年 149・26 4年 154・21 5年 160・15 6年 151・24 合計 882・129</p> <p>【ページ数・単元数】 ○1年 169P・18 2年 249P・17 3年 278P・18 4年 306P・14 5年 294P・18 6年 269P・13 合計 1565P・98 単元</p> <p>【冊数・6年サイズ・重量】 ○1～5年2冊 6年1冊 ○B5判・433g</p>	<p>【単元配列の特色】 ○学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携、児童の発達段階、学習時期（季節感）を考慮した単元配列としている。</p> <p>【配当時数・予備時数】 ○1年 119・17 2年 148・27 3年 150・25 4年 159・16 5年 151・24 6年 129・46 合計 856・155</p> <p>【ページ数・単元数】 ○1年 182P・20 2年 251P・17 3年 271P・18 4年 295P・15 5年 293P・18 6年 273P・13 合計 1565P・101 単元</p> <p>【冊数・6年サイズ・重量】 ○1年2冊 2～6年1冊 ○B5判448g</p>	<p>【単元配列の特色】 ○連続して扱うことで身につく学習内容と、スパイラルを意識することで身につく学習内容を選別して単元を配列している。</p> <p>【配当時数・予備時数】 ○1年 114・22 2年 139・36 3年 153・22 4年 159・16 5年 157・18 6年 130・45 合計 852・159</p> <p>【ページ数・単元数】 ○1年 205P・19 2年 306P・22 3年 319P・20 4年 339P・21 5年 354P・21 6年 308P・17 合計 1831P・120 単元</p> <p>【冊数・6年サイズ・重量】 ○1～6年2冊。ただし6年は1冊と別冊と表記 ○AB判・519gと111g</p>	<p>【単元配列の特色】 ○系統性や習熟期間などを考慮し、学習内容や見方・考え方を関連づけて学習効果が得られる単元配列としている。</p> <p>【配当時数・予備時数】 ○1年 123・13 2年 160・15 3年 163・12 4年 167・8 5年 166・9 6年 152・23 合計 931・80</p> <p>【ページ数・単元数】 ○1年 188P・18 2年 281P・17 3年 306P・18 4年 354P・17 5年 312P・16 6年 290P・12 合計 1731P・98 単元</p> <p>【冊数・6年サイズ・重量】 ○1・5・6年1冊 2～4年2冊 ○B5判・466g</p>	<p>【単元配列の特色】 ○学びの繋がりを重視したスパイラルの構成で、また、領域全体のバランスや児童の発達段階、習熟に要する時間、季節などを考慮して配列している。</p> <p>【配当時数・予備時数】 ○1年 127・9 2年 156・19 3年 158・17 4年 160・15 5年 161・14 6年 137・38 合計 899・112</p> <p>【ページ数・単元数】 ○1年 192P・23 2年 271P・17 3年 276P・20 4年 293P・16 5年 281P・18 6年 271P・13 合計 1584P・107 単元</p> <p>【冊数・6年サイズ・重量】 ○1～4年2冊 5～6年1冊 ○B5判・447g</p>	<p>【単元配列の特色】 ○各学年の領域の系統と特色、子供の発達の段階を考慮して単元を配列している。また、反復練習を要する内容を早期に配列している。</p> <p>【配当時数・予備時数】 ○1年 126・10 2年 161・14 3年 157・18 4年 168・7 5年 168・7 6年 158・17 合計 938・73</p> <p>【ページ数・単元数】 ○1年 193P・20 2年 301P・17 3年 317P・18 4年 338P・17 5年 325P・17 6年 295P・14 合計 1769P・103 単元</p> <p>【冊数・6年サイズ・重量】 ○1～4年2冊 5～6年1冊 ○B5判・489g</p>

<p>中学校の学習内容と関連する内容 (6年発展的な学習内容の記述ページ数と記述)</p>	<p>○1年①をA4判中綴じとし、ノート機能を持たせたりブロックを置きやすしたりしている。</p> <p>【6年発展的な学習内容の記述ページ数と記述】</p> <p>○7.5P</p> <p>○記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなグラフ ・全体の様子と一部の様子 ・0より小さい数 ・図形の性質の利用 ・分数で割る計算を考えよう ・形が同じで大きさがちがう形を調べよう ・比例の関係を詳しく調べよう 	<p>○1年1のみA4判中綴じとし、ノート機能を持たせたりブロックを置きやすしたりしている。</p> <p>【6年発展的な学習内容の記述ページ数と記述】</p> <p>○12.25P</p> <p>○記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相似比と面積比 ・負の数とその計算 ・等式の性質 ・作図 ・おうぎ形の面積 ・確率 ・柱状グラフの階級の幅を変えること ・負の数とその計算 ・文字を使った式の表し方や計算 ・方程式 ・図形の移動 ・作図 ・錐体、球の体積 ・おうぎ形、円錐の表面積 ・証明 ・相似 ・負の数を含めた比例、反比例 ・度数分布表や柱状グラフの階級の幅を変えること、度数分布表から代表値を求めること、相対度数 ・確率 	<p>○全学年AB判としている。</p> <p>○6年別冊「中学校へのかけ橋」を用意している。</p> <p>【6年発展的な学習内容の記述ページ数と記述】</p> <p>○31.5P</p> <p>○記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Xにあてはまる数は？ ・階級の幅を変えると？ ・四則の可能性 ・いろいろな形の体積比べ ・体積の大きさ ・おうぎ形の面積 ・正負の数 ・正負の数の加減 ・文字式 ・垂直な直線のかき方 ・角の二等分線 ・ともなって変わる量 ・データ分析 	<p>○1・5・6年を各1冊、2・3・4年を各2冊としている。</p> <p>【6年発展的な学習内容の記述ページ数と記述】</p> <p>○10.25P</p> <p>○記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字を使った式 ・反比例のグラフ ・面を動かしてできる立体 ・円柱と角柱を調べよう ・算数ひろば ・うさぎとかめ ・0より小さい数 ・方眼にかいた正方形 ・直角三角形のひみつ ・平方と立方 ・さいころの目の出やすさ ・国で違う数の表し方 ・安全なパスワードを考えよう！ 	<p>○1年「すたあと ぶっく」をA4判中綴じとし、ノート機能を持たせたりブロックを置きやすしたりしている。</p> <p>【6年発展的な学習内容の記述ページ数と記述】</p> <p>○7.75P</p> <p>○記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びをいかそうやってみよう ・学びをいかそうやってみよう ・学びをいかそうやってみよう ・算数ポケット最大値・最小値・範囲 ・算数ポケット階級の区切り方を変えると？ ・算数ポケットいろいろな変わり方のグラフ ・算数ポケット曲線で表された反比例のグラフ ・数学へのとびら0より小さい数 ・数学へのとびら同じ数を何度もかける計算 ・数学へのとびら図形の性質や関係 ・数学へのとびら数量の関係 ・数学へのとびらことからの起こりやすさ 	<p>○1年1のみ中綴じとし、ノート機能を持たせたりブロックを置きやすしたりしている。</p> <p>【6年発展的な学習内容の記述ページ数と記述】</p> <p>○11.5P</p> <p>○記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なるほど算数 ・マテマランドを探検しよう！ ・マテマランドを探検しよう！ ・もうすぐ中学生反対の性質の量の表し方 ・もうすぐ中学生分数で表せない数 ・もうすぐ中学生文字を使った式 ・もうすぐ中学生文字にあてはまる数 ・もうすぐ中学生円の一部の形 ・もうすぐ中学生どこがまちがっているのかな ・もうすぐ中学生起こりやすさを数で表す ・もっとジャンプ
---	--	--	---	---	---	---

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	116 日文
内容の表現 ・表記 イラスト・ 写真・吹き 出し等の活 用 (キャラク ター等の活 用、フォン ト、図・表 等の扱い、 6年Dデー タの活用にお けるグラフの種 類等、PPD ACサイク ルの扱い、 デジタルコ ンテンツの 扱い及びコ ンテンツ 数)	<p>【キャラクター等の活用】</p> <p>○キャラクター等の吹き出しを配置している。</p> <p>・ますりん(双葉の植物)</p> <p>・性別を明確にしない、男女の言葉遣いを区別しないなどを配慮した6人の児童</p> <p>【フォント】</p> <p>○独自開発のUD教科書体を採用</p> <p>【図・表等の扱い】</p> <p>○カラーバリアフリーに配慮するとともに、図やグラフでは色の区別だけでなく、形や模様でも区別できるようにしている。</p> <p>【6年Dデータの活用におけるグラフの種類等】</p> <p>○ドットプロット、ヒストグラム、人口ピラミッド、棒グラフ、折れ線グラフ、列車の運行状況や荷物の配達料金などのグラフ</p> <p>○各グラフの特徴を比較する一覧の記載はない。</p>	<p>【キャラクター等の活用】</p> <p>○キャラクター等の吹き出しを配置している。</p> <p>・ラビちゃん(うさぎ)</p> <p>・ふくろう先生</p> <p>・外国にルーツを持つ2人を含めた6人の児童</p> <p>【フォント】</p> <p>○UDフォントを採用</p> <p>【図・表等の扱い】</p> <p>○カラーユニバーサルデザインをふまえた配色としている。</p> <p>【6年Dデータの活用におけるグラフの種類等】</p> <p>○ドットプロット、ヒストグラム、人口ピラミッド、棒グラフ、折れ線グラフ、絵グラフ、円グラフ、帯グラフ</p> <p>○各グラフの特徴を1ページで比較している。</p>	<p>【キャラクター等の活用】</p> <p>○キャラクター等の吹き出しを配置している。</p> <p>・卵型のキャラクター</p> <p>・博士</p> <p>・考え方を意識させる9体のモンスター</p> <p>・4人の児童</p> <p>【フォント】</p> <p>○UDフォントを採用</p> <p>【図・表等の扱い】</p> <p>○カラーユニバーサルデザインを取り入れ判別しやすい色使いとしている。また、色名の付記や模様を採用している。</p> <p>【6年Dデータの活用におけるグラフの種類等】</p> <p>○ドットプロット、ヒストグラム、棒グラフ、帯グラフ、円グラフ</p> <p>○各グラフの特徴を2ページで比較している。</p>	<p>【キャラクター等の活用】</p> <p>○キャラクター等の吹き出しを配置している。</p> <p>・どんちゃんとぐりちゃん(どんぐり)</p> <p>・先生</p> <p>・6人の児童</p> <p>【フォント】</p> <p>○UDデジタル教科書体を採用</p> <p>【図・表等の扱い】</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに対応し、識別しやすい配色を用いるとともに色名を付記している。</p> <p>【6年Dデータの活用におけるグラフの種類等】</p> <p>○ドットプロット、ヒストグラム、人口ピラミッド、棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ</p> <p>○各グラフの特徴を比較する一覧の記載はない。</p>	<p>【キャラクター等の活用】</p> <p>○キャラクター等の吹き出しを配置している。</p> <p>・えんぴつくん(えんぴつ)</p> <p>・外国ルーツや車いす・めがねを使用している多様な8人の児童</p> <p>【フォント】</p> <p>○UDフォントを採用</p> <p>【図・表等の扱い】</p> <p>○グラフは、色のみでなく、模様でも区別できるようにしている。また、色だけでなく文字情報も加えている。</p> <p>【6年Dデータの活用におけるグラフの種類等】</p> <p>○ドットプロット、ヒストグラム、折れ線グラフ、人口ピラミッド、帯グラフ</p> <p>○各グラフの特徴を比較する一覧の記載はない。</p>	<p>【キャラクター等の活用】</p> <p>○キャラクター等の吹き出しを配置している。</p> <p>・クリン(りす)</p> <p>・6人の児童</p> <p>【フォント】</p> <p>○教科書体・ゴシック体にUDフォントを採用</p> <p>【図・表等の扱い】</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮し、図形に使用する色は統一し、グラフや表の色は目にやさしい色づかいとしている。</p> <p>【6年Dデータの活用におけるグラフの種類等】</p> <p>○棒グラフ、ドットプロット、ヒストグラム、人口ピラミッド、円グラフ</p> <p>○各グラフの特徴を比較する一覧の記載はない。</p>

<p>【6年Dデータの活用におけるPPDACサイクルの扱い】</p> <p>○イラストを使って1ページで説明</p>	<p>【6年Dデータの活用におけるPPDACサイクルの扱い】</p> <p>○イラストを使って2ページで説明</p>	<p>【6年Dデータの活用におけるPPDACサイクルの扱い】</p> <p>○吹き出しを用いて3ページで、さらに、イラストを使って1ページで説明</p>	<p>【6年Dデータの活用におけるPPDACサイクルの扱い】</p> <p>○「PPDAC」の表記はないが、イラストで1ページ、さらに本文3ページで説明</p>	<p>【6年Dデータの活用におけるPPDACサイクルの扱い】</p> <p>○イラストを使って2ページで説明</p>	<p>【6年Dデータの活用におけるPPDACサイクルの扱い】</p> <p>○吹き出しを多用したイラストを使って8ページで説明</p>
<p>【デジタルコンテンツの扱い及び学年ごとのコンテンツ数】</p> <p>○動画、シミュレーション、演習など</p>	<p>【デジタルコンテンツの扱い及び学年ごとのコンテンツ数】</p> <p>○練習問題、シミュレーション、アニメーションなど</p>	<p>【デジタルコンテンツの扱い及び学年ごとのコンテンツ数】</p> <p>○動画、シミュレーション、復習、資料、練習問題など</p>	<p>【デジタルコンテンツの扱い及び学年ごとのコンテンツ数】</p> <p>○まとめアニメーション、フラッシュカード、シミュレーション、表計算ソフト、プログラミング教材など</p>	<p>【デジタルコンテンツの扱い及び学年ごとのコンテンツ数】</p> <p>○動かす、動画、解説動画、問題、スライドなど</p>	<p>【デジタルコンテンツの扱い及び学年ごとのコンテンツ数】</p> <p>○動画、アニメーション、シミュレーション、問題、ヒントなど</p>
<p>○1年 32、2年 241 3年 301、4年 330 5年 337、6年 229 合計 1470</p>	<p>○1年 137、2年 203 3年 272、4年 260 5年 308、6年 268 合計 1448</p>	<p>○1年 90、2年 122 3年 117、4年 95 5年 116、6年 70 合計 610</p>	<p>○1年 16、2年 87 3年 119、4年 157 5年 119、6年 93 合計 591</p>	<p>○1年 259、2年 276 3年 295、4年 306 5年 268、6年 210 合計 1614</p>	<p>○1年 76、2年 144 3年 170、4年 161 5年 156、6年 114 合計 821</p>

※PPDACサイクル 「Problem (問題)」「Plan (計画)」「Data (データ収集)」「Analysis (分析)」「Conclusion (結論)」の略。統計的探究プロセスの一つ。

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	116 日文
言語活動の 充実	<p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○巻頭の特設ページ「学びのとびら」内で、「問題をつかもう」「自分の考えをかき表そう」「友だちと学ぼう」「ふり返ってまとめよう」の4つの活動の流れを例示している。また、単元ページでも「今日の深い学び」として側注に活動を促すガイド文を示し、学習内容と関連づけている。</p>	<p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○巻頭の特設ページ「算数の学び方」内で、「問題をつかもう」「自分で考えよう」「学び合おう」「まとめよう 使ってみよう」「ふりかえろう」の5つの活動の流れや、話し方・聞き方のポイントを例示している。また、単元ページでも「じっくり深く学び合おう」として側注に活動を促すガイド文を示し、学習内容と関連づけている。</p>	<p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○巻頭の特設ページ「みんなと学ぼう！算数の学び方」内で、第1単元の紙面を例に、「学びのはじめ」「今日の学び」「学びのまとめとふりかえり」の3つを単元全体の流れとして示すとともに、側注にガイド文を示している。</p>	<p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○巻頭の特設ページ「みんなと学ぼう！算数をはじめよう！」内で、「問題をつかむ」「自分の考えをもつ」「話し合っで深める」「ふり返ってまとめる」「比べてつなげる」「広げて考える」の6つの活動の流れを例示している。また、単元ページでも「？、！、！？を見つけよう」として側注に活動を促すガイド文を示し、学習内容と関連づけている。</p>	<p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○巻頭の特設ページ「算数のとびら 算数の学習の進め方」内で、「どんな問題かな」「自分で考えよう」「みんなで話しあおう」「たしかめよう、ふりかえろう」の4つの活動の流れを例示するとともに、前学年までの学習を例に側注にガイド文を示している。</p>	<p>【学習の流れと言語活動】</p> <p>○巻頭の特設ページ「さあ、算数の学習をはじめよう！学び方の4つのステップ」内で、「どんな問題かな」「考えよう」「学び合おう」「ふり返ろう」の4つの活動の流れを例示している。また、単元ページでも「自分でみんなで」として側注に活動を促すガイド文を示し、学習内容と関連づけている。</p>
数学的な表現を用いて 自分の考えを説明する 活動の工夫 (学習の流れと説明したり話し合ったりする 活動の例示、例示した活動の流れを側注で ガイドしている単元 数)	<p>(ガイド文記載単元数)</p> <p>1年—0 2年—1 3年—3 4年—3 5年—3 6年—3</p>	<p>(ガイド文記載単元数)</p> <p>1年—0 2年—1 3年—1 4年—1 5年—1 6年—1</p>	<p>(ガイド文記載単元数)</p> <p>1年—0 2年—0 3年—0 4年—0 5年—0 6年—0</p>	<p>(ガイド文記載単元数)</p> <p>1年—0 2年—4 3年—4 4年—4 5年—4 6年—4</p>	<p>(ガイド文記載単元数)</p> <p>1年—0 2年—0 3年—0 4年—0 5年—0 6年—0</p>	<p>(ガイド文記載単元数)</p> <p>1年—2 2年—4 3年—4 4年—4 5年—4 6年—4</p>
思考を深めるための記述の工夫 (ノート指導の扱いと 記載例、ページ数)	<p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「算数マイノートをつくらう」「算数マイノートを学習に生かそう」を設け、児童のノートを例示し、書き方のポイントや学習感想の視点を示している。</p> <p>(ページ数)</p> <p>1年—0 P 2年—4 P 3年—4 P 4年—4 P 5年—4 P 6年—4 P</p>	<p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「ノートにまとめよう」や「ノートの書き方の例」を設け、児童のノートを例示し、書き方のポイントや振り返りの視点を示している。</p> <p>(ページ数)</p> <p>1年—1 P 2年—2 P 3年—2 P 4年—2 P 5年—2 P 6年—2 P</p>	<p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「ノート名人になろう」を設け、児童のノートを例示し、書き方のポイントや振り返りの視点を示している。</p> <p>(ページ数)</p> <p>1年—0 P 2年—2 P 3年—2 P 4年—2 P 5年—2 P 6年—2 P</p>	<p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「友だちのノートを見てみよう」を設け、児童のノートを例示し、書き方のポイントや感想の視点を示している。</p> <p>(ページ数)</p> <p>1年—0 P 2年—4 P 3年—4 P 4年—4 P 5年—4 P 6年—4 P</p>	<p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「算数ノートをつくらう」を設け、児童のノートを例示し、書き方のポイントを示している。</p> <p>(ページ数)</p> <p>1年—0 P 2年—1 P 3年—1 P 4年—1 P 5年—1 P 6年—1 P</p>	<p>【ノート指導】</p> <p>○特設ページ「算数ノートをつくらう」を設け、児童のノートを例示し、書き方のポイントや振り返りの視点を示している。</p> <p>(ページ数)</p> <p>1年—2 P 2年—4 P 3年—4 P 4年—4 P 5年—2 P 6年—2 P</p>

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に登載された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	理科	6	6

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	26 信教	61 啓林
基礎・基本の 定着	<p>◆単元の目標とまとめの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題をつかむための活動「レッツトライ！」を設け、「～考えよう」「～してみよう」等の呼び掛けの形で問題等を提示している。 単元末に「ふりかえろう」を設け、学習内容をまとめている。 <p>◆知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「こんなところにも！理科の世界探検部」で学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。「広げよう！理科の発想」で、日常生活での現象を取り上げ、説明させている。 	<p>◆単元の目標とまとめの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活や自然の中での事物・現象の写真を示し、「～気付いたことを話し合ひましよう。」等の呼び掛けの形で問題を見いださせている。 単元末に学習内容の定着を図るための「確かめよう」や「学んだことを生かそう」を設けている。 <p>◆知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「りかのたまてばこ」において、学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。「学んだことを生かそう」では日常生活での現象を取り上げ説明させている。 	<p>◆単元の目標とまとめの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 「～しましょう。」等の呼び掛けの形や「～でしょうか。」と問いかけの形等で問題を提示している。 単元末に学習内容の定着を図るための「ふりかえろう」を設け、単元によっては、最後に「活用学びを生かそう」を設けている。 <p>◆知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「もっとしりたい」において、学習内容が仕事や生活に生かされている様子を掲載している。「やってみよう」では日常生活での現象を取り上げ説明させている。 	<p>◆単元の目標とまとめの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭において、イラストを用いた「～かな？」等の問い掛けの形で問題を提示している。 単元末に「ふり返ろう」を設け、学習内容をまとめ、「新しく学習した言葉」を示している。 <p>◆知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「資料」や「科学のまど」において学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。「学びを広げよう」では、日常生活での現象を取り上げ説明させている。 	<p>◆単元の目標とまとめの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 「～を調べてみましょう」等の呼び掛けの形や「～でしょうか。」等の問い掛けの形で問題を提示している。 単元末に「ふりかえろう」を設け、学習内容をまとめている。 <p>◆知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「しりょう」において、科学者の発明や学習内容が実生活・実社会に関連付けられていることを意識させる資料を掲載している。 	<p>◆単元の目標とまとめの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 「調べてみましょう。」等の呼び掛けの形や「～でしょうか。」等の問い掛けの形で問題を提示している。 単元末の「ふり返ろう」「まとめノート」で、学習内容をまとめ、「新しく学習した言葉」を示している。 <p>◆知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「理科の広場」や「くらしとリンク」において学習内容が実生活・実社会に関連付けられている内容を掲載している。「活用しよう」で日常生活での現象を取り上げ説明させている。

	<p>◆観察・実験の技能を習得させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備物の記載がある。 ・番号で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。 ・器具の使い方を巻末に掲載している。 	<p>◆観察・実験の技能を習得させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備物の記載はないが、二次元コードで示している。 ・番号で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。 ・器具の使い方を巻末に掲載している。 	<p>◆観察・実験の技能を習得させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備物の記載がある。 ・番号で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。 ・器具の使い方を巻末に掲載している。 	<p>◆観察・実験の技能を習得させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備物の記載がある。 ・番号と矢印で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。 ・器具の使い方を巻末に掲載している。 	<p>◆観察・実験の技能を習得させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備物の記載がある。 ・番号で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。 ・手順と合わせて、初めて使う器具について同ページに掲載している。 	<p>◆観察・実験の技能を習得させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備物の記載がある。 ・番号と点線で手順を示し、写真や図等を用いて説明している。 ・手順と合わせて、初めて使う器具について同ページに掲載している。
主体的に学習に取り組む工夫	<p>◆興味・関心を高めるための工夫</p> <p>例：3年「身の回りの生物」【単元の導入の写真やイラストの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物や動物の写真と野原で児童が写っている見開き写真 ・児童が話し合っているイラスト <p>◆問題解決の力を育成するための工夫</p> <p>【問題解決の過程の示し方】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①問題をつかむ <ul style="list-style-type: none"> ・レッツトライ ・問題をつかもう ②調べる <ul style="list-style-type: none"> ・問題 ・予想しよう ・計画しよう ・観察・実験 ・観察・実験の結果 ③まとめる 	<p>◆興味・関心を高めるための工夫</p> <p>例：3年「身の回りの生物」【単元の導入の写真やイラストの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭の植物や動物、児童が描かれた見開きイラスト ・児童が伝え合ったり、話し合ったりしているイラストや生物の写真 <p>◆問題解決の力を育成するための工夫</p> <p>【問題解決の過程の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見つけよう <ol style="list-style-type: none"> ①問題を見つけよう ・調べよう ②予想しよう ③計画を立てよう ④調べよう ⑤記録しよう ・伝えよう ⑥考えよう ⑦まとめよう 	<p>◆興味・関心を高めるための工夫</p> <p>例：3年「身の回りの生物」【単元の導入の写真やイラストの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物を児童が観察している見開き写真と児童が観察している写真 ・多様な場所の植物や児童が写っている写真や人物イラスト <p>◆問題解決の力を育成するための工夫</p> <p>【問題解決の過程の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みつけよう <ol style="list-style-type: none"> ①みつける ②予想する ③計画を立てる <ul style="list-style-type: none"> ・調べよう ④調べる ⑤整理する ⑥結果から考える <ul style="list-style-type: none"> ・まとめよう ⑦まとめる 	<p>◆興味・関心を高めるための工夫</p> <p>例：3年「身の回りの生物」【単元の導入の写真やイラストの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物を児童が観察している写真や定規を植物に当てている写真 ・教師や児童が話し合っているイラストや生物の写真 <p>◆問題解決の力を育成するための工夫</p> <p>【問題解決の過程の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○問題を見つける ・見つけよう ・問題 ○自分の考えをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・予想しよう ・計画しよう ○自分の考えを確かめる <ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験 ・結果から考えよう <ol style="list-style-type: none"> ①自然とふれ合おう ②問題を見つけよう ③予想しよう ④方法を考えよう ⑤調べよう ⑥記録しよう ⑦結果から考えよう ⑧まとめよう 	<p>◆興味・関心を高めるための工夫</p> <p>例：3年「身の回りの生物」【単元の導入の写真やイラストの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が植物を観察している見開き写真や動物・植物に分けたイラスト ・多様な植物や動物を児童が観察しているイラスト、児童が話し合っている写真等 <p>◆問題解決の力を育成するための工夫</p> <p>【問題解決の過程の示し方】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①見つける <ul style="list-style-type: none"> ・問題をつかもう ・問題 ②調べる <ul style="list-style-type: none"> ・予想 ・計画 ・観察・実験 ・結果 ③まとめる <ul style="list-style-type: none"> ・考察しよう 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・考察しよう ・のぼそう！理科の力 ・まとめ ・広げよう！理科の発想 ・次の問題を見つけよう ・理科の世界探検部 <p>◆1人1台端末への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れの中で利用できるコンテンツを用意（二次元コード） ・興味関心を高めるためのコンテンツ。 ・グラフの書き方や実験のシミュレーションなど学習を支援するコンテンツ。 ・調べ学習などで ICT 機器の使用例などを提示。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイエンスワールド Science World ・資料（りかのたまたまこ） <p>◆1人1台端末への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備物のチェックリストをデジタル化。 ・観察・実験・器具の使い方など内容に合わせたコンテンツをページ下に掲載。 ・巻末問題の解答。 ・地域資料コンテンツ (HP に掲載) ・調べ学習などで ICT 機器の使用例などを提示。 	⑧いかす（つなげる）	○わかったことを表す		<ul style="list-style-type: none"> ・結論 ・学びを広げよう ・新たな問題を見つける <p>◆1人1台端末への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元はじめに「まなびリンク」で内容に関連するコンテンツ（動画・写真・ウェブ図鑑・外部リンク）を掲載。 ・本文中や巻末で調べ方に合わせて ICT を活用した記録や共有の事例などを掲載。 ・巻末で ICT 機器を使用する上での注意を呼びかけ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ ・もっと知りたい ・次の問題へ <p>※探究のサイクル図</p> <p>◆1人1台端末への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で「学びの中で ICT を活用してみよう」という特設ページを掲載。 ・単元末の「まとめノート」では補充問題を二次元コードで、「スマート解説」では解説動画などを掲載。 ・実験の計画や実施段階でのサポートコンテンツを用意。 ・巻末で CBT コンテンツ（端末上で問題解決）を掲載。
内容の構成・配列・分量	<p>◆単元や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・版 A4 ・ページ数 (学年合計) 748 ページ ・単元数 (学年合計) 54 単元 ・単元以外の内容 <p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間の学習ガイダンス ・問題解決の流れと学習のポイント 	<p>◆単元や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・版 A4 ・ページ数 (学年合計) 860 ページ ・単元数 (学年合計) 55 単元 ・単元以外の内容 <p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の流れと学習のポイント ・自由研究の計画の立て方や調べ方、ま 	<p>◆単元や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・版 AB ・ページ数 (学年合計) 812 ページ ・単元数 (学年合計) 55 単元 ・単元以外の内容 <p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間の学習ガイダンス ・自由研究の計画の立て方や調べ方、ま 	<p>◆単元や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・版 A4 変形 ・ページ数 (学年合計) 856 ページ ・単元数 (学年合計) 58 単元 ・単元以外の内容 <p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5学年の学習の振り返り ・問題解決の流れと学習のポイント 	<p>◆単元や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・版 AB ・ページ数 (学年合計) 700 ページ ・単元数 (学年合計) 51 単元 ・単元以外の内容 <p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の流れと学習のポイント ・理科室の使い方 ・自由研究の計画の立 	<p>◆単元や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・版 AB ・ページ数 (学年合計) 792 ページ ・単元数 (学年合計) 57 単元 ・単元以外の内容 <p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の流れと学習のポイントや第6学年で学ぶ資質・能力、ICTの活用につい 	

<ul style="list-style-type: none"> 自由研究の計画の立て方や調べ方、まとめ方 理科室及び実験器具の使い方 1年間の学習のまとめ 中学校理科の学習内容の紹介 プログラミングとの関連 動画コンテンツの紹介 <p>◆社会の変化に伴う課題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 「私たちの暮らしと災害」という小単元を設定。 「理科の世界探検部」において防災・減災に関する内容を掲載。 「理科室の使い方」において地震が起きたときの対処についての記述。 <p>【プログラミング単元】 第6学年「電気と私たちの暮らし」</p>	<ul style="list-style-type: none"> め方 他学年の学習内容を整理 理科を学ぶ上での調べ方や学習の進め方の説明や、理科室及び実験器具の使い方 1年間の学習のまとめと演習問題、中学校理科の学習内容の紹介など、理科に必要な技能や資料 <p>◆社会の変化に伴う課題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 「防災」マークで関係する箇所を示したり、巻末資料に「災害に備えようブック」を掲載。 「りかのたまたまばこ」「Science World」「防災」や単元末の問題において防災・減災に関する内容を掲載。 防災に関する動画の二次元コードを提示。 「理科室のきまり」において地震が起きたときの対処についての記述。 <p>【プログラミング単元】 第6学年「私たちの生活と電気」</p>	<ul style="list-style-type: none"> め方 科学者の紹介 理科室や実験器具の扱い方、対話の仕方や記録の取り方など、理科に必要な技能や資料 1年間の振り返りと中学校へ向けて 大事な言葉、教科書に出てくる調べ方や使い方 <p>◆社会の変化に伴う課題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 「防災」マークで関係する箇所を提示。 「川と災害」「火山の噴火や地震」といった小単元を設定。 「もっとしりたい」において防災・減災に関する内容を掲載。 「理科室の使い方」において地震が起きたときの対処についての記述。 <p>【プログラミング単元】 第6学年「電気と私たちの生活」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自由研究の計画の立て方や調べ方、まとめ方 理科室の使い方、算数科との関連など、理科に必要な技能や資料 第6学年の学習の振り返り SDGsとの関わりを考える事例 科学者や研究者からのメッセージ <p>◆社会の変化に伴う課題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 「台風と災害」「川と災害」「地震や火山と災害」といった小単元を設定。 「科学のまど」「資料」において防災・減災に関する内容を掲載。 「理科室の使い方」において地震が起きたときの対処についての記述。 <p>【プログラミング単元】 第6学年「電気の利用」</p>	<ul style="list-style-type: none"> て方や調べ方、まとめ方 中学校理科の学習内容や科学者のメッセージの紹介 動画コンテンツの紹介・説明 <p>◆社会の変化に伴う課題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 「しりょう」において防災・減災に関する内容を扱う。 「調査」として調べ学習を設定。 「楽しい理科室」において地震が起きたときの対処についての記述。 <p>【プログラミング単元】 第6学年「電気の利用」</p>	<ul style="list-style-type: none"> て 自由研究の計画の立て方や調べ方、まとめ方 理科室の使い方 中学校での学びに向けてのメッセージ ノートのまとめ方や算数科との関連、ものづくりの紹介など、理科に必要な技能や資料 動画コンテンツの紹介や説明 <p>◆社会の変化に伴う課題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 「with the Earth」「くらしとリンク」において防災・減災に関する内容を掲載。 「みんなで使う理科室」において地震が起きたときの対処についての記述。 <p>【プログラミング単元】 第6学年「発電と電気の利用」</p>
--	---	--	--	---	---

<p>内容の 表現・表記</p>	<p>◆巻頭・巻末等の資料の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭には、〇年の理科で学ぶこと「理科の学び方」で、学習の進め方の資料を掲載している。 巻末では、各学年の学習内容を整理した資料、器具の扱い方やノートの書き方の資料、SDGs、プログラミング、デジタルコンテンツの資料を掲載している。 <p>◆イラスト・写真・図表等の示し方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭では、写真等を使用して、自然事象を提示している。 子供のイラストやキャラクターの吹き出しで疑問を投げ掛けたり、考える視点を示したりしている。 <p>◆キャラクターやマーク等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程を表すマークを設定し、矢印でつないで学習の流れを示している。 <p>・全学年で同じキャラ</p>	<p>◆巻頭・巻末等の資料の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭には、写真やマンガ等で学習内容を示した資料や「理科の学び方」で学習の進め方を掲載している。 巻末では、各学年の学習内容を整理した資料、器具の扱い方やノートの書き方の資料、次年度の学習内容や科学者の言葉を掲載している。 <p>◆イラスト・写真・図表等の示し方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭では、写真等を使用して、自然事象を提示している。 子供のイラストやキャラクターの吹き出しで、考えるヒントとなる問いや気付き等を示している。 <p>◆キャラクターやマーク等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程を表すマークを設定し、ページ左のラインで学習の流れを示している。 <p>・学年ごとに設定され</p>	<p>◆巻頭・巻末等の資料の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭には、科学の専門家の言葉や「科学の芽を育てよう」で各学年で付きたい力や学習の進め方を掲載している。 巻末では、各学年の学習内容やできるようになったことを振り返る資料、器具の扱い方やノートの書き方等についての資料を掲載している。 <p>◆イラスト・写真・図表等の示し方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭では、写真等を使用して自然事象を提示している。 子供のイラストと吹き出し等で、考えることを促したり、考える視点を示したりしている。 <p>◆キャラクターやマーク等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程を表すマークを設定し、矢印でつないで学習の流れを示している。 <p>・理科で育成したい「資</p>	<p>◆巻頭・巻末等の資料の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭には、SDGs、育成したい力、前学年の学習内容のまとめ資料、「学習の進め方」を掲載している。 巻末では、器具の扱い方、一年間の学習を振り返る資料、科学館や博物館の紹介資料等を掲載している。 <p>◆イラスト・写真・図表等の示し方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭では、写真等を使用して、自然事象を提示している。 子供のイラストと吹き出しで、疑問や気付き等を示している。 <p>◆キャラクターやマーク等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程をマークで設定し、矢印でつないで学習の流れを示している。 <p>・キャラクターの吹き</p>	<p>◆巻頭・巻末等の資料の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭には、育成したい力と関連させた写真、学習の進め方の資料を掲載している。 巻末では、次学年の学習内容や科学者の資料、二次元コードを利用した動画資料を掲載している。 <p>◆イラスト・写真・図表等の示し方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭では、写真等を使用して、自然事象を提示している。 子供のイラストと吹き出しで、考える視点を与える疑問や気付き等を示している。 <p>◆キャラクターやマーク等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程をマークで設定し、問題を見付ける場面や考えをもつ場面、まとめる場面等、学習の流れを示している。 	<p>◆巻頭・巻末等の資料の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭には、学習内容に関連した写真や学習の進め方、ICTの活用の資料を掲載している。 巻末では、「かく」「伝える」「しせつの活用」「算数のまど」等の資料を示している。 巻末では、器具の使い方を掲載していないものの、関連する学習内容の中で適時載せている。 <p>◆イラスト・写真・図表等の示し方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭では、写真等を使用して自然事象を提示している。 子供のイラストと吹き出しで、考える視点を与える疑問や気付き、考え等を示している。 <p>◆キャラクターやマーク等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程をマークで設定し、点線をつなぐことで学習の流れを示している。 <p>・キャラクターの理科</p>
----------------------	---	---	---	---	---	--

	クターが登場し、学習の進め方を示している。 ・大切な用語を黒の太字に緑色のアンダーラインにしている。	たキャラクターが、注目点を示している。 ・大切な用語を黒の太字にしている。	質・能力」をキャラクターとして示している。 ・大切な用語を黒の太字にしている。	出しを「見方のカギ」や「考え方のカギ」として示している。 ・大切な用語を黒の太字に黄色の背景色にしている。		の「見方・考え方」のポイントとなる言葉に、緑色のマーカーを引いている。 ・大切な用語を黒の太字にしている。
言語活動の充実	<p>◆考察文の記述例 第4学年「金属、水、空気と温度」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「金ぞくは、熱せられると、体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなります。」 ・「温度による体積の変わり方は、空気、水、金ぞくの順に大きいです。」 <p>◆考察文の要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連付けられた結論の記述 ・比較に基づく特徴の記述 ・既習の内容との比較を用いた記述 <p>◆話合いや説明の活動を促す工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程において、児童の対話を示している箇所がある。 ・巻末に、発表や話合いの際の留意点を示している。 	<p>◆考察文の記述例 第4学年「金属、水、空気と温度」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「金ぞくも、空気や水と同じように、あたためられると体積が大きくなり、冷やされると体積が小さくなる。」 ・「金ぞくの体積の変化は、空気や水にくらべてとても小さい。」 <p>◆考察文の要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連付けられた結論の記述 ・比較に基づく特徴の記述 ・既習の内容との比較を用いた記述 <p>◆話合いや説明の活動を促す工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程において、机を挟んで話し合う形で児童の対話を示している箇所がある。 	<p>◆考察文の記述例 第4学年「金属、水、空気と温度」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「金ぞくも、温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると体積がへる。」 ・「金ぞくの体積の変わり方は、空気や水にくらべると、とても小さい。」 <p>◆考察文の要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連付けられた結論の記述 ・比較に基づく特徴の記述 ・既習の内容との比較を用いた記述 ・事象を解釈した記述 <p>◆話合いや説明の活動を促す工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程に関係付けられた項目において、児童の対話を示している箇所がある。 ・巻末に、説明の際の留意点を示している。 	<p>◆考察文の記述例 第4学年「金属、水、空気と温度」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「金ぞくは、空気や水と同じように、あたためると、体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」 ・「金属の体積の変化は、空気や水とくらべてひじょうに小さい。」 <p>◆考察文の要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連付けられた結論の記述 ・比較に基づく特徴の記述 ・既習の内容との比較を用いた記述 <p>◆話合いや説明の活動を促す工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程において、教師と児童との対話を示している箇所がある。 ・巻頭に、説明の際の留意点を示している。 	<p>◆考察文の記述例 第4学年「金属、水、空気と温度」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「金ぞくをあたためたり、冷やしたりすると、空気や水と同じように体積が変わる。」 ・「金ぞくの体積の変わり方は、空気や水とくらべて、ずっと小さい。」 <p>◆考察文の要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連付けられた結論の記述 ・比較に基づく特徴の記述 ・既習の内容との比較を用いた記述 <p>◆話合いや説明の活動を促す工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気付きを交流したり、意見を交換したりする場面において、机を挟んで話し合う形で児童の対話を示している箇所がある。 	<p>◆考察文の記述例 第4学年「金属、水、空気と温度」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「金ぞくも空気や水と同じように、あたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」 ・「金ぞくの体積の変化は、空気や水の体積の変化にくらべると、小さい。」 <p>◆考察文の要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連付けられた結論の記述 ・比較に基づく特徴の記述 ・既習の内容との比較を用いた記述 <p>◆話合いや説明の活動を促す工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程において、机を挟んで話し合う形で児童の対話や教師と児童との対話を示している箇所がある。 ・巻末に、「話すとき」「聞くとき」「発表するとき」の留意点を示している。

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	生活	7	12

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	26 信教	38 光村	61 啓林館
基礎・基本 の定着	<p>①具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫 飼育単元の学習活動の流れ</p> <p>○〈上〉「いきものとなかよし」 ・「むしをさがそう」 ・「むしとなかよくなるろう」 ・「いきものずかん」 ・「やってみよう！どうぶつのせわをしよう」 ○〈下〉「生きものとなかよし 大作せん」 ・「学校のちかくの生きもののお話を話そう」 ・「生きものをさがそう」 ・「生きものをそだてよう」 ・「生きもののお話をふりかえろう」 ・「生きもの図かん」</p>	<p>①具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫 飼育単元の学習活動の流れ</p> <p>○〈上〉「みんななかよし」 ・「いきものとなかよくなるろう」 ○〈上〉「あきだいきき」 ・「むしとなかよくなるろう」 ○〈下〉「生きものはっけん」 ・「見つけた！生きもののひみつ」</p>	<p>①具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫 飼育単元の学習活動の流れ</p> <p>○〈上〉「生きもの大すき」 ・「なかよくなるろう」 ・「もっとやってみよう」 ○〈上〉「虫大すき」 ・「虫となかよくなるろう」 ○〈下〉「生きものともだち」 ・「生きものをさがそう」 ・「生きものをかおう」 ・「ものしりノート」 ・「生きもののお話をふしぎを見つけよう」 ・「ふりかえろう」 ・「もっとつづけたいな」</p>	<p>①具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫 飼育単元の学習活動の流れ</p> <p>○〈上〉「なかよくなるろうね 小さなおともだち」 ・「わくわくスイッチ」 ・「生きものをさがそう」 ・「もっとなかよくなりたいたいね」 ・「なにをかんだかな」 ・「生きもののお話をそだてかた」 ・「もしも」 ○〈下〉「めざせ生きものはかせ」 ・「わくわくスイッチ」 ・「生きものをつかまえよう」 ・「生きものをかってみよう」 ・「生きものについて」</p>	<p>①具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫 飼育単元の学習活動の流れ</p> <p>○〈上〉「いきものといっしょ①」 ・「かってみよう」 ・「きょうからいっしょ」 ・「よろこんでくれるかな」 ○〈上〉「いきものといっしょ②」 ・「きょうもげんきかな」 ・「やりたいこといっぱい」 ・「さあ おはいいい」 ・「さむくなってきたね」 ・「いつもとちがうね」 ○〈下〉「いきものといっしょ③」 ・「おかあさんになったんだね」 ・「きょうもあいたいよ」</p>	<p>①具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫 飼育単元の学習活動の流れ</p> <p>○〈上〉「いきものとなかよし」 ・「いきものを見つけてよう」 ・「いきものとなかよくなるろう」 ・「いきものとなかよくなれたかな」 ・「どうぶつをかおう」 ○〈下〉「生きものともだち」 ・「生きものをさがそう」 ・「生きもののお話をしよう」 ・「生きもののお話をくわしく見てみよう」 ・「大はっけんをつたえよう」 ・「生きものともだちになれたかな」</p>	<p>①具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫 飼育単元の学習活動の流れ</p> <p>○〈上〉「生きもの大すき」 ・「わくわくタイム 見たことがある生きものはいるかな？」 ・「生きものとなかよくなるろう」 ・「やってみよう もっと生きものとなかよくなるろう」 ・「なかよくなれたことをしょうかいしよう」 ・「大せつないのち」 ○〈下〉「生きもの大すき大はっけん」 ・「わくわくタイム どこどんな生きものがいかな」 ・「生きものをさがそう」</p>

	<p>住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物 (上)・ショウリョウバッタ ・オンブバッタ ・コオロギ (下)・ダンゴムシ ・カエル ・トンボ ・バッタ</p> <p>② 自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫 地域で生活したり働いたりしている人々と児童が関わる写真 ○活動や体験をする場面 ・農家の人 ・交番で働く人 ・消防署で働く人</p>	<p>住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物 ・コオロギ ・ショウリョウバッタ ・カマキリ ・やご ・カタツムリ ・ダンゴムシ</p> <p>② 自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫 地域で生活したり働いたりしている人々と児童が関わる写真 ○活動や体験をする場面 ・お茶屋で働く人 ・タイ料理店で働く人</p>	<p>住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物 ・モルモット ・ダンゴムシ ・おたまじゃくし ・やご ・アゲハ ・コオロギ ・アリ</p> <p>② 自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫 地域で生活したり働いたりしている人々と児童が関わる写真 ○活動や体験をする場面 ・和菓子屋で働く人 ・パン屋で働く人 ・消防署で働く人</p>	<p>てつたえ合おう」 ・「何をかんじたかな」 ・「生きもののそだて方」 ・「会いに行きたい！せかいのなかまたち」</p> <p>住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物 ・ダンゴムシ ・コオロギ ・モルモット ・チャボ ・シオカラトンボ ・クロオオアリ ・ショウリョウバッタ ・アゲハ</p> <p>② 自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫 地域で生活したり働いたりしている人々と児童が関わる写真 ○活動や体験をする場面 ・製菓店で働く人 ・獅子舞をする人 ・図書館で働く人</p>	<p>○〈下〉「いきものといっしょ④」 ・「いつも いっしょだったね」</p> <p>住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物 ・やぎ</p> <p>② 自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫 地域で生活したり働いたりしている人々と児童が関わる写真 ○活動や体験をする場面 ・交番で働く人 ・パン屋で働く人 ・図書館で働く人</p>	<p>住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物 ・ショウリョウバッタ ・トノサマバッタ ・ダンゴムシ ・コオロギ ・カマキリ ・アリ ・モルモット ・ハムスター ・アゲハ(ナミアゲハ) ・やご(トンボ) ・おたまじゃくし(カエル) ・ダンゴムシ ・カタツムリ ・クワガタムシ ・カブトムシ</p> <p>② 自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫 地域で生活したり働いたりしている人々と児童が関わる写真 ○活動や体験をする場面 ・和菓子屋で働く人 ・花屋で働く人</p>	<p>・「生きものをそだてよう」 ・「生きもののひみつをさがそう」 ・「はっ見したことをつたえ合おう」 ・「生きもののそだて方」</p> <p>住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物 ・ショウリョウバッタ ・コオロギ ・ダンゴムシ ・アゲハ ・トンボ(やご) ・カブトムシ・クワガタ ・カエル(おたまじゃくし) ・ダンゴムシ</p>
--	---	--	---	--	--	---	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・和菓子屋で働く人 ・図書館で働く人 ・グラウンドゴルフの活動をする人 ・児童館で働く人 ・公民館で働く人 ・科学館で働く人 <p>○表現する・行為する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家の人 ・和菓子屋で働く人 ・図書館で働く人 <p>四季の変化を対比させたページ</p> <p>○「こうていで○○(季節)をさがそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈上〉p.40-41 (夏) →p. 64-65 (秋) → p. 88-89 (冬) →〈下〉 p. 2-3 (春) <p>③自分自身や自分の生活について考えるための工夫 学習活動の例</p> <p>○〈上〉「もうすぐ2ねんせい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あたらしい1ねんせいをしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅で働く人 ・グラウンドゴルフの活動をする人 ・郵便局で働く人 ・交番で働く人 ・和菓子屋で働く人 ・醤油屋で働く人 ・グリーンボランティアの活動をする人 ・移動食品店舗で働く人 ・車いすの人、介助する人 ・農家の人 ・図書館で働く人 ・消防署で働く人 <p>○表現する・行為する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お茶屋で働く人 ・図書館で働く人 <p>四季の変化を対比させたページ</p> <p>○「がっこうとなかよくなろう」「きこえてきたよ○○(季節)のあしおと」「校ていには春がいっぱい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈上〉p.28-29 (春) →p. 102→103 (冬) p. 128-129(春)→〈下〉 p. 10-11 (春) <p>③自分自身や自分の生活について考えるための工夫 学習活動の例</p> <p>○〈上〉「ふゆだいすき」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きこえてきたよふゆのあしおと」 	<ul style="list-style-type: none"> ・花屋で働く人 <p>○表現する・行為する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店で働く人 <p>四季の変化を対比させたページ</p> <p>○「まちのきせつ○○(季節)かく地のようす」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈下〉p.2-3 (春) → p. 18-19 (夏) → p. 20-21 (秋) → p. 36-37 (冬) <p>③自分自身や自分の生活について考えるための工夫 学習活動の例</p> <p>○〈上〉「もうすぐ2年生」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1年生をふりか 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館で働く人 ・おもちゃ屋で働く人 <p>○表現する・行為する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和菓子屋で働く人 ・図書館で働く人 ・靴屋で働く人 <p>四季の変化を対比させたページ</p> <p>○「○○(季節)をみつけにいこう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈上〉p.42-43 (春) →p. 66-67 (秋) →p. 96-97 (冬) <p>③自分自身や自分の生活について考えるための工夫 学習活動の例</p> <p>○〈上〉「もうすぐ2年生」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あたらしい1年 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅で働く人 <p>○表現する・行為する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和菓子屋で働く人 ・図書館で働く人 <p>四季の変化を対比させたページ</p> <p>○「いつものぼしよ」</p> <p>「○○(季節)のさんぼみち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈上〉p. 26-31 (春) →p. 58-63 (夏) →p. 86-91 (秋) →p. 102-107 (冬) <p>③自分自身や自分の生活について考えるための工夫 学習活動の例</p> <p>○〈上〉「もうすぐ二ねんせい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「だいじなおもい 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅で働く人 ・農家の人 ・和菓子屋で働く人 ・お囃子会で活動する人 <p>○表現する・行為する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和菓子屋で働く人 ・図書館で働く人 <p>四季の変化を対比させたページ</p> <p>○「きせつのくらし○○(季節)の生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈下〉p. 12-13 (春) →p. 44-45 (夏) →p. 56-57 (秋) →p. 84-85 (冬) <p>③自分自身や自分の生活について考えるための工夫 学習活動の例</p> <p>○〈上〉「もうすぐみんな2年生」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ようこそわたし 	<ul style="list-style-type: none"> ・交番で働く人 ・図書館で働く人 ・公園ボランティアの活動をする人 ・登下校の見守り隊の人 ・農家の人 ・駅で働く人 ・町工場で働く人 <p>○表現する・行為する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和菓子屋で働く人 <p>四季の変化を対比させたページ</p> <p>○「はるのこうていをたんけんしよう」</p> <p>「○○(季節)の校ていに出てみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈上〉p. 10-11 (春) →p. 42-43 (夏) →p. 68-69 (秋) →p. 98-99 (冬) <p>③自分自身や自分の生活について考えるための工夫 学習活動の例</p> <p>○〈上〉「もうすぐ2年生」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わくわくタイム
--	---	---	--	---	---	--	--

<p>たいしよう」 ・「しょうたいしたことをはなしあおう」 ・「1ねんかんをふりかえろう」 ・「おおきくなったじぶんをみつめよう」 ・「つながるひろがる」 ○〈下〉「あしたへジャンプ」 ・「せい長した自分のことをふりかえろう」 ・「せい長した自分のこと見つめよう」 ・「自分のことをまとめよう」 ・「ありがとうの気持ちをつたえよう」 ・「つながるひろがる」</p> <p>相互評価・他者評価の示し方の例</p> <p>・「あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう」で、園児からのお礼の言葉を吹き出しで掲載している。 ・「しょうたいしたことをはなしあおう」で、こども園の先生からの評価を吹き出しで掲載している。 ・「せい長した自分のことを見つめ</p>	<p>・「さむくなってもあそぼうよ」 ・「かぞくだいすきだよ」 ・「もうすぐ2年生」 ・「きこえてきたよはるのあしおと」 ○〈下〉「わたしひろがれ」 ・「見つけよう自分のすてきみんなのすてき」 ・「小さかったころの自分に会いに行こう」 ・「自分ひろがれはっぴょう会」 ・「ありがとうをとどけよう」 ・「みらいにむかってしゅっぱつ」</p> <p>相互評価・他者評価の示し方の例</p> <p>・「かぞくだいすきだよ」で、家族からの「ぼかぼかすることば」カードを掲載している。 ・「もうすぐ2年生」で、互いの成長に対する評価を吹き出しで掲載している。 ・「見つけよう自分のすてきみんなのすてき」で、友だちの良いと</p>	<p>えろう」 ・「もうすぐ2年生」 ○〈下〉「わたしたんけん」 ・「2年生をふりかえろう」 ・「みんなのいいところを見つけよう」 ・「これまでのわたしをらべよう」 ・「わかったことをまとめよう」 ・「はっぴょうしよう」 ・「もっとかがやきたい」</p> <p>相互評価・他者評価の示し方の例</p> <p>・「みんなにつたえよう」で、母親からの手紙を掲載している。 ・「1年生をふりかえろう」で、友だちからの評価が書かれた「はっ見カード」を掲載している。 ・「みんなのいいところを見つけよう」で、友だちの良いところが書かれたカード</p>	<p>生を むかえよう」 ・「1年かんをおもい出そう」 ・「なにをかんじたかな」 ○〈下〉「あしたへつなぐ自分たんけん」 ・「自分について思い出そう」 ・「まわりの人に聞いてみよう」 ・「何をかんじたかな」 ・「楽しかったね生活科」 ・「何をかんじたかな」</p> <p>相互評価・他者評価の示し方の例</p> <p>・「1年かんをおもい出そう」で、吹き出しで評価が書かれた板書を掲載している。 ・「なにをかんじたかな」で、互いの良いところを伝え合うための言葉を吹き出しで掲載している。 ・「自分について思い出そう」で、周りの人からの評価が書かれた</p>	<p>で」 ・「こんなことがあったよ」 ・「ありがとうーねんかん」 ○〈下〉「大きくなったわたし」 ・「わたしのたんじょう」 ・「小さいころのわたし」 ・「大きくなってきたわたし」 ・「ありがとう」 ○〈下〉「おもいでいっぱい生活科」 ・「みんなとすすんでやれたよ」 ・「楽しみだね3年生」</p> <p>相互評価・他者評価の示し方の例</p> <p>・「できるようになったよ」で、家族からの評価を吹き出しで掲載している。 ・「こんなことがあったよ」で、友だちから評価された事例を掲載している。 ・「ありがとう」で、母親からの手紙を掲載している。</p>	<p>たちの学校へ」 ・「しょうたいしたことをふりかえろう」 ・「一年かんをおもいだそう」 ・「2年生では、なにをしたいかな」 ○〈下〉「広がれわたし」 ・「今のわたしはどんなわたし」 ・「今のわたしになるまでに」 ・「こんなにせいちょうしたんだね」 ・「せいちょうしたことをつたえよう」 ・「3年生も楽しみだね」</p> <p>相互評価・他者評価の示し方の例</p> <p>・「にこにこがいっぱい」で、母親からの手紙を掲載している。 ・「しょうたいしたことをふりかえろう」で、園児からのお礼のカードを掲載している。 ・「今のわたしはどんなわたし」で、友だちの良いところを書いたカードを掲載し</p>	<p>1年かんをふりかえろう」 ・「できるようになったことをあつめよう」 ・「あたらしい1年生をしょうたいしよう」 ・「しょうたいしたことをふりかえろう」 ○〈下〉「これまでのわたしこれからわたし」 ・「わくわくタイム大きくなった自分をふりかえろう」 ・「自分についてしらべよう」 ・「自分のせい長をまとめよう」 ・「せい長した自分をつたえよう」</p> <p>相互評価・他者評価の示し方の例</p> <p>・「できるようになったことをあつめよう」で、友だちからの評価が書かれたカードを掲載している。 ・「しょうたいしたことをふりかえろう」で、幼稚園の先生からの手紙を掲載している。 ・「自分についてしらべよう」で、</p>
---	---	---	---	--	--	---

	<p>よう」で、友だちからの評価が書かれた「ありがとうカード」や「すごいねカード」を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園の先生からの評価が書かれた「自分のことをしらべよう」を掲載している。 	<p>ころやがんばったこと等が書かれたカードを掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小さかったころの自分に会いに行こう」で、家族からの評価が書かれた「自分はっけんカード」を掲載している。 	<p>を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もっとかがやきたい」で、担任からの手紙を掲載している。 	<p>カードを掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「何をかんじたかな」で、周りの人からの手紙を掲載している。 		<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「せいちょうしたことをつたえよう」で、発表に対する聞き手からの評価を吹き出して掲載している。 	<p>友だちからの評価を吹き出して「掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「せい長した自分をつたえよう」で、祖父母からの手紙を掲載している。
	<p>④生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫 生活の決まりや安全についての扱いや表現の工夫</p> <p>○「どきどきわくわく1ねんせい」の単元で、次の内容が示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気の予防に努めること ・学校のルールやマナーを守ること ・遊びのルールを守ること ・適切な挨拶や言葉遣いができること <p>○生活のきまりや安全について示すコーナーやマーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かつどうべんりてちょう」マーク ・「やくそく」コーナー ・「がっこうにいるひととはなそう」コーナー 	<p>④生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫 生活の決まりや安全についての記述の工夫</p> <p>○「たのしいよ1ねんせい」の単元で、次の内容が示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全、防犯、防災への意識を高めること ・学校のルールやマナーを守ること ・遊びのルールを守ること ・適切な挨拶や言葉遣いができること <p>○生活の決まりや安全について示すコーナーやマーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きらきらことばコーナー」 ・「あんぜんをまもるくふうだね」コーナー ・「ちゅうい」マーク ・「やくそく」コーナー 	<p>④生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫 生活の決まりや安全についての記述の工夫</p> <p>○「はじまるよしょがっこう」の単元で、次の内容が示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気の予防に努めること ・交通安全、防犯、防災への意識を高めること ・適切な挨拶や言葉遣いができること <p>○生活の決まりや安全について示すコーナーやマーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「めざせてあらいめいじん」マーク ・「あそんだあととはてをあらおう」コーナー ・「やくそく」コーナー ・まなびかたずか 	<p>④生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫 生活の決まりや安全についての記述の工夫</p> <p>○「はじめのいっぽ」「わくわくどきどきしょうがっこう」の単元で、次の内容が示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気の予防に努めること ・適切な挨拶や言葉遣いができること ・交通安全、防犯、防災への意識を高めること ・自然災害などの緊急時に適切な行動がとれること ・学校のルールやマナーを守ること ・遊びのルールを守ること <p>○生活の決まりや安全について示すコーナーやマーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「てあらいうがい」 	<p>④生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫 生活の決まりや安全についての記述の工夫</p> <p>○「うれしいないちねんせい」の単元で、次の内容が示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気の予防に努めること ・交通安全、防犯、防災への意識を高めること ・遊びのルールを守ること ・適切な挨拶や言葉遣いができること <p>○生活の決まりや安全について示すコーナーやマーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「！きをつけよう！」コーナー ・「！あぶない！」コーナー ・「がっこうのいろいろなところ」コーナー 	<p>④生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫 生活の決まりや安全についての記述の工夫</p> <p>○「いちねんせいのはじまるよ」「なかよしいっぽいがっこうたんけん」の単元で、次の内容が示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気の予防に努めること ・適切な挨拶や言葉遣いができること ・交通安全、防犯、防災への意識を高めること ・自然災害などの緊急時に適切な行動がとれること ・学校のルールやマナーを守ること ・遊びのルールを守ること ・適切な挨拶や言葉遣いができること <p>○生活のきまりや安全について示すコーナーやマーク</p>	<p>④生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫 生活の決まりや安全についての記述の工夫</p> <p>○「がっこうだいすきいちねんせい」「いくぞ！がっこうたんけんたい」の単元で、次の内容が示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気の予防に努めること ・交通安全、防犯、防災への意識を高めること ・自然災害などの緊急時に適切な行動がとれること ・学校のルールやマナーを守ること ・遊びのルールを守ること ・適切な挨拶や言葉遣いができること <p>○生活のきまりや安全について示すコーナーやマーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こんなときどう

		<ul style="list-style-type: none"> ・「はなしかためいじん」「ききかためいじん」コーナー ・「がくしゅうどうぐばこ」マーク 	<ul style="list-style-type: none"> ん」マーク ・「ものしりのうと」コーナー 	<ul style="list-style-type: none"> マーク ・「やくそく」コーナー ・まなびのぼけつと」マーク ・「できるかな」コーナー 		<ul style="list-style-type: none"> ・「!きをつけよう」コーナー ・「けんこう」マーク ・「みて!〇ぺえじ」マーク ・「あんぜん」マーク 	<ul style="list-style-type: none"> しよう」コーナー ・「まなびのひんと」コーナー ・「てをあらおうがいをしよう」コーナー ・「あんぜんにすごそう」マーク
主体的に学習に取り組む工夫	<p>⑤興味・関心を高めるための工夫 単元の導入ページの内容</p> <p>〈下〉「うごくうごく わたしのおもちゃ」</p> <p>○見開き2ページの写真と児童の思いや発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童4名が教室でゴムを利用して飛ぶおもちゃで遊んでいる様子の写真 ・児童3名がグラウンドで風を利用して回るおもちゃで遊んでいる様子の写真 ・輪ゴムと乾電池を利用して進むおもちゃの仕組みを考えている様子の写真 ・児童の思いや発言「おもちゃをつかって楽しかったな。またみんなとあそびたいな。」「どうしてうごくのかな。」を掲載している。 	<p>⑤興味・関心を高めるための工夫 単元の導入ページの内容</p> <p>〈下〉「楽しさひろがれ わたしのおもちゃ」</p> <p>○見開き2ページの写真とイラスト、児童の思いや発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童4名が廊下で、風を利用して動くおもちゃで遊んでいる様子の写真 ・児童の思いや発言「楽しそうなおもちゃだね。」を掲載している。 ・二次元コード(動画) 	<p>⑤興味・関心を高めるための工夫 単元の導入ページの内容</p> <p>〈下〉「作ってあそぼう うごくリサイクルおもちゃ」</p> <p>○見開き2ページの写真とイラスト、児童の思いや発言、リード文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童1名がおもちゃの材料の入った箱を抱え、箱から飛び出したように描写された3つのおもちゃの写真 ・児童1名が空気を利用して飛ぶおもちゃで遊んでいる様子の写真 ・児童の思いや発言「むずかしそうだな。うまく作れるかな。」や、リード文「自分のおもちゃ作って、みんなであそぼう。どんなあそびができるかな。」を掲載している。 	<p>⑤興味・関心を高めるための工夫 単元の導入ページの内容</p> <p>〈下〉「作ってためして」</p> <p>○見開き2ページの写真と児童及び先生の思いや発言、フローチャート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童6名がそれぞれ異なったおもちゃを持っている様子の写真 ・児童2名がおもちゃに対する気持ちを話す様子の写真 ・先生1名が問かける様子の写真 ・児童の思いや発言「小さい時空きばこで車を作ったことがあるよ。」「どんなおもちゃを作ろうかな。」「先生の発言「どんなおもちゃを作ったら楽しく遊べるかな。」を掲載している。 	<p>⑤興味・関心を高めるための工夫 単元の導入ページの内容</p> <p>〈下〉「はしれはしれ」</p> <p>○見開き2ページの写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左右両側に開く観音折り ・児童3名が走る車のおもちゃを見ている様子の写真 	<p>⑤興味・関心を高めるための工夫 単元の導入ページの内容</p> <p>〈下〉「あそんで作ってくふうして」</p> <p>○見開き2ページの写真と児童の思いや発言、リード文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童4名がおもちゃの材料を見ながら考えている様子の写真 ・ペットボトル、牛乳パック、ティッシュケース、乾電池等の材料の写真 ・児童の思いや発言や「あ!すごいことおもいついた!」「わたしもいいことおもいついた!」、リード文「どんなものがあつまるかな。」を掲載している。 	<p>⑤興味・関心を高めるための工夫 単元の導入ページの内容</p> <p>〈下〉「せかいでひとつわたしのおもちゃ」</p> <p>○見開き2ページの写真とイラスト、児童の思いや発言、リード文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童3名が「ざいりょうたからばこ」から材料を選んでいる様子の写真 ・ペットボトル、牛乳パック、ティッシュケース、糸等の材料の写真 ・児童の思いや発言「こども園でおもちゃを作ったよ。」「1年生のときは どんぐりごまを作ったね。」、リード文「どんなあそびができるかな。」「あつめたものであそんでみよう。」を掲載している。

				<ul style="list-style-type: none"> ・「わくわくスイッチ」として、フローチャートを掲載している。 ・二次元コード（ワークシート） 			<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コード（動画、スライド）
<p>⑥ 振り返り表現する活動の工夫 栽培單元におけるワークシートの例</p> <p>〈上〉「はなをさかせよう」</p> <p>○絵と記述（1行）</p> <p>○横書き罫線なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題（たねをまいたよ）あさがお ・絵 あさがおの種3つ ・文「はやくめがでてほしいな。」 <p>〈下〉「ぐんぐんそだてわたしの野さい」</p> <p>○タブレットの画面に写真（コメント付き）と記述（5行）</p> <p>○横書き罫線14本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題 しちゅうの立て方（を教えてください。）（そだてている野さい）ミニトマト ・写真 ミニトマトの苗1つ（「強い風がふく 	<p>⑥ 振り返り表現する活動の工夫 栽培單元におけるワークシートの例</p> <p>〈上〉「みんななかよし」</p> <p>○絵と記述（2行）</p> <p>○横書き罫線1本</p> <p>○気持ちを表現する顔のマーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題（かんさつにつき）あさがお ・絵 あさがおの子葉2枚、発芽しそうな種1つ ・文「わたしのあさがおさんがうまれました。おめでとうのうたをうたいました。」 <p>〈下〉「春はっけん」</p> <p>○絵と記述（4行）</p> <p>○横書き罫線4本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題（かんさつ日記）イチゴ ・絵 花や実が付いたイチゴの苗複数 ・文「3月ごろに花がさいて、やっと4月になってまっかなイチゴができました。大せつにそだてたので、食べるのがと 	<p>⑥ 振り返り表現する活動の工夫 栽培單元におけるワークシートの例</p> <p>〈上〉「わたしのあさがお」</p> <p>○絵と記述（2行）</p> <p>○横書き罫線なし</p> <p>○気持ちを表現する顔のマーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題（わたしのあさがお） ・絵 あさがおの種1つ ・文「めをだしてね」「くろくてちいさいよ」 <p>〈下〉「わたしたちの野さいばたけ」</p> <p>○絵と記述（7行）</p> <p>○横書き罫線8本</p> <p>○気持ちを表現する顔のマーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題（野さい日記）そだてる野さいをきめたよ ・絵 ナスの苗1つを持った児童1名、ナス2つ ・文「ぼくは、にが手なナスにちょうせんします。自 	<p>⑥ 振り返り表現する活動の工夫 栽培單元におけるワークシートの例</p> <p>〈上〉「きれいにさいてねわたしのはな」</p> <p>○絵と記述（3行）</p> <p>○横書き罫線なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題（きれいにさいてね）たねをまいたよ ・絵 あさがおの種1つ ・文「たねはちいさいな。かわいいな。」 <p>〈下〉「めざせ野さい作り名人」</p> <p>○絵と記述（5行）</p> <p>○横書き罫線6本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題（おいしい野さいになあれ）ミニトマトのなえをうえたよ ・絵 ミニトマトの苗1本 ・文「はっばもくきもみどり色でさわるとざらざらしていました。はっばのはじっこ 	<p>⑥ 振り返り表現する活動の工夫 栽培單元におけるワークシートの例</p> <p>〈上〉「わたしのあさがお」</p> <p>○絵と記述（7行）</p> <p>○縦書き罫線7本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題（あさがおにつき） ・絵 あさがおの種1つ ・文「たねをもらったよ。こんなにちいさくてくろいたねからどんなはながさくのかな。たねがだいじにしてねっている。」 <p>〈下〉「いっぱいみのって」</p> <p>○絵と罫線（11行）</p> <p>○縦書き罫線10本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題（だいずにつき） ・絵 大豆の種を畑に植えている児童1名 ・文「おばさんにおしえてもらったようにだいずのたねをまきました。「元気にそだってね。」と、だいずに声をかけな 	<p>⑥ 振り返り表現する活動の工夫 栽培單元におけるワークシートの例</p> <p>〈上〉「さいてほしいなわたしのはな」</p> <p>○絵と記述（2行）</p> <p>○横書き罫線3本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題（さいてほしいなわたしのはな）あさがおのたね ・絵 あさがおの種3つ ・文「いろは、ちゃいろとくろです。はやくめがでてほしいです。」 <p>〈下〉「おいしいやさいをそだてたい」</p> <p>○絵と記述（5行）</p> <p>○横書き罫線6本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題（おいしいやさいをそだてたい）なえをうえた ・絵 ミニトマトの苗1本 ・文「ミニトマトのなえをうえました。なえにさわると、ゆびがトマトのにおいになってびっくりしま 	<p>⑥ 振り返り表現する活動の工夫 栽培單元におけるワークシートの例</p> <p>〈上〉「わたしのはなをそだてよう」</p> <p>○絵と記述（3行）</p> <p>○横書き罫線なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題（たねをまいたよ） ・絵 あさがおの種1つ ・文「すいかみたいなかたちだよ。はやくさいてね。」 <p>〈下〉「大きくそだてわたしの野さい」</p> <p>○絵と記述（5行）</p> <p>○横書き罫線5本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題（なえをうえたよ） ・絵 ミニトマトの苗1本 ・文「ミニトマトのなえをうえました。野さい名人のさき木さんが「おいしい野さいを作るには、土作りが大切だよ。」と 	

	と、おれそう」とコメント) ・文 「わたしのミニトマトがおおきくなってきて、たおれそうなので、しちゅうを立てようと思います。アサガオと同じしちゅうだとミニトマトのはっぱが当たってしまいます。みんなは、どうしていますか？」	てもたのしみです。」	分でそだてたら、すきになれると思ったからです。お店の人が、「なえの方がそだてやすいよ。」と教えてくれました。だから、なえからそだてることにしました。みができるのが、今から楽しみです。」	はぎざぎざしていました。元気にそだってほしいです。」	がら、まきましました。まい日、水やりをちゃんとやろうと思います。」	した。おいしいミニトマトができるように、せわをがんばります。」	教えてくれました。これからおせわをがんばります。」
内容の構成・配列・分量	⑦単元や資料等の配列及び分量 単元名・資料等の配列及び総ページ数 〈上〉130 ページ (9 単元) ○どきどきわくわく1ねんせい ○がっこうだいすき ○はなをさかせよう ○なつがやってきた ○いきものとなかよし ○たのしいあきいっぱい ○じぶんでできるよ ○ふゆをたのしもう ○もうすぐ2ねんせい ・かつどうべんりてちょう ・ほんとうのおおきさいきものずかん	⑦単元や資料等の配列及び分量 単元名及び総ページ数 〈上〉140 ページ (4 単元) ・たのしいよ1ねんせい ・やってみようせいかつか ○みんななかよし ○なつとなかよし ○あきだいすき ○ふゆだいすき ・がくしゅうどうぐばこ	⑦単元や資料等の配列及び分量 単元名及び総ページ数 〈上〉140 ページ (10 単元) ○はじまるよしょうがっこう ○がっこうたんけん ○わたしのあさがお ○あそびにいこうよ ○生きもの大すき ○むし大すき ○あきをたのしもう ○ありがとうがいっぱい ○ふゆをたのしもう ○もうすぐ2年生 ・まなびかたずかん	⑦単元や資料等の配列及び分量 単元名及び総ページ数 〈上〉130 ページ (9 単元) ○はじめのいっぽ ○わくわくどきどきしょうがっこう ○きれいにさいてねわたしのはな ○きせつとなかよしはる・なつ ○なかよくなろうね小さなともだち ○きせつとなかよし あき ○かぞくにこにこ大きくせん ○きせつとなかよし ふゆ ○もうすぐ2年生 ・学びのポケット	⑦単元や資料等の配列及び分量 単元名及び総ページ数 〈上〉128 ページ (17 単元) ○うれしいないちねんせい ○はるとなかよし ○たんごのせつく ○わたしのあさがお ○いきものといっしょ① ○たなばた ○まぶしいなつ ○ひとつぶのたねから ○いきものといっしょ② ○おつきみ ○あきがっぱい ○わたしとかぞく ○ふゆもきらきら ○せつぶん ○てづくりおもちゃ ○ひなまつり	⑦単元や資料等の配列及び分量 単元名及び総ページ数 〈上〉137 ページ (9 単元) ○いちねんせいはじまるよ ○なかよしいっぱいがっこうたんけん ・もつとやってみよう ○さいてほしいなわたしのはな ○なつともだち ・もうすぐなつやすみ ・なつのたのしみ ○いきものとなかよし ○あきともだち ○みんなのこにこ大きくせん ・もうすぐふゆやすみ ・ふゆのたのしみ ○ふゆともだち	⑦単元や資料等の配列及び分量 単元名及び総ページ数 〈上〉148 ページ (9 単元) ○がっこうだいすきいちねんせい ・がくしゅうずかん ○いくぞ！がっこうたんけんたい ・びっくりずかん ○わたしのはなをそだてよう ○なつとなかよし ○生きもの大すき ○あきとなかよし ○じぶんでチャレンジ大きくせん ○ふゆとなかよし ○もうすぐ2年生

	<p>〈下〉122 ページ (9 単元) ○春だ今日から 2 年生 ○ぐんぐんそだてわたしの野さい ○どきどきわくわくまちたんけん ○生きものなかよし大作せん ○うごくうごくわたしのおもちゃ ○みんなでつかうまちのしせつ ○もっとなかよしまちたんけん ○つながる広がるわたしの生活 ○あしたへジャンプ ・かつどうべんりてちょう</p> <p>幼児期の教育との接続に関する内容 ○「どきどきわくわく1ねんせい」 ○13 ページ ○「つながるひろがる」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	<p>〈下〉128 ページ (6 単元) ・やってみよう生活科 ○春はっけん ○生きものはっけん ○わたしの町はっけん ○町のキラリひろがれ ○楽しさひろがれわたしのおもちゃ ○わたしひろがれ ・がくしゅうどうぐばこ</p> <p>幼児期の教育との接続に関する内容 ○「たのしいよ1ねんせい」 ○6 ページ ○「わくわくするころ」といっばいだね」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	<p>〈下〉132 ページ (6 単元) ○まちたんけん ○あの人に会いたいな ○わたしたちの野さいばたけ ○生きものと友だち ・みんなの夏休み ○作ってあそぼううごくおもちゃ ・みんなの冬休み ○わたしたんけん ・学び方図かん</p> <p>幼児期の教育との接続に関する内容 ○「はじまるよしゅうがっこう」 ○10 ページ ○「どんなことをするのかな」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	<p>〈下〉130 ページ (7 単元) ○わくわく2年生 ○めざせ野さい作り名人 ○まちが大すきたんけんたい ○めざせ生きものはかせ ○えがおのひみつたんけんたい ○作ってためして ○あしたへつなぐ自分たんけん ・学びのポケット</p> <p>幼児期の教育との接続に関する内容 ○「はじめのいっぽ」 ○7 ページ ○「がくしゅうのはじまり」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	<p>○もうすぐ二ねんせい 〈下〉104 ページ (13 単元) ○二年目の春 ○わたしたちがすむ町 ○いきものといっしょ③ ○いっばいみのつて ○かがやく夏 ○すすめすいすい号 ○いっばいみのつたね ○みんなで行こう ○冬とお正月 ○はしれはしれ ○いきものといっしょ④ ○大きくなったわたし ○おもいでいっばい生活科</p> <p>幼児期の教育との接続に関する内容 ○「うれしいないちねんせい」 ○22 ページ ○「あそぼうよ」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	<p>○もうすぐみんな2年生 ・ひろがるせいかつじてん 〈下〉127 ページ (9 単元) ○2年生がはじまるよ ・きせつのくらし ○まちをたんけん大はっけん ・もっとやってみよう ○おいしいやさいをそだてたい ○生きものと友だち ○あそんで作ってくふうして ○みんながつかうまちのしせつ ○もっともつとまちたんけん ○みんなにつたえようすてきなまち ○広がれわたし ・ひろがるせいかつじてん</p> <p>幼児期の教育との接続に関する内容 ○「いちねんせいが始まるよ」 ○14 ページ ○「しりたいな、やってみたいな」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	<p>〈下〉138 ページ (8 単元) ○わくわくどきどき2年生 ・びっくりずかん ○大きくそだてわたしの野さい ○とび出せ！町のたんけんたい ○生きもの大すき大はっ見 ・がくしゅうずかん ○せかいでひとつわたしのおもちゃ ○もっと知りたいたんけんたい ○町のすてきつたえたい ○これまでのわたしこれからのわたし ・みらいにむかって</p> <p>幼児期の教育との接続に関する内容 ○「がっこうだいきいちねんせい」 ○17 ページ ○「あそびがまなびにつながるひろがる」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>
--	--	---	---	---	--	--	--

	<p>中学年以降の教育との接続に関する内容</p> <p>○「あしたへジャンプ」</p> <p>○11 ページ</p> <p>○「つながるひろがる」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	<p>中学年以降の教育との接続に関する内容</p> <p>○「わたしひろがれ」</p> <p>○22 ページ</p> <p>○「みらいにむかってしゅっぱつ」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	<p>中学年以降の教育との接続に関する内容</p> <p>○「わたしたんけん」</p> <p>○15 ページ</p> <p>○「もっとかがやきたい」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	<p>中学年以降の教育との接続に関する内容</p> <p>○「あしたへつなぐ自分たんけん」</p> <p>○13 ページ</p> <p>○「何をかんじたかな」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	<p>中学年以降の教育との接続に関する内容</p> <p>○「おもいでいっぱい生活科」</p> <p>○5 ページ</p> <p>○「楽しみだね三年生」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	<p>中学年以降の教育との接続に関する内容</p> <p>○「広がれわたし」</p> <p>○12 ページ</p> <p>○「もっとやってみよう」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	<p>中学年以降の教育との接続に関する内容</p> <p>○「みらいにむかって」</p> <p>○7 ページ</p> <p>○資料「3年生へのステップブック」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>
<p>内容の 表現・表記</p>	<p>⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p> <p>キャラクター・マークの工夫</p> <p>○キャラクターが、問いを投げかけたり、事象に関する気付きや今後の行動を促し、安全面への配慮をつぶやいたりしている。</p> <p>○キャラクターが、問いを投げかけたり、参考にできる図鑑のページを紹介したりしている。</p> <p>○6名の児童(イラスト)が、繰り返し登場し、活動を展開している。</p> <p>○「!」「?」「♡」マークで、主な評価規準(「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り</p>	<p>⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p> <p>キャラクター・マークの工夫</p> <p>○キャラクターが、問いを投げかけたり、事象に関する気付きや今後の行動を促し、安全面への配慮をつぶやいたりしている。</p> <p>○5名の児童と先生(イラスト)が、繰り返し登場し、活動を展開している。</p> <p>○登場する児童や先生が気付きや疑問をつぶやくことで、思考や活動を展開している。</p> <p>○「せいかつことば」マークで、語彙力の向上や言語能力の育成を図る言葉</p>	<p>⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p> <p>キャラクター・マークの工夫</p> <p>○4名の児童と先生(イラスト)が、繰り返し登場し、活動を展開している。</p> <p>○単元ごとにキャラクターを設定し、気付きや疑問をつぶやいている。</p> <p>○「学び方図かん」マークで、生活科の基本的な学習方法が分かる資料ページを参照するよう示している。</p> <p>○「ものしりノート」マークで、関連する資料ページを参照するよう示している。</p> <p>○「てあらいいうがい」「やくそく」「!</p>	<p>⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p> <p>キャラクター・マークの工夫</p> <p>○2名の児童と2名の先生(写真)が、繰り返し登場し、活動を展開している。</p> <p>○キャラクターが、「はっけんロード」の途中で発見したことや感じたことをつぶやいたり、振り返りの場面で「ぐんぐんはしご」というコーナーで学習活動の自己評価を促したりしている。</p> <p>○キャラクターが、問いを投げかけている。</p> <p>○「サイコロ」マークで、学習活動で引き出す力(気付く・自分でできる・考え</p>	<p>⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p> <p>キャラクター・マークの工夫</p> <p>○5名の児童と2名の先生(イラスト)が、繰り返し登場し、活動を展開している。</p> <p>○登場する児童や先生が気付きや疑問をつぶやくことで、思考や活動を促している。</p> <p>○単元名の前に、単元の内容に関連するマークを掲載している。</p> <p>○「!」マークで、安全・衛生上の注意を促している。</p>	<p>⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p> <p>キャラクター・マークの工夫</p> <p>○同じ児童と先生(イラスト)が、繰り返し登場し、活動を展開している。</p> <p>○資質・能力について振り返るための視点を、キャラクターの問いかけやマークで示している。</p> <p>○マークで学習内容と関連する「ひろがるせいかつじてん」のページを示している。</p> <p>○マークで、動画(二次元コード)の種類(健康・道具・安全・近付かない)を示している。</p> <p>○「もっと やってみよう」マークで、</p>	<p>⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用</p> <p>キャラクター・マークの工夫</p> <p>○5名の児童(イラスト)と2名の先生(イラスト)が、繰り返し登場し、活動を展開している。</p> <p>○キャラクターが、気付きや疑問、学び方のヒントをつぶやいている。</p> <p>○単元導入の「わくわく」、主な活動の「いきいき」、振り返りの「ぐんぐん」の3段階のマークで単元の流れを示している。</p> <p>○マークで、他教科との関連を示している。</p> <p>○マークで、考えるための学習活動の</p>

	<p>組む態度)を示している。</p> <p>○「つながる○○(教科名)」マークで、他教科等との関連を示している。</p> <p>○「かつどうべんりてちょう」マークで、巻末を参照するよう示している。</p> <p>○「ちゅうい」マークで、安全上の配慮が必要な対象を示している。</p>	<p>とば」マークで、友だちとのスムーズな交流を支える言葉を示している。</p> <p>○「がくしゅうどうぐばこ」マークで、関連資料のページを示している。</p> <p>○「きもちマーク」で、振り返りができるようにしている。</p> <p>○「SDGs」マークで、身近な問題としてSDGsについて考えるよう促している。</p>	<p>マークで、安全・衛生上の注意を促している。</p> <p>○小単元名の前に、学習の内容に関連するマークを掲載している。</p>	<p>る・伝える・挑戦する・自信をもつ)を示している。</p> <p>○「学びのポケット」マークで、巻末を参照するよう示している。</p> <p>○「ヒント」マークや「やくそく」マークで、学習のヒントや約束事項を示している。</p> <p>○二次元コードごとにマーク(「どうが」「ワークシート」「デジタルずかん)を付けている。</p>		<p>学習を広げるための資料を示している。</p> <p>○「SDGs」マークで、身近な問題としてSDGsについて考えるよう促している。</p>	<p>例(見付ける・比べる・例える・試す等)を示している。</p> <p>○「がくしゅうずかん」マークで、学習図鑑の参照ページを示している。</p>
<p>言語活動の充実</p>	<p>⑨コミュニケーション活動を通した他者との情報交流の設定</p> <p>多様な表現方法で伝え合う活動の例</p> <p>〈下〉「どきどきわくわくまちたんけん」「もっとなかよしまちたんけん」「つながる広がるわたしの生活」</p> <p>○見つけたことや活動したことについて電子黒板を使って友達に説明したり、探検マップに示したりして説明している。また、家</p>	<p>⑨コミュニケーション活動を通した他者との情報交流の設定</p> <p>多様な表現方法で伝え合う活動の例</p> <p>〈下〉「わたしの町はっけん」「町のキラリひろがれ」</p> <p>○見つけたことや出会った人などをタブレットや電子黒板で報告したり、カードにまとめて紹介したりしている。</p>	<p>⑨コミュニケーション活動を通した他者との情報交流の設定</p> <p>多様な表現方法で伝え合う活動の例</p> <p>〈下〉「まちたんけん」「あの人に会いたいな」</p> <p>○見つけたことや出会った人などについてカードにまとめたり、電子黒板を使って説明したり、クイズ形式で発表したりしてい</p>	<p>⑨コミュニケーション活動を通した他者との情報交流の設定</p> <p>多様な表現方法で伝え合う活動の例</p> <p>〈下〉「まちが大すきたんけんたい」「えがおのひみつたんけんたい」</p> <p>○もっと知りたいことについて友達と付箋紙を使って整理している。</p> <p>○地域の人(和菓子屋や靴屋、パン屋やおもちゃ屋で働く</p>	<p>⑨コミュニケーション活動を通した他者との情報交流の設定</p> <p>多様な表現方法で伝え合う活動の例</p> <p>〈下〉「わたしたちがすむ町」</p>	<p>⑨コミュニケーション活動を通した他者との情報交流の設定</p> <p>多様な表現方法で伝え合う活動の例</p> <p>〈下〉「まちをたんけん大はっけん」「もっともっとまちたんけん」</p> <p>○町探検で見つけたことや、出会った人などを電子黒板を使って説明したり、カードにまとめて地図に置いたりしながら交流をし</p>	<p>⑨コミュニケーション活動を通した他者との情報交流の設定</p> <p>多様な表現方法で伝え合う活動の例</p> <p>〈下〉「とび出せ!町のたんけんたい」「もっと知りたいたんけんたい」「町のすてきつたえたい」</p> <p>○地域の人(和菓子屋や花屋で働く人、警察官など)にインタビューをして調べている。</p> <p>○もっと知りたいことについて付箋</p>

<p>に帰って家族に話している。</p> <p>○インタビュー、電話、ビデオ通話で知りたくなったことをさらに調べている。</p> <p>○調べたことを伝える表現方法として、探検マップ、電子黒板、新聞、タブレット、動画が示されている。</p>	<p>○地域の人（郵便局や図書館、駅で働く人、警察官など）にインタビューして調べている。</p> <p>○調べたことを伝える表現方法として、地図、電子黒板、タブレット、実演、動画、ポスターが示されている。</p>	<p>る。</p> <p>○地域の人（パン屋で働く人、田で働く人、消防士など）にインタビューをして調べている。</p> <p>○調べたことを伝える表現方法として、探検カード、クイズ、電子黒板、新聞、ポスター、絵本、地図、作文、巻物、が示されている。</p>	<p>人など）にインタビューをして調べている。また、図書館を使う人みんなが楽しむための工夫を調べている。</p> <p>○調べたことを伝える表現方法として、探検マップ、カード、ポスター、クイズ、紙芝居、探検マップ、動作化、オンラインでのインタビュー、電子黒板、タブレットが示されている。</p>	<p>○調べたことを伝える表現方法として、紙芝居が示されている。</p>	<p>ている。</p> <p>○地域の人（パン屋、交番、農家の人、幼稚園など）にインタビューをして調べている。</p> <p>○調べたことを伝える表現方法として、町探検マップ、電子黒板、壁新聞、ポスター、パンフレットが示されている。</p>	<p>紙を使って整理している。</p> <p>○知りたくなったことを調べるために、電話での訪問の依頼をしている。</p> <p>○調べたことを伝える表現方法として、町探検マップ、電子黒板、タブレット、劇、カルタ、クイズ、廊下掲示、動画、ポスター、手紙、作文が示されている。</p>
--	--	--	---	--------------------------------------	--	--

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	音楽	2	8

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	17 教出	27 教芸
基礎・基本の 定着	<p>①題材や学習目標等の示し方</p> <p>○第3学年における旋律や変化等を扱った鑑賞の題材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名は「せんりつと音色」として、見開き左上に縦書きで示している。 ・学習目標は「せんりつのへん化をきき取りながらバイオリンのえんそうを楽しもう」と横書きで示し、「せんりつ」「へん化」「バイオリン」の文言には色が付いている。 ・学習活動の見通しを示す文として、目次の次の見開きページに掲載している「学習マップ」の中に、写真、題材名とともに「せんりつの流れや、楽きの音色のとくちょうに注目してききます。」と示している。 ・児童の気付きを引き出す支援として、「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付け、「せんりつの流れに合わせて、手や体を動かしながらきいてみよう。せんりつの感じは、どのようにかわっていくかな。」「バイオリンの音色を味わってきこう。」と示すとともに、旋律の流れや手や体の動きの例等をイラストで示している。 	<p>①題材や学習目標等の示し方</p> <p>○第3学年における旋律や変化等を扱った鑑賞の題材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名は「せんりつのとくちょうをかんとろう」とし、見開き左側に縦書きで示している。 ・学習目標は「せんりつの音の上がり下がりに気をつけてききましょう」と横書きで示している。 ・学習活動の見通しを示す文として、題材のはじめのページの見開き左側に「せんりつの音の上がり下がりに気をつけて、歌ったりえんそうしたり、きいたりすることができるかな。」と縦書きで示している。 ・児童の気付きを引き出す支援として、「思考力、判断力、表現力等」「知識及び技能」の資質能力に対応する「見つける」「考える」のマークを付け、「せんりつの音の上がり下がりに気をつけて、アとイのせんりつをききましょう。それぞれどのようなとくちょうがありますか。」「せんりつのとくちょうについて友だちと話し合い、それらをふりかえりながら、ア→イ→アを通してききましょう。」と示すとともに、旋律の流れをイラストで示している。

②歌唱の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫

○歌唱教材「ゆかいに歩けば」（第4学年）の扱いの具体例

- ・「曲に合った歌い方」の中の歌唱教材として扱っている。
- ・学習目標「ひびきを大切にして歌い方をくふうしよう」及び扱う〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素について「せんりつ」「音色」を示している。
- ・歌詞は、1、2番。速度は、♩=116 ぐらい。
- ・楽曲で習得する記号「スタッカート（音を短く切る）」について、見開き右側に示している。
- ・合唱の扱いとしては、ア イに分かれイの部分が二部合唱になっている。
- ・発声の扱いとして、「歌声 おなかを使って歌おう」のコーナーを設け、歌っている姿の写真を掲載し、歌い方のポイントを示している。「かたを楽にして、おなかに手を当てながらうたってみよう。」「『ゆかいに歩けば』の前半の部分をピ、ポ、マなどの言葉で、歌ってみよう。」と示している。
- ・児童の気付きを引き出す支援として、「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付け、表現を深めるための支援がイラストとともに示されている。

②歌唱の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫

○歌唱教材「ゆかいに歩けば」（第4学年）の扱いの具体例

- ・「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」の中の歌唱教材として扱っている。
- ・学習目標「せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう」及び扱う〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素について「音色」「せんりつ」「強弱」を示している。
- ・歌詞は、1、2、3番。速度は、♩=116～126。
- ・楽曲で習得する記号「スタッカート（その音を短く切ってえんそうする記号）」「ピアノ（弱く）」「メゾピアノ（少し弱く）」について、「がくふマスター」と題した□の中に示している。
- ・合唱の扱いとしては、ア イに分かれイの部分が二部合唱になっている。
- ・発声の扱いとして、「歌声ルーム2」を設け、『バルデリー』『バルデラー』『バルデロー』のように、のばす音のところでは、どんだん息をふやす感じで、声が体からわき上がるように歌いましょう。また、スタッカートのところは、おなかのまわり全体の動きを感じて、わらったときのようにはずんで歌いましょう。」と歌い方のポイントを示している。
- ・児童の気付きを引き出す支援として、「思考力、判断力、表現力等」「知識」「技能」の資質・能力に対応する「見つける」「考える」「歌う」のマークを付け、表現を深めるための支援が示されている。
- ・「おもいだそう」と第3学年「ふじ山」を示し、既習事項とのつながりを示している。

③器楽の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫

○リコーダーの学習の具体例（第3学年及び第4学年）

- ・リコーダーの学習の導入は8ページ構成。（第3学年）
「リコーダーのつくりや各部の名称を知る」→「鑑賞曲を聴く」→
「リコーダーの種類を知る」→「リコーダーの演奏の仕方を知る」
→『シ』の音を吹いたりタンギングしたりする
- ・学習する音の順番
第3学年： シ→ラ→ソ→ド→レ→ファ→ミ→レ
第4学年： ミ→ド→#ソ
- ・第3学年の導入や「ド」「レ」では、演奏の仕方の様子を、子供の目線や横から見た写真等で示している。
- ・指使いの説明は、階名、五線譜、吹き口を下側にした、子供の目線でのリコーダーのイラストを示している。
- ・二次元コードを掲載し、運指に関わるコンテンツを表示することができるようにしている。
- ・息の吹き込み方は「大きなしゃぼん玉つくるときのように、息をまっすぐに出そう」とイラスト入りで示している。
- ・タンギングを「したを使って息をくぎることを、タンギングといいます。トゥ、ルと発音するときのように、したを使います。」と示している。
- ・目次にリコーダーのページと何の音を学習するかが分かるように記載している。
- ・第3学年、第4学年では、「こんにちはリコーダー」「めざせ楽き名人」として、段階的にリコーダーの指導をしている。

③器楽の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫

○リコーダーの学習の具体例（第3学年及び第4学年）

- ・リコーダーの学習の導入は10ページ構成。（第3学年）
「リコーダーの作りや各部の名称を知る」→「ヘッドピースで音遊び（参考曲を聴く）」→「リコーダーの演奏の仕方を知る」→「鑑賞曲を聴く」→「タンギング吐息の使い方を知る」→『シ』の音を吹いたりタンギングしたりする
- ・学習する音の順番
第3学年： シ→ラ→ソ→ド→レ→ファ→ミ→レ→ド
第4学年： ミ→ファ→ソ
- ・第3学年の導入や「レ」では、演奏の仕方の様子を、子供の目線や横から見た写真等で示している。
- ・指使いの説明は、階名、五線譜、吹き口を下側にした、子供の目線でのリコーダーのイラストを示している。
- ・リコーダーの指番号を示している。
- ・トーンホールのとじ方を写真や文で丁寧に示している。
- ・二次元コードを掲載し、運指に関わるコンテンツを表示することができるようにしている。
- ・息の吹き込み方は「大きなしゃぼん玉をつくるようなつもりで、やさしく息を出してふこう」とイラスト入りで示している。
- ・タンギングを「『^{トゥ}tu』と言うときのように、^{した}したの動きを使って音を出したりとめたりすることをタンギングといいます。」と示している。
- ・タンギングの練習方法として、「①ないしょ話をする時の様に「tu__」と言いながら、息を出したりとめたりしましょう。②すきな言葉を使って、タンギングのでんごんゲームをしましょう。③リコーダーでシの音を「tu__」とふいて、「(t)」で音を止めましょう。」とイラスト入りで示している。

<p>主体的に学習 に取り組む 工夫</p>	<p>④音楽的な見方・考え方を働かせる工夫 ○第1学年 題材「はくと リズム」の具体例 学習目標：「たん」と「たた」のリズムであそぼう</p> <p>学習過程：リズムを真似る・呼びかけてこたえらるといった遊びを通して学ばせる指導過程をとっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まねっこあそび」 ・「よびかけあそび」 ・「リレーあそび」 ・「リズムをがっきでうってもいいね」 ・「たん＝円」「たた＝半円」「うん＝円（ひし形）」で示し、5つのリズムの例を示している。 ・拍を表す□にリズムを書き込む欄がある。 ・音遊びの活動を、導入に位置付けている。 ・「おさるの だいくさん」の曲の一部に、作ったリズムを打つことができるようにしている。 <p>⑤音や音楽と生活との関わりについての記述 第1学年 がっきずかん：「がっきをつくってみよう」 第2学年 音のスケッチ：「どんな音がきこえるかな」 題材：「おまつりの音楽」 第3学年 音のスケッチ：「いろいろな声で表げんしよう」 題材：「日本と世界の音楽」</p>	<p>④音楽的な見方・考え方を働かせる工夫 ○第1学年 題材「はくによってリズムをうとう」の具体例 学習目標：「たん」と「たた」をつかって ことばでリズムをつくりましょう</p> <p>学習過程：3音と5音の言葉と関連させたリズムづくりの指導過程をとっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あといのリズムにあうことばを うえの えから 1つずつ えらびましょう。」 ・「おなじ ことばを くりかえしたり ちがう ことばをくみあわせたり して できる リズムの おもしろさを たしかめましょう。」 ・「どの ことばで つくると おもしろい かんじの りずむになるか かんがえて つくりましょう。」 ・「ふたりの くみに なり、つくった リズムを つなげましょう。」 ・「たん＝円（黒）」「たた＝半円」「うん＝円（白）」で示し、5つのリズムの例を示している。 ・音遊びの活動を導入に位置付けている。 ・「ならったリズム」として三つ示している。 ・本題材の前に、題材「はくを かんじとろう」を設定し、拍・リズム・呼びかけとこたえを学習できるようにしている。 <p>⑤音や音楽と生活との関わりについての記述 第1学年 題材：「みのまわりのおとにみみをすまそう」 第2学年 題材：「音楽でみんなとつながろう」 題材：「せいかつの中にある音を楽しもう」 第3学年 巻頭：「ようこそリコーダーの世界へ」 題材：「ちいきにつたわる音楽でつながろう」 鑑賞教材との関連：「神田囃子ほぞん会立野喜久雄さんのお話」</p>
--------------------------------	--	---

	<p>第4学年 巻頭：「体で伝え合おう！音楽の楽しさ」 題材：「日本と世界の音楽」 歌唱教材との関連：「わたしたちの生活と音楽」</p> <p>第5学年 巻頭：「舞台から未来へ」 題材：「日本の音楽」</p> <p>第6学年 巻頭：「ひびきに心をのせて」 歌唱教材との関連：「海を思う心」 特集：「心と心をつなぐ音楽」</p>	<p>第4学年 巻頭：「気持ちを歌でとどけましょう」 題材：「ちいきにつたわる音楽に親しもう」</p> <p>第5学年 巻頭：「音楽と社会をつなぐテクノロジー」 鑑賞教材との関連：「仙台フィルハーモニー管弦楽団バイオリン奏者神谷未穂さんのお話」 題材：「日本の音楽に親しもう」</p> <p>第6学年 巻頭：「音楽は人間の命の一部です」 特集：「著作権について知ろう」 特集：「音楽の持っている力や役割」 歌唱教材との関連：「卒業に思いをこめて」</p>
<p>内容の構成・配 列・分量</p>	<p>⑥我が国の音楽に関する内容の扱い</p> <p>鑑賞曲：27曲 歌唱教材：28曲 和楽器：第2学年から16種（第3学年は無し）</p> <p>・「にっぽんのうた みんなのうた」コーナーを配置。鑑賞教材では、日本の音楽の特徴に気づかせるために、手遊びをしながら実際に歌ったり、太鼓の口唱歌を唱えたり、手拍子を打ちながら民謡を聴き比べたりする活動が示されている。</p> <p>⑦題材や資料等の配列</p> <p>歌唱：低学年から交互唱・輪唱・パートナーソングを配置。第2学年から部分二部合唱、第4学年から二部合唱が配置され、第5学年から三部合唱が配置されている。</p> <p>特徴的な楽器</p> <p>第1学年：シンバル、ハーモニカ、おおだいこ、こだいこ、もっきん 第2学年：マラカス、ギロ、グロッケン、ビブラフォーン、マリンバ</p>	<p>⑥我が国の音楽に関する内容の扱い</p> <p>鑑賞曲：33曲 歌唱教材：25曲 和楽器：第3学年から23種</p> <p>・「歌いつごう 日本の歌」コーナーを配置。鑑賞教材では、日本の音楽に親しませるために、遊びをつけながら歌ってみたり、締太鼓のリズムを口唱歌で歌ったり、手拍子を打ちながら民謡を聴き比べたりする活動が示されている。また、日本の世界各地の民謡を比較しながら聴き、拍やリズムの特徴に気づかせる活動を設定している。</p> <p>⑦題材や資料等の配列</p> <p>歌唱：第1学年で交互唱、第2学年で輪唱、第3学年でオスティナート唱、第4学年でパートナーソング、二部合唱、第5学年で部分三部合唱、第6学年で三部合唱が配置され、系統的に学習が進められている。</p> <p>特徴的な楽器</p> <p>第1学年：ウッドブロック 第2学年：キーボード</p>

	<p>第3学年：カウベル、クラベス 第4学年：しめだいこ、大だいこ（長どうだいこ）、ふえ、かね、シェーカー、アゴゴー、フロアトム 第5学年：こきりこ、ささら、三線、しの笛</p> <p>合奏曲： 第1学年無し 第2学年3曲 第3学年4曲 第4学年2曲 第5学年4曲 第6学年6曲 ・第2学年から合奏曲を取り入れている。</p>	<p>第3学年：ギロ、しめだいこ 第4学年：マラカス、コンガ、フレームドラム、トーンチャイム、シンバル 第5学年：サスペンデッドシンバル、カバサ、カウベル、アゴゴー</p> <p>合奏曲： 第1学年1曲 第2学年2曲 第3学年4曲 第4学年3曲 第5学年4曲 第6学年5曲 ・第1学年から合奏曲を取り入れている。</p>
<p>内容の 表現・表記</p>	<p>⑧【共通事項】の指導を充実させる工夫</p> <p>○音楽を形づくっている要素の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き右ページ上に「音楽のもと」として示している。中・高学年でメモ欄を設けている。 ・資料として、【共通事項】の内容を「音楽のもと」まとめに挿絵や説明文で示している。第1学年では進出のものを、第2～4学年では前学年までに既習のものと進出のものを示している。前学年までに既習のもの表記は、前学年と同様のものと、学年段階に合わせ説明したものがあある。第5・6学年は、ページの上半分は楽譜上でどのように表われているか図で示し、ページの下半分の器楽楽譜（教科書に掲載）にそれぞれの「音楽のもと」を書き込んで示している。 <p>○体を動かす活動を取り入れて 音楽の特徴を捉えさせる指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5学年「茶色の小びん」表現 学習目標「和音のはたらきを感じ取ろう」のもと、P17で「和音のひびきに合わせてポーズをしてみよう。」とし、コース1と2に分け、1度と5度の和音のポーズを示している。コース2の、4度の和音のポーズは示さず「4度の和音のひびきをきいて、合うポーズを考えよう。また、そのポーズにした理由を友達に伝えよう。」と示して 	<p>⑧【共通事項】の指導を充実させる工夫</p> <p>○音楽を形づくっている要素の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き右ページ下に示している。 ・「ふり返りのページ」に、各学年で学習した音楽を形づくっている要素を、関連するページ番号とともに示している。絵や写真は関連するページに掲載されている図・楽譜・挿絵を使っている。 <p>○体を動かす活動を取り入れて 音楽の特徴を捉えさせる指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5学年「静かにねむれ」表現 学習目標「和音のひびきの移り変わりを感じ取りながら歌いましょう。」のもと、見開きに「静かにねむれ」の楽譜（和音の伴奏譜有り）を載せている、見開き右頁P35の楽譜下に和音別の3つのポーズ（1度、4度、5度と5度の7の和音）を例として示し、ムーブ（学習がより深まるようにアドバイスするキャラクター）の「伴奏

	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1学年「おどるこねこ」鑑賞 P52～54のうち、P54「おんがくにあわせて」で、「れい」として、「ともだちといっしょに、きよくにあわせてうでをひだりやみぎにゆらそう。」「なきごえがきこえたら、ねこのまねをしよう。」と身体表現の写真入りで示している。 	<p>をききながら体を動かして、和音のひびきのちがいを感じ取ってもいいね。」という言葉に掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1学年 「組曲 くるみわり人形から「行進曲」」鑑賞 2つの旋律の図形楽譜、いろいろな楽器で演奏している動物の挿絵を載せ、「みつける」に「よびかけあっているがっきやせんりつにきをつけてききましょう。」と示している。ムーブの「がっきをえんそうするまねをしながらきいてもいいね。」という言葉に掲載している。
<p>言語活動の 充実</p>	<p>⑨表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫</p> <p>○音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた歌唱の活動 題材「アンサンブルのみりよく（合唱）」（第5学年） 学習目標「表現をくふうしてきき合いながら歌い合わせよう」</p> <p>教材曲「ハロー・シャイニング ブルー」</p> <ul style="list-style-type: none"> 表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面の設定 「まなびナビ（学び方を知ろう）」のマークを付けて「学び合う音楽」として学習過程を示し、①「どんな曲かな。」の中で「各自が思いえがいた曲のイメージやいいなと思ったところを話し合おう。」と示している。 音楽表現に対する思いや意図を深めていく場面の設定 ④「みんなで合わせよう。」では、「自分たちの思いや意図を大切に、よりよい演そうにしていくためのポイントを考えながら練習しよう。＜ポイントの例＞曲に合った言葉の発音や歌の発声、強弱や音色の変化、フレーズの歌い出しや終わり方、息つぎのタイミングなど」と示している。 	<p>⑨表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫</p> <p>○音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた歌唱の活動 題材「詩と音楽との関わりを味わおう」（第6学年） 学習目標「人々が大切にしてきた歌を味わい、思いが伝わるように歌いましょう。」</p> <p>教材曲「ふるさと」</p> <ul style="list-style-type: none"> 表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面の設定 「見つける」のマークを付け、「歌詞をよく読み、曲想を感じ取りながら歌って、それらの特徴について気付いたことを話し合しましょう。」と示している。「考える」のマークを付け、「話し合ったことをもとに、歌い方をためしながら、「ふるさと」をどのように歌いたいかを考えましょう。」と示している。 音楽表現に対する思いや意図を深めていく場面の設定 「歌う」のマークを付け、「思いが伝わるように、発音の仕方や声の出し方に気を付けて、たがいの歌声をよくきき合いながら歌いましょう。」と示している。「チャレンジ」として、「「ふるさと」について、家族や地域の人にインタビューしてみよう。」と示し、質問の例を掲載している。

<p>○音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた鑑賞の活動 題材「音楽のききどころ」(第4学年) 学習目標「曲の流れを感じ取り、全体を味わってきこう」 教材曲「ノルウェー舞曲 第2番」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなど、様々な意見を共有する場面の設定 「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付け、「音楽に合わせて体を動かしたり、歩いたり、しきの動きをしたりしながらきいて、気がついたことや感じ取ったことを友達とお話しよう。」と示している。きこえてきたせんりつ(ア?イ?)、強さや速さ、きこえた楽器、音楽の感じ、他に気がついたことを記入する表を掲載している。 ・自分の感じ方や考え方等を深めていく場面の設定 「表に書いたことをもとに、この曲のよいなと思ったところやおもしろいなと思ったところなどを、友達と伝え合い、全体を味わってきこう。」と示している。 	<p>○音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた鑑賞の活動 題材「音楽でみんなとつながろう」(第2学年) 学習目標「いろいろなくにのおどりの音楽を楽しみましょう。」 教材曲「ティニクリン」「エース オブ ダイヤモンド」「とーしん ドーイ」参考曲「ドードレブスカ ポルカ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなど、様々な意見を共有する場面の設定 「見つける」のマークを付け、「しゃしんを見たり音楽をきいたりして、それぞれのおどりの音楽について、気づいたことをはなしあいましょう。」と示している。 ・自分の感じ方や考え方等を深めていく場面の設定 「かんがえる」のマークを付け、「3つのおどりの音楽の中で、いちばん気に入った音楽はどれかな。そのりゆうをかんがえて、ともだちや先生につたえましょう。」と示している。
---	--

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に登録された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	図画工作	2	4

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	9 開隆堂	116 日文
基礎・基本の定着	<p>① 題材の目標・振り返りの示し方</p> <p>○各題材の目標を、3種類のキャラクターと文で示し、特に重点的に育成したい資質・能力には下線を引き、色を変えて示している。</p> <p>○振り返りについては、重点的に育成したい資質・能力に対応した、児童が自己評価する際の手助けになる振り返りの視点を示している。</p> <p>② [共通事項] を視点とした学びの示し方</p> <p>○全ての題材で、キャラクターの吹き出しに[共通事項]を視点として思考させるためのコメントを示し、学びを促している。例えば、第1・2学年(下)の「おはながみ かさねて すかして」では、「ちがう形や 色のお花紙を ならべて かさねると、どんな かんじになるかな。」と、[共通事項]を視点として思考させるためのコメントを示している。</p> <p>③ 材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫</p> <p>○題材ごとに主に使用する用具や材料について、ページ左上に材料名や用具名とイラストで示している。</p> <p>○全ての学年において巻末に、「学びの資料」を設け、学年に応じて必要な材料や用具の扱い方、技法、製作の過程、ICT機器の活用例等について、イラストや写真を用いて説明している。</p> <p>○表現の題材に、「安全」や「かたづけ」の囲みを設け、用具の安全な</p>	<p>① 題材の目標・振り返りの示し方</p> <p>○各題材の目標を、資質・能力の3つの柱に基づいて、3種類のマークと文で示している。</p> <p>○振り返りについては、「学びに向かう力、人間性等」の涵養へとつなげるために、活動を通して、どのような気づきや学びがあったのか、学習を振り返るための視点を示している。</p> <p>② [共通事項] を視点とした学びの示し方</p> <p>○ほぼ全ての題材で、「特に大切なめあてのヒント」や「かん賞のヒント」に[共通事項]を視点として思考させるためのコメントを示し、学びを促している。例えば、第1・2学年(下)「ひかりの プレゼント」では、「ざいりょうを ならべたり かさねたり、うつしかたをかえたり してみよう。」と、[共通事項]を視点として思考させるためのコメントを示している。</p> <p>③ 材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫</p> <p>○題材ごとに主に使用する用具について、ページ番号横に材料名や用具名とイラストで示している。</p> <p>○全ての学年において巻末に、「材料と用具のひきだし」を設け、学年に応じて必要な材料や用具の扱い方や技法について、イラストや写真を用いて説明している。</p> <p>○表現と一部の鑑賞題材に、「気をつけよう」や「かたづけ」の囲みを</p>

	<p>使い方や片付け方について文で示したり、題材によってはイラストや写真で示したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「参考」の囲みを設け、巻末の「学びの資料」のページ番号を示し、題材に合わせて材料や用具等を活用できるよう促している。 ○二次元コードから、用具の安全な使い方や技法についての動画資料を視聴することができる。 	<p>設け、用具の安全な使い方や片付け方について文で示したり、題材によってはイラストや写真で示したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高学年では、ページ下に「思い出そう」の囲みを設け、「表し方のくふう」「接着」について示し、題材に合わせてこれまでの学びを活用できるよう促している。 ○二次元コードから、用具の安全な使い方や技法についての動画資料を視聴することができる。
<p>主体的に学習に取り組む工夫</p>	<p>④ 興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○興味・関心を高めるために、導入の場面で、各題材名の上又は下に、活動のきっかけとなる文を示している。第1・2学年〈上〉「はこと はこを くみあわせて」では、「ならべたり つみあげたりしてみよう。どんなものがつくれそうかな。」と示されている。全ての題材で二次元コードから、導入動画を視聴できるように示している。 <p>⑤ 表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表現と鑑賞との関連を図った学習活動として、第5・6学年〈上〉「あったらいい町どんな町」には、想像を膨らませて表したい町を考え表現する活動があり、その次ページ「わたしの町のひみつ教えます」には、友だちの作品を見て自分が見付けた町の秘密を発表したり、自分の作品を友だちに紹介したりする鑑賞題材を設定している。 <p>⑥ 身近な作品・我が国や諸外国の親しみのある美術作品等や生活の中の造形の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみある美術作品、生活の中の造形などを鑑賞の対象として、第5・6学年〈上〉(小さな美術館)「作品の世界に入りこんで」では、諸外国の作品や児童の作品を複数示し、作品からイメージを膨らませ、見方や考え方を広げるよう促している。また、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などを鑑賞の対象として、第3・4学年〈上〉(みんなのギャラリー)「地いきに学ぶ」では、地域にある壁画や伝統工芸品、受け継がれてきた文化等を写真で示している。 	<p>④ 興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○興味・関心を高めるために、導入の場面で、各題材名の下に、活動のきっかけとなる文を示している。第1・2学年〈上〉「はこで つくったよ」では、「はこを つんだり ならべたり。おもいついたら、くっつけて。どんな ものを つくろうかな。」と示されている。 <p>⑤ 表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表現と鑑賞との関連を図った学習活動として、第3・4学年〈下〉「光とかげから生まれる形」では、光と影を使って行う造形活動があり、「光のさしこむ絵」では、光を通して表現される形や色で絵に表す活動があり、2つの表現題材の間に、光のよさを味わう特設ページ「教科書美術館」を設定している。 <p>⑥ 身近な作品・我が国や諸外国の親しみのある美術作品等や生活の中の造形の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみある美術作品、生活の中の造形などを鑑賞の対象として、第5・6学年〈上〉(図工のみかた)「どう見る? どう見える?」では、身近にあるものを、視点を変えることで、様々な見方ができるということを例で挙げ、写真で示している。また、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などを鑑賞の対象として、第3・4学年〈上〉(広がる図工)「みんなとつながる」では、地域の施設や野外に展示された児童の作品や、地域の中にある美術作品の様子を写真で示している。

<p>内容の構成・配列・分量</p>	<p>⑦ 題材や資料等の配列</p> <p>○すべての学年の項目において題材を5項目に分類して配列している。</p> <p>○育てたい資質能力を軸に内容が構成されており、資質・能力に合ったキャラクターが活動のポイントをアドバイスするように掲載している。5～7頁には、学年全体の活動の内容と目標が一目でわかるようにビジュアルで構成し、掲載している。</p> <p>○掲載している作品等にサイズを明記している。</p> <p>○題材数は、第1・2学年〈上〉〈下〉とも23、第3・4学年〈上〉〈下〉とも22、第5・6学年〈上〉20、第5・6学年〈下〉19となっている。</p> <p>○造形遊びの題材数は、第1・2学年〈上〉〈下〉とも4、第3・4学年〈上〉〈下〉とも3、第5・6学年〈上〉〈下〉とも2となっている。</p> <p>○絵の題材数は、すべての学年において7となっている。</p> <p>○立体の題材数は、第1・2学年〈上〉4、第1・2学年〈下〉以降は3となっている。</p> <p>○工作の題材数は、第1・2学年〈上〉7、第1・2学年〈下〉8、第3・4学年〈上〉〈下〉とも8、第5・6学年〈上〉7、第5・6学年〈下〉6となっている。</p> <p>○鑑賞の題材数は、すべての学年において1となっている。</p> <p>○どの学年も、すべての題材が複数ページで掲載されている。</p>	<p>⑦ 題材や資料等の配列</p> <p>○すべての学年の項目において題材を5項目に分類して配列している。</p> <p>○どの題材に置いても、育てたい3つの資質・能力に軽重はつけられていないが、特に大切なめあてのヒントを鑑賞以外に掲載している。</p> <p>○掲載している作品等にサイズを明記している。</p> <p>○題材数は、第1・2学年〈上〉24、第1・2学年〈下〉23、第3・4学年〈上〉22、第3・4学年〈下〉20、第5・6学年〈上〉20、第5・6学年〈下〉19となっている。</p> <p>○造形遊びの題材数は、第1・2学年〈上〉5、第1・2学年〈下〉4、第3・4学年〈上〉〈下〉とも3、第5・6学年〈上〉〈下〉とも2となっている。</p> <p>○絵の題材数は、第1・2学年〈上〉〈下〉第3・4学年〈上〉は7、第3・4学年〈下〉第5・6学年〈上〉は6、第5・6学年〈下〉7となっている。</p> <p>○立体の題材数は、第1・2学年〈上〉3、第1・2学年〈下〉4、第3・4学年〈上〉4、第3・4学年〈下〉3、第5・6学年〈上〉5、第5・6学年〈下〉3となっている。</p> <p>○工作の題材数は、第1・2学年〈上〉6、第1・2学年〈下〉以降は5となっている。</p> <p>○鑑賞の題材数は、第1・2学年〈上〉〈下〉第3・4学年〈上〉〈下〉3、第5・6学年〈上〉〈下〉とも2となっている。</p> <p>○第1・2学年〈上〉〈下〉第3・4学年〈上〉は1ページに題材が掲載されているところが2ずつあり、他は複数ページで掲載されている。</p>
<p>内容の表現・表記</p>	<p>⑧ 作品等についての示し方の工夫</p> <p>○作品（図版番号あり）や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントを吹き出し等で示したり、題名や作者の考え・感想を示したりしている。</p> <p>○インクルーシブ教育の観点から、写真や図を重ねる場合は、間に線を</p>	<p>⑧ 作品等についての示し方の工夫</p> <p>○作品や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントを吹き出し等で示したり、題名や作者の考え・感想を示したりしている。</p> <p>○インクルーシブ教育の観点から、材料の種類をしぼった題材、1つの題材の中に、屋内と屋外、自然材と身近材等、複数の実践パターンを</p>

	<p>入れて区別しやすいように配置している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○色覚特性の有無に関わらず、全ての児童が等しく学べるように、コントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集をしている。 ○文字は、ユニバーサルデザインフォントを使用し、意味のまとまりごとに改行位置を工夫している。当該学年で習う漢字には初出の時所だけではなく、すべてにふりがなをつける「総ルビ」としている。 ○各題材には二次元コードを掲載し、インターネットを利用して、用具の扱い方や作り方などの動画や教科書に掲載した以外の参考作品例を見ることができるようになっている。 ○教科書の最下部に、「かたづけ」「ふりかえり」「あわせて学ぼう」の表示があり、学習後の振り返りの視点と、他教科との具体的な関連が、枠付きで明示されている。最上部には、使う材料・用具が図示されている。 ○「学習のめあて」の表示があり、中央部に目立つ枠を設け、つけたい資質・能力に係る3つの目標が「言い切りの形」で記述してある。 ○教科書の最後に、「学びの資料」があり、用具の使い方・片付け方、作業の仕方等について説明をしている。 	<p>示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○色覚特性の有無に関わらず、全ての児童が等しく学べるように、コントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集をしている。 ○文字は、ユニバーサルデザインフォントを使用し、すべてのページについて、専門家の校閲を受けている。 ○二次元コードを付けた題材では、インターネットを利用して学習を効果的に進められるように、材料・用具の使い方や鑑賞資料等を見ることができるようになっている。 ○教科書の最下部に、「きをつけよう」「かたづけ」「ふりかえり」の表示があり、安全に係る留意点と片付けのポイント、他教科との関連が明示されている。また、学習に使う用具が同様に図示されている。 ○学習のめあてについて、最上部につけたい資質・能力に係る3つの目標が「言い切りの形」で記述してある。 ○教科書の最後に、「ざいりょうとようぐのひきだし」というページがあり、用具の使い方・片付け方、作業の仕方等について説明をしている。
<p>言語活動の充実</p>	<p>⑨ 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○共同して製作する題材や、発想や構想、鑑賞の場面で児童が関わり合う活動を取り扱っており、言語活動を促す文、児童の活動の様子が分かる写真や対話を示している。 	<p>⑨ 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○共同して製作する題材や、発想や構想、鑑賞の場面で児童が関わり合う活動を取り扱っており、言語活動を促す文、児童の活動の様子が分かる写真や対話を示している。 ○各上巻には、「ともだちの さくひんを みて はなそう」（第1・2学年〈上〉）、「友だちと作品を見て話そう」（第3・4学年〈上〉）、第5・6学年〈上〉の特設ページを設定し、作品を見て感じたことや考えたことを友だちと話し合う活動を示すことで、言語活動の充実を促している。

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に登録された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	家庭	2	2

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂
基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活にも役立つ問題解決的な学習を展開できるよう、題材は全て「1 見つめよう」「2 計画しよう・実践しよう」「3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップで構成している。 ・基本的な用語の確実な理解と獲得のため、家庭科で扱う重要語句を太字で表記している。 ・基礎的・基本的な知識及び技能の定着のため、「いつも確かめよう」を掲載し、35項目を取り上げている。実習のページには自己評価欄として「できたかな？」の項目を14か所掲載し、児童が自らの学習状況を評価・改善するための欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活にも役立つ問題解決的な学習を展開できるよう、題材は「1 気づく・見つける」「2 わかる・できる」「3 生かす・深める」の3ステップを基本として構成している。 ・基本的な用語の確実な理解と獲得のため、家庭科で扱う重要語句を太字で表記するとともに、「家庭科でよく使われる用語」として巻末に示している。 ・基礎的・基本的な知識及び技能の定着のため、巻末に「実習に役立つワンポイント・調理編」「実習に役立つワンポイント・製作編」を掲載し、9項目を取り上げている。実習のページには自己評価欄として「できたかな」の項目を10か所掲載し、児童が自らの学習状況を評価・改善するための欄を設けている。
主体的に学習 に取り組む 工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領で示された「生活の営みに係る見方・考え方」を「家庭科の窓」として設定している。 ・学習指導要領「A 家族・家庭生活」の「(4) 家族・家庭生活についての課題と実践」に対応した内容を「生活を変えるチャンス！」として3か所に掲載している。 ・各題材の第3小題材「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」及びその「活動 深めよう」において、学習内容を生活に結び付ける活動例を示している（15か所）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領で示された「生活の営みに係る見方・考え方」を「生活の見方・考え方 4つの視点」として設定している。 ・学習指導要領「A 家族・家庭生活」の「(4) 家族・家庭生活についての課題と実践」に対応した内容を「レッツトライ！生活の課題と実せん」「生活の課題の実せん例」として2か所に掲載している。 ・各題材の最後に設けられた「生かす・深める」の欄において、学習内容を生活に結び付ける活動例を示している（19か所）。

<p>内容の構成・配列・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 4 サイズ、総ページ数 149、5 年生 8 題材・6 年生 7 題材の合計 15 題材で構成されている。 ・ 各教科等や中学校の学習内容との関連については、「ほかの教科の学習、中学校の学習との関わりを見てみよう。」として丸を重ねたマークを示し、教科等名、学年、単元概要を示している (34 個)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 4 サイズ、総ページ数 153、5 年生 11 題材・6 年生 9 題材の合計 20 題材で構成されている。 ・ 各教科等の学習内容との関連については、「他教科での学習と関連する内容」として「関連マーク」を示し、教科等名、学年、単元概要を示している (27 個)。
<p>内容の表現・表記</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習上参考となる資料等を主に「資料」のマーク (83 個) 等で示している。 ・ 「学習内容に関する人、職業」「伝統文化の内容」「製作計画例 (実習カード) 等の例示」「授業で扱うことのできる実験や実習の例」等を示している。 ・ 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・ 内容ごとに配色を統一し、見開き右側にインデックスとして題材番号と内容を表すマークを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習上参考となる資料等を主に「参考」のマーク (23 個) 等で示している。また、タイトルの最初に「◎」のマークを付して、資料を掲載している。 ・ 「学習内容に関する人、職業」「伝統文化の内容」「製作計画書等の例示」「授業で扱うことのできる実験や実習の例」等を示している。 ・ 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・ 内容ごとに配色を統一し、見開き上部等にも示すとともに、見開き右側にインデックスと内容を示している。
<p>言語活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主に「活動」のマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動を取り上げている。 ・ それぞれの活動の中で、二次元コードを読み込むことでワークシート、調理実習シート、トライシートをダウンロードして使用したり、動画を視聴したりできるようにしている。 ・ 巻頭に題材ごとの振り返りを記入できる成長の記録を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主に「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」のマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動を取り上げている。 ・ それぞれの活動の中で、二次元コードを読み込むことでワークシートをダウンロードしたり、動画を視聴したりできるようにしている。 ・ 題材の終わりに、めあての振り返りと生活に生かしたいことを記入する欄がある。

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に登載された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	保健	6	6

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	4 大日本	50 大修館	207 文教社	208 光文	224 学研
基礎・基本の定着	<p>① 単元の目標の示し方 【学習課題の示し方】 ○項目ごとに「学習の課題」として質問形式の課題提示 ○動機づけの後に提示</p> <p>【学習の動機づけ】 第3・4学年 「気づく・見つける」 ○生活を振り返って、書く活動（7） 第5・6学年 「気づく・見つける」 ○生活を振り返って、書く活動（14）</p>	<p>① 単元の目標の示し方 【学習課題の示し方】 ○項目ごとに「ここで学ぶこと」として質問形式の課題提示 ○動機付けの後に提示</p> <p>【学習の動機づけ】 第3・4学年 「つかもう」 ○生活を振り返って、書く活動（8） 第5・6学年 「つかもう」 ○生活を振り返って、書く活動（17）</p>	<p>① 単元の目標の示し方 【学習課題の示し方】 ○項目ごとに「きょうの課題」として質問形式の課題提示 ○動機付けの後に提示</p> <p>【学習の動機づけ】 第3・4学年 「課題をつかもう」 ○生活を振り返って、書く活動（4） 第5・6学年 「つかもう」 ○生活を振り返って、書く活動（9）</p>	<p>① 単元の目標の示し方 【学習課題の示し方】 ○項目ごとに「学習のめあて」として質問形式の課題提示</p> <p>【学習の動機づけ】 第3・4学年 「Misson①」 ○生活を振り返って、調べる、書く活動（6） 第5・6学年 「Misson①」 ○生活を振り返って、調べる活動（5）</p>	<p>① 単元の目標の示し方 【学習課題の示し方】 ○項目ごとに「学習の課題」として質問形式の課題提示</p> <p>【学習の動機づけ】 第3・4学年 「見つけよう」 ○生活を振り返って、書く活動（3） 第5・6学年 「見つけよう」 ○生活を振り返って、書く活動（3）</p>	<p>① 単元の目標の示し方 【学習課題の示し方】 ○項目ごとに「学習の課題」として質問形式の課題提示</p> <p>【学習の動機づけ】 第3・4学年 「ふり返ろう」「予想しよう」「考えてみよう」「チェックしよう」 ○項目ごとに、書く活動（7） 第5・6学年 「ふり返ろう」「予想しよう」「考えてみよう」「チェックしよう」 ○項目ごとに、書く活動（15）</p>
	<p>② 体育・健康に関する内容の記述数 【学校における食育・安全・体力向上に関する記述数】 第3・4学年(計4) ○食育に関する情報(1) ○安全に関する情報(2) ○体力向上に関する情報(1)</p>	<p>② 体育・健康に関する内容の記述数 【学校における食育・安全・体力向上に関する記述数】 第3・4学年(計6) ○食育に関する情報(2) ○安全に関する情報(1) ○体力向上に関する情報(3)</p>	<p>② 体育・健康に関する内容の記述数 【学校における食育・安全・体力向上に関する記述数】 第3・4学年(計11) ○食育に関する情報(4) ○安全に関する情報(2) ○体力向上に関する情報(5)</p>	<p>② 体育・健康に関する内容の記述数 【学校における食育・安全・体力向上に関する記述数】 第3・4学年(計4) ○食育に関する情報(1) ○安全に関する情報(1) ○体力向上に関する情報(2)</p>	<p>② 体育・健康に関する内容の記述数 【学校における食育・安全・体力向上に関する記述数】 第3・4学年(計8) ○食育に関する情報(2) ○安全に関する情報(1) ○体力向上に関する情報(5)</p>	<p>② 体育・健康に関する内容の記述数 【学校における食育・安全・体力向上に関する記述数】 第3・4学年(計7) ○食育に関する情報(1) ○安全に関する情報(4) ○体力向上に関する情報(2)</p>

<p>第5・6学年(計15)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食育に関する情報(0) ○安全に関する情報(12) ○体力向上に関する情報(3) <p>③ 実習に関する記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不安や悩みへの対処として例をイラストと言葉で掲載 ○「体を動かして心を静めよう。」を掲載 ○「軽いけがの簡単な手当をしよう。」のイラストと言葉を掲載 ○「はってん」の内容としてイラストと言葉を掲載 	<p>第5・6学年(計16)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食育に関する情報(0) ○安全に関する情報(13) ○体力向上に関する情報(3) <p>③ 実習に関する記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不安や悩みへの対処として例をイラストと言葉で掲載 ○「はってん」の内容として、イラストと言葉を掲載 ○けがの手当てとして「けがの手当てをしよう」のイラストと言葉を掲載 ○「はってん」の内容として熱中症の予防等についてイラストと言葉を掲載 	<p>第5・6学年(計17)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食育に関する情報(2) ○安全に関する情報(11) ○体力向上に関する情報(4) <p>③ 実習に関する記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不安や悩みへの対処として「呼吸法」「体ほぐしの運動」「対処の方法」「相談名人になろう!」をイラストと言葉で掲載 ○けがの手当てとして色々なけがの手当てをイラストと言葉で掲載 ○「はってん」の内容としてイラストと言葉で掲載 	<p>第5・6学年(計7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食育に関する情報(0) ○安全に関する情報(5) ○体力向上に関する情報(2) <p>③ 実習に関する記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不安や悩みへの対処として例をイラストと言葉を掲載 ○けがの手当てとして自分でできる手当ての方法についてイラストと言葉で掲載 ○「発展」の内容として熱中症についてのフローチャートと解説を掲載 	<p>第5・6学年(計20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食育に関する情報(0) ○安全に関する情報(15) ○体力向上に関する情報(5) <p>③ 実習に関する記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不安や悩みなどへの対処として例をイラストと言葉で掲載 ○「やってみよう」において、「深呼吸のしかた」(腹式呼吸、胸式呼吸)をイラストと言葉で掲載 ○「さらに広げよう深めよう」において「呼吸筋のストレッチ」をイラストと言葉で掲載 ○けがの手当てとして「やってみよう」において、手当ての仕方をイラストと言葉で掲載 ○「はってん」の内容として、熱中症の予防と手当をイラストと言葉で掲載 ○「はってん」の内容として、「心肺蘇生とAED」についての写真やイラスト、解説を掲載 	<p>第5・6学年(計9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食育に関する情報(0) ○安全に関する情報(7) ○体力向上に関する情報(2) <p>③ 実習に関する記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不安や悩みへの対処として例をイラストと言葉で掲載 ○「体がリラックスすると心もリラックスする」において、「教室でもできる体ほぐしの運動」「呼吸法(腹式呼吸法)」「体の力をぬく方法」をイラストと言葉で掲載 ○けがの手当てとして「大きなけがが起こったとき」のイラストと言葉を掲載 ○「発展」の内容として、熱中症の予防と手当をイラストと言葉で掲載
---	---	--	--	---	---

<p>主体的に学習に取り組む工夫</p>	<p>④ 学習に見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫 【導入方法】 ○単元の見通しをもたせるための記述の掲載 ○学習のイメージとゴール（目標）を図示</p> <p>【振り返り】（二次元コードによるワークシートの掲載） 第3・4学年 ○自己評価をする活動（2） ○書く活動（2） 第5・6学年 ○自己評価をする活動（3） ○書く活動（3）</p> <p>⑤ 健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫 【学習の進め方の示し方】 ○巻頭の「この教科書の使い方」で示している。</p> <p>【課題解決の過程】 ○ステップ1「気づく・見つける」 ○学習の課題 ○ステップ2「調べる・解決する」 ○ステップ3「深める・伝える」 ○ステップ4「まとめる・生かす」 ○学習をふり返ろう</p>	<p>④ 学習に見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫 【導入方法】 ○単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○見開きのイラストから、課題を見いだす学習</p> <p>【振り返り】 第3・4学年 ○自己評価をする活動（2） ○書く活動（2） 第5・6学年 ○自己評価をする活動（3） ○書く活動（3）</p> <p>⑤ 健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫 【学習の進め方の示し方】 ○巻頭の「この教科書の使い方」で示している。</p> <p>【課題解決の過程】 ○自分の生活をふり返る・「つかもう」 ○課題をつかもう ○いろいろな活動を通して課題を解決しよう ・「考えよう」 ・「話し合おう」 ・「調べよう」 ○まとめよう ○活用して深めよう ・「活かそう」 ○毎日の生活に活かそう</p>	<p>④ 学習に見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫 【導入方法】 ○単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○著名人へのインタビュー形式から、学習をイメージ化</p> <p>【振り返り】 第3・4学年 ○自己評価をする活動（2） ○学習したことを確認する活動（2） ○書く活動（2） 第5・6年 ○自己評価をする活動（3） ○学習したことを確認する活動（3） ○書く活動（3）</p> <p>⑤ 健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫 【学習の進め方の示し方】 ○巻頭の「ほけん（保健）の学び方」で示している。</p> <p>【課題解決の過程】 ○ステップ1「課題をつかもう」 「きょうの課題」 ○ステップ2「話し合おう」 「考えよう」 「調べよう」 （「やってみよう」第5・6学年） ○ステップ3「まとめ 生かそう伝えよう」 「ほけんクイズにトライ！」</p>	<p>④ 学習に見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫 【導入方法】 ○単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○写真から、学習をイメージ化</p> <p>【振り返り】 第3・4学年 ○書く活動（2） 第5・6学年 ○書く活動（3）</p> <p>⑤ 健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫 【学習の進め方の示し方】 ○巻頭の『わたしたちのほけん 3・4年（5・6年）』へようこそ！～進んで学習できるために～（教科書の使い方）で示している。</p> <p>【課題解決の過程】 ○学習のめあて ○Mission① Mission② Mission③ ふり返ろう、調べよう、話し合おう、考えよう、やってみよう、見つけよう、できるようにしよう ○Episode ○もっと知るところ課 ○もっと考えよう課</p>	<p>④ 学習に見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫 【導入方法】 ○単元の見通しをもたせるための記述及びイラスト掲載</p> <p>【振り返り】 第3・4学年 ○自己評価をする活動（2） ○書く活動（2） 第5・6学年 ○自己評価をする活動（3） ○書く活動（3）</p> <p>⑤ 健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫 【学習の進め方の示し方】 ○巻頭の「学習の進め方を知ろう。」で示している。</p> <p>【課題解決の過程】 ○1 自分の生活をふり返る ○2 学習の課題をつかむ ○3 課題解決に向けて学習活動をする ・「調べよう」 ・「考えよう」 ・「話し合おう」 ・「やってみよう」第5・6学年 ○4 学習をまとめる ○5 自分の生活に生かす</p>	<p>④ 学習に見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫 【導入方法】 ○単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載 ○単元の学習の流れを図示</p> <p>【振り返り】 第3・4学年 ○自己評価をする活動（2） ○書く活動（4） 第5・6学年 ○自己評価をする活動（3） ○書く活動（6）</p> <p>⑤ 健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫 【学習の進め方の示し方】 ○巻頭の「この教科書の使い方とほけん（保健の学び方）」で示している。</p> <p>【課題解決の過程】 ○「ふり返ろう」「予想しよう」など楽しみながら、この1時間の学習に関わる課題をつかもう。 ○「学習の課題」この1時間の学習の課題を確認しよう。 ○1 ふり返ったり、読み取ったり、調べたりして、課題の解決に取り組もう。 ○2 話し合ったり、説明したりして、課題の解決に取り組もう。 ○3 この1時間で学習したことを活用して、課題を解決しよう。</p>
----------------------	---	--	---	--	---	--

<p>内容の構成・配列・分量</p>	<p>⑦ 発展的な学習に関する内容の記述 【発展的な学習の具体例と事例数】 第3・4学年（計6） 「けんこうな生活」（1） ○コンピュータの使用とけんこう 「体の成長とわたし」（4） ○骨や歯の発育 ○新しい命 ○性と自分らしさ ○すいみんと発育</p> <p>巻末の発展的な学習に関する内容（1） ○外で遊ぶときに注意すること</p> <p>第5・6学年（計16） 「心の健康」（1） ○きん張をコントロールする方法 「けがの防止」（8） ○自転車安全利用五則 ○インターネットによる犯罪被害 ○防災安全マップを作るときの視点 ○自然災害によるけがの防止 ○さまざまな自然災害 ○熱中症の予防と手当 ○歯のけが ○胸骨圧迫とAED</p>	<p>⑦ 発展的な学習に関する内容の記述 【発展的な学習の具体例と事例数】 第3・4学年（計9） 「けんこうな生活」（1） ○明るさと目のけんこう 「体の発育・発達」（6） ○ほねの発育 ○歯の変化 ○成長を祝う行事 ○新しい命 ○さまざまな性 ○すいみんと成長ホルモン</p> <p>巻末の発展的な学習に関する内容（2） ○みんなで健康な毎日を送ろう！ ○パソコンやスマートフォンを正しく使って健康な生活を送ろう！</p> <p>第5・6学年（計16） 「けがの防止」（8） ○ヒヤリハット ○安全な自転車の乗り方 ○自然災害から身を守る ○インターネットと犯罪被害 ○人がたおれていたら ○AED ○公しゅう電話の使い方 ○熱中症の予防と手当 「病気の予防」（6） ○いろいろな病気と病原体 ○新型コロナウイルス感染症と暮らしの変化</p>	<p>⑦ 発展的な学習に関する内容の記述 【発展的な学習の具体例と事例数】 第3・4学年（計12） 「けんこうな生活」（3） ○スマートフォン・タブレットと生活のリズム ○スマートフォン・タブレットと目のけんこう ○空気の入れかえの仕方 「体の成長」（5） ○骨の成長 ○歯の成長 ○新しい命のたんじょう ○運動のしすぎに気をつけよう ○体の成長を助ける成長ホルモン</p> <p>巻末の発展的な学習に関する内容（4） ○安全に外遊びをするために ○地震から身を守るう ○仲間とのよりよい関係づくりのために ○よりくらしやすい社会を目指して～共に助け合って生きよう～</p> <p>第5・6学年（計23） 「心の健康」（2） ○相談名人になろう！ ○ストレスって何だろう？ 「けがの防止」（7） ○安全な自転車の乗り方 ○危険な「ながらスマホ」 ○インターネットによる犯罪被害を防ぐ ○熱中症の予防と手当 ○命を救うAED ○たおれた人に会ったときの応急手当 ○自然災害から身を守る 「病気の予防」（13） ○ウイルスの大きさ比べ</p>	<p>⑦ 発展的な学習に関する内容の記述 【発展的な学習の具体例と事例数】 第3・4学年（計5） 「毎日の生活とけんこう」（2） ○かん気のポイント ○新がたコロナウイルス感染症しょう対さく 「体の発育・発達」（3） ○その人らしさを大切に ○栄養3・3運動 ○自信をつけることの大切さ</p> <p>第5・6学年（計21） 「心の健康」（2） ○「自分らしさ」をみつけよう ○寄りそうことの大切さ 「けがの防止」（5） ○事故のない社会に向けて ○なぜ、トラブルになってしまったのかな？ ○応急手当ての重要性 ○災害が起きたら、あなたはどうしますか？ ○熱中症 「病気の予防」（14） ○新型コロナウイルス ○細菌って全部悪者なの？</p>	<p>⑦ 発展的な学習に関する内容の記述 【発展的な学習の具体例と事例数】 第3・4学年（計10） 「けんこうな生活」（2） ○スマートフォンなどの使い方と生活のリズム ○よりよい換気のしかた 「体の発育と健康」（6） ○歯の成長 ○新しい生命のたんじょう ○「性」についてのなやみ ○宇宙飛行士と運動 ○スポーツ障害 ○すいみんと発育</p> <p>巻頭・巻末の発展的な学習に関する内容（2） ○安全な生活のために ○SDGsってなんだろう～共に生きる社会のために～</p> <p>第5・6学年（計17） 「心の健康」（2） ○不安やなやみと呼吸 ○自分と人とのきょうり感 「けがの防止」（6） ○自転車に安全に乗ろう ○「ながらスマホ」は危険！ ○熱中症に注意 ○インターネットのトラブル ○心肺蘇生とAED ○自然災害から身を守る 「病気の予防」（8） ○新しい感染症～新型コロナウイルス感染症～ ○自分の「平熱」を知って</p>	<p>⑦ 発展的な学習に関する内容の記述 【発展的な学習の具体例と事例数】 第3・4学年（計10） 「健康な生活」（4） ○教室の空気のごれ ○身の回りのかんきょうを整える ○1日の体温のリズム ○タブレットを使うときには 「体の発育・発達」（4） ○体の発育一骨と歯一 ○なぜ、すいみんは大切なもの？ ○新しい命 ○性についての心の多様性</p> <p>巻末の発展的な学習に関する内容（2） ○安全な生活のために① ○安全な生活のために②</p> <p>第5・6学年（計18） 「心の健康」（1） ○心って、どこにあるの？ 「けがの防止」（5） ○消防団員さんの話 ○インターネットでトラブルにならないために ○熱中症の予防と手当 ○自然災害や緊急事態に備えて ○胸骨圧迫とAED 「病気の予防」（7） ○「がん」って、どんな病気？ ○歯の健康 ○たばこのけむりの中の有</p>
--------------------	--	--	---	---	--	--

	<p>「病気の予防」(6) ○インフルエンザ ○新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) ○がんについて知ろう ○たばこの主な有害物質 ○さまざまな依存症 ○医薬品の使い方</p> <p>巻末の発展的な学習に関する内容 (1) ○だれもが安心して生活できる社会</p>	<p>○がんの予防 ○一生を通して健康に暮らそう ○たばこのけむりの害 ○薬の正しい使い方</p> <p>巻末の発展的な学習に関する内容 (2) ○だれもが健康であるために ○パソコンやスマートフォンと上手につき合おう！</p>	<p>○せきやくしゃみのしぶきはどこまで飛ぶの？ ○笑うと体のていこう力が高まる？ ○予防接種とは？ (専門家にインタビュー) ○新型コロナウイルス感染症の経験から学ぶ ○むし歯になりやすいおやつ ○上手な歯みがきのポイント ○塩分のとりすぎは、なぜよくない？ ○がんはどんな病気？ ○がんを経験したサッカー選手 ○たばこのけむりの中の主な有害物質 ○喫煙とインフルエンザ・がん ○知っている？スマホ・ゲーム依存</p> <p>巻末の発展的な学習に関する内容 (1) ○より暮らしやすい社会を目指して～自然環境を大切にしよう～</p>	<p>○その他の主な生活習慣病 ○がんになるリスクを下げよう ○歯ブラシの持ち方 ○歯のみがき方 ○すごいぞ！だ液パワー ○煙の中の有害物質 ○PM2.5と受動喫煙 ○「マナー」から「ルール」へ ○おくれをとる日本の受動喫煙対策と世界の状況 ○飲んだら乗るな！ ○世界各国の最高刑 ○プロフェッショナルが集まる地域の拠点「保健所」</p>	<p>おく ○「がん」のことを知ろう ○運動不足と生活習慣病 ○たばこのけむりの中の主な有害物質 ○飲酒を始めた年齢とアルコール依存症 ○医薬品の正しい使用のしかた ○インターネットと依存症</p> <p>巻末の発展的な学習に関する内容 (1) ○SDGsってなんだろう～共に生きる社会のために～</p>	<p>害物質と警告表示 ○飲酒を始めた年齢とアルコール依存症 ○飲酒などの経験 ○医薬品の正しい使い方 ○いろいろな病気</p> <p>巻末の発展的な学習に関する内容 (5) ○心と体のSOS ○共に生きる社会に向けて ○世界で流行した感染症の歴史 ○医学や保険の分野での世界的な活躍 ○保健に関わる地域の施設について知ろう</p>
<p>内容の 表現・表 記</p>	<p>⑧ 本文記述との関連付けがなされた学習資料の活用 【本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の掲載内容】 ・見開き2ページが導入と展開部で、3ページ目が終末部となる構成を主としている。 ・体の変化の説明に、実物(水着)とイラスト(裸体)を使用している。 ・初経、精通を経験した時期の統計資料は平成29年度に高校生が回答した</p>	<p>⑧ 本文記述との関連付けがなされた学習資料の活用 【本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の掲載内容】 ・見開き2ページで1時間の授業を扱う構成が主である。 ・体の変化の説明は、写真、イラストともに着衣で示している。体の中の変化では裸体のイラストを使用している。 ・初経、精通を経験した時期の統計資料は平成30年度に中学生が回答した</p>	<p>⑧ 本文記述との関連付けがなされた学習資料の活用 【本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の掲載内容】 ・1時間2ページの構成を基本としている。 ・体の変化の説明は、写真、イラストともに着衣で示している。体の中の変化では、簡素化された裸体のイラストを使用している。 ・初経、精通を経験した時期の統計資料は平成29</p>	<p>⑧ 本文記述との関連付けがなされた学習資料の活用 【本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の掲載内容】 ・各学年の始めには、動機付けのページを見開き2ページで構成している。 ・体の変化の説明は着衣のイラストのみを使用している。 ・初経、精通を経験した時期の統計資料は平成30年度のものを使用してい</p>	<p>⑧ 本文記述との関連付けがなされた学習資料の活用 【本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の掲載内容】 ・見開き2ページで1時間の授業を扱う構成が主である。 ・体の変化の説明は、写真、イラストともに着衣で示している。体の中の変化では、簡素化された裸体のイラストを使用している。 ・初経、精通を経験した時期の統計資料は平成29</p>	<p>⑧ 本文記述との関連付けがなされた学習資料の活用 【本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の掲載内容】 ・1時間分の授業が4ページで構成されている。 ・体の変化の説明は、着衣のイラストのみで示している。体の中の変化は、横向きのイラスト(シルエット)を使用している。 ・初経、精通を経験した時期の統計資料はなく、同世代の体験談を掲載して</p>

	ものを使用している。	ものを使用している。	年度の調査のものを使用している。20代男女の体験談を記載している。	る。また、同世代、父母世代の体験談を記載している。	年度の調査のものを使用している。同世代の体験談を記載している。	いる。
言語活動 の充実	<p>⑨ 身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫 【自分の知識や経験に照らして自分の考えを記入する活動の数】</p> <p>第3・4学年(計46) 「けんこうな生活」 ○自分の考えを書く活動(21) ○話し合う活動(4)</p> <p>「体の成長とわたし」 ○自分の考えを書く活動(21)</p> <p>第5・6学年(計59) 「心の健康」 ○自分の考えを書く活動(12) 「けがの防止」 ○自分の考えを書く活動(18) 「病気の予防」 ○自分の考えを書く活動(27) ○話し合う活動(2)</p>	<p>⑨ 身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫 【自分の知識や経験に照らして自分の考えを記入する活動の数】</p> <p>第3・4学年(計28) 「ほけんの学習が始まります」 ○自分の考えを書く活動(1)</p> <p>「けんこうな生活」 ○自分の考えを書く活動(9) ○話し合う活動(5) 「体の発育・発達」 ○自分の考えを書く活動(10) ○話し合う活動(2) 「5・6年生の生活に向けて」 ○自分の考えを書く活動(1)</p> <p>第5・6学年(計58) 「夢や目標をかなえるために」 ○自分の考えを書く活動(1) 「心の健康」 ○自分の考えを書く活動(7) ○話し合う活動(3) 「けがの防止」 ○自分の考えを書く活動(18) ○話し合う活動(4) 「病気の予防」 ○自分の考えを書く活動(21) ○話し合う活動(2)</p>	<p>⑨ 身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫 【自分の知識や経験に照らして自分の考えを記入する活動の数】</p> <p>第3・4学年(計28) 「けんこうな生活」 ○自分の考えを書く活動(11) ○話し合う活動(2)</p> <p>「体の成長」 ○自分の考えを書く活動(11) ○話し合う活動(4)</p> <p>第5・6学年(計48) 「心の健康」 ○自分の考えを書く活動(10) 「けがの防止」 ○自分の考えを書く活動(15) ○話し合う活動(1) 「病気の予防」 ○自分の考えを書く活動(20) ○話し合う活動(2)</p>	<p>⑨ 身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫 【自分の知識や経験に照らして自分の考えを記入する活動の数】</p> <p>第3・4学年(計11) 「毎日の生活とけんこう」 ○自分の考えを書く活動(6)</p> <p>「体の発育・発達」 ○自分の考えを書く活動(5)</p> <p>第5・6学年(計22) 「心の健康」 ○自分の考えを書く活動(8) 「けがの防止」 ○自分の考えを書く活動(5) 「病気の予防」 ○自分の考えを書く活動(9)</p>	<p>⑨ 身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫 【自分の知識や経験に照らして自分の考えを記入する活動の数】</p> <p>第3・4学年(計21) 「けんこうな生活」 ○自分の考えを書く活動(8) ○話し合う活動(4)</p> <p>「体の発育と健康」 ○自分の考えを書く活動(8) ○話し合う活動(1)</p> <p>第5・6学年(計47) 「心の健康」 ○自分の考えを書く活動(8) ○話し合う活動(2) 「けがの防止」 ○自分の考えを書く活動(10) ○話し合う活動(3) 「病気の予防」 ○自分の考えを書く活動(18) ○話し合う活動(6)</p>	<p>⑨ 身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫 【自分の知識や経験に照らして自分の考えを記入する活動の数】</p> <p>第3・4学年(計51) 「健康な生活」 ○自分の考えを書く活動(21) ○話し合う活動(3)</p> <p>「体の発育・発達」 ○自分の考えを書く活動(23) ○話し合い活動(2) 「学びがつながる みらいへつながる」 ○自分の考えを書く活動(2)</p> <p>第5・6学年(計94) 「心の健康」 ○自分の考えを書く活動(17) ○話し合う活動(2) 「けがの防止」 ○自分の考えを書く活動(21) ○話し合う活動(3) 「病気の予防」 ○自分の考えを書く活動(42) ○話し合う活動(7) 「学びがつながる みらいへつながる」 ○自分の考えを書く活動(2)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・思考・判断したことを表現するスペースを設けている。 	<p>「中学校生活に向けて」 ○自分の考えを書く活動(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入欄を広く取り、要点を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記入スペースを設けて、思考・判断したことを表現できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各時間のまとめの後に、自ら実践していくことを書くスペースがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことをもとに、自分の考えを記入する欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考・判断・表現したことを記入するスペースを確保している。
--	--	---	--	---	---	--

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に登載された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	英語	6	11

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東 書	9 開隆堂	15 三省堂	17 教 出	38 光 村	61 啓林館
基礎・基本の 定着	<p>①単元の目標の示し方 (目標の示し方と具体例)</p> <p>○各単元の冒頭に、Our Goal として学習目標を提示している。</p> <p>○ 第5学年 Unit 8: Who is your hero? Our Goal あこがれの人について紹介し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> あこがれの人について友達に紹介しよう。 おたがいのことをよく知るために、あこがれの人について紹介し合おう。 日本のヒーローを知るために、その 	<p>①単元の目標の示し方 (目標の示し方と具体例)</p> <p>○各単元の冒頭に、GOAL として学習目標を提示している。</p> <p>○第5学年 Lesson 8: My Hero GOAL 他の人の得意なことやできることなどを発表したることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 得意なことの言い方を知ろう。 自分や他の人の得意なことを聞き取ったり、伝えたりしよう。 人柄を表す言い方を知り、他の人をわかりやすくしよ 	<p>①単元の目標の示し方 (目標の示し方と具体例)</p> <p>○年間3回の大きな言語活動の Goal を示すとともに、各単元の冒頭に、Goal として単元における学習目標を提示している。</p> <p>○第5学年 Lesson 3: He is my brother. Goal 友だちや家族を紹介し合おう。</p>	<p>①単元の目標の示し方 (目標の示し方と具体例)</p> <p>○各単元の冒頭に、Goal として学習目標を提示している。</p> <p>○第5学年 Lesson 9: My Hero, My Dream Friend Goal あこがれの人や、友達になってみたい人をしようかいしよう。</p>	<p>①単元の目標の示し方 (目標の示し方と具体例)</p> <p>○各単元の冒頭に、Goal として学習目標を提示している。</p> <p>○第5学年 Unit 5: My hero is my brother. Goal 自分の興味・関心を伝えるため、あこがれの人を紹介することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> Hop! 家族や職業、性格などの言い方を知ろう。 Step 1 人の職業などを伝えよう。 Step 2 人の性格などを伝えよう。 Jump 紹介文を読 	<p>①単元の目標の示し方 (目標の示し方と具体例)</p> <p>○各単元の冒頭に GOAL として学習目標を提示している。</p> <p>○第6学年 Unit 5: This is my hero. GOAL あこがれの人について伝えることができるようになるろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> Step 1 身近な人や好きな人物のとくちょうを言ってみよう。 Step 2 好きな人物について、その人がしたことを言ってみよう。 Step 3 あこがれの人について伝え

	<p>人の魅力などについて考えよう。</p> <p>②基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫 (文及び文構造に繰り返し触れる機会の設定した単元名 want to)</p> <p>○第5学年 ・Unit 7: Welcome to Japan!</p> <p>○第6学年 ・Unit 4: Let's see the world. ・Unit 8: My Future, My Dream (具体例) 第6学年</p> <p>○Unit 8: My Future, My Dream Let's Read 将来したいことについて伝える紹介文を読む活動を設定している。 I like science. I want to join the science club. I want to study science. I want to</p>	<p>うかいしよう。</p> <p>・自分のヒーローを発表し、クラスのみんなの「図かん」を作ろう。</p> <p>②基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫 (文及び文構造に繰り返し触れる機会の設定した単元名 want to)</p> <p>○第5学年 ・Lesson 3: What do you have on Mondays? ・Lesson 6: What would you like? ・Lesson 8: My Hero</p> <p>○第6学年 ・Lesson 5: Where do you want to go? Lesson 7: My Dream Lesson 8: My Junior High School Life (具体例) 第6学年</p> <p>○Lesson 5: Where do you want to go? Activity 3 グループで、互いの行きたい国について「行きたい国クイズ」に取り組む活動</p>	<p>②基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫 (文及び文構造に繰り返し触れる機会の設定した単元名 want to)</p> <p>○第5学年 ・Lesson 7: I want to go to Kenya.</p> <p>○第6学年 ・Lesson 1: We are from India. ・Lesson 6: I want to be a singer. (具体例) 第6学年</p> <p>○Lesson 7: I want to join the brass band. Lesson 7: I want to join the brass band. Let's Listen & Read 中学校訪問の感想について書かれた英文を読む音声を聞きながら、その英文を目で追う活動</p>	<p>②基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫 (文及び文構造に繰り返し触れる機会の設定した単元名 want to)</p> <p>○第5学年 ・Lesson 6: Where do you want to go?</p> <p>○第6学年 ・Lesson 5: Dream World Tour ・Lesson 7: What do you want to be? Lesson 8: Junior High School Life (具体例) 第6学年</p> <p>○Lesson 7: What do you want to be? Activity 2 就きたい職業について尋ね合い、分かったことをメモする活動を設定している。 What do you want to be? I want to be a</p>	<p>んだり、書いて発表したりしよう。</p> <p>②基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫 (文及び文構造に繰り返し触れる機会の設定した単元名 want to)</p> <p>○第6学年 ・Unit 6: I want to go to Italy. ・Unit 7: My Dream (具体例) 第6学年</p> <p>○Unit 7: My Dream Let's try. 将来の夢を尋ね合う活動を設定している。 What do you want to be? I want to be a doctor. Why? I want to help people. Good luck!</p>	<p>よう。</p> <p>②基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫 (文及び文構造に繰り返し触れる機会の設定した単元名 want to)</p> <p>○第5学年 ・Unit 8: Let's go to Singapore.</p> <p>○第6学年 ・Unit 7: I want to be a fashion designer. ・Unit 8: I want to join the brass band. (具体例) 第6学年</p> <p>○Unit 7: I want to be a fashion designer. Activity 将来の夢について、理由も加えて発表する活動を設定している。 I want to be a famous manga</p>
--	--	--	---	---	--	--

	be a vet. I want to help animals.	を設定している。 Where do you want to go? Please guess. I want to eat ice cream. I want to buy a beautiful bag. You can see the ocean. Oh, you want to go to Turkey.	を設定している。 I want to enjoy junior high school. I like English. I want to study English. I want to go to Canada.	scientist. Why? I like science classes. Good luck!		writer! Good luck! You can do it!
主体的に学習に取り組む工夫	<p>③興味・関心を高めるための工夫 (単元の導入の工夫)</p> <p>○Unit 1: Hello, friends! 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールや3つの学習のめあてとともに、自己紹介や給食、図書室での会話場面等のイラストや写真を掲載し、児童の興味・関心を高めている。</p> <p>○二次元コードを活用し、単元終末の言語活動のモデル動画、アニメーションや音声視聴して場面の順序を考える等の活動、自己紹介動画を視聴して質問に答える活動、My Picture</p>	<p>③興味・関心を高めるための工夫 (単元の導入の工夫)</p> <p>○Lesson 3: What do you have on Mondays? 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールや4つの学習のめあてとともに、海外の友だちとビデオ通話をしている場面等のイラストや写真を掲載し、児童の興味・関心を高めている。</p> <p>○二次元コードを活用し、学校生活等について紹介するアニメーションを視聴する活動、時間割について聞く活動、歌、チャンツ、ゲーム、アルファベット</p>	<p>③興味・関心を高めるための工夫 (単元の導入の工夫)</p> <p>○Lesson 2: I play soccer on Tuesdays. 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールとともに、登校時の校内や校庭での様子のイラスト等を掲載し、児童の興味・関心を高めている。</p> <p>○二次元コードを活用し、イラストを見ながら校内や校庭で行われていることについて聞く活動、チャンツ、単語ゲーム、Small Talk、会話の続け方についての資料を設定している。</p>	<p>③興味・関心を高めるための工夫 (単元の導入の工夫)</p> <p>○Lesson 3: I have P.E. on Monday 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールとともに、国旗や各教科のイラスト、海外の授業風景等のイラストや写真を掲載し、児童の興味・関心を高めている。</p> <p>○二次元コードを活用し、海外の子供たちの学校生活に関する映像を視聴する活動やリズムに合わせた口慣らしを設定している。</p>	<p>③興味・関心を高めるための工夫 (単元の導入の工夫)</p> <p>○Unit 3: What subjects do you like? 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールや4つの学習のめあてとともに、海外の小学生とオンラインで話している様子や国旗・教科等のイラストや写真を掲載し、児童の興味・関心を高めている。</p> <p>○二次元コードを活用し、Small Talk、教科等について話をする動画やアニメーションを視聴する活動、Picture Dictionaryを見て聞こえてきたもの</p>	<p>③興味・関心を高めるための工夫 (単元の導入の工夫)</p> <p>○Unit 1: I have math on Monday 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールや3つの学習のめあてとともに、校内や校庭で色々な授業が行われている場面等のイラストを掲載し、児童の興味・関心を高めている。</p> <p>○二次元コードを活用し、イラストを見ながら小学校で行われている授業について聞く活動、時間割や好きな教科に関するアニメーションを視聴する活動を設定している。</p>

<p>Dictionary や、歌、チャンツを設定している。</p> <p>④単元等における振り返りの工夫 (単元などの内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定)</p> <p>○単元の「Your Turn」 「Enjoy Communication」 「Over the Horizon」において、振り返りを行う。また、年間3回の「Check Your Steps」を設定し、その活動の振り返りを行う。 (経験したことを伝える単元における具体例) 第6学年</p> <p>○Unit 3: My Weekend 単元の「Your Turn」 「Enjoy Communication」 「Over the Horizon」の学習において、振り返りを行う。 <Your Turn の振り返り> ・週末にしたことを友達と伝え合えた</p>	<p>に関する学習、Word Book を設定している。</p> <p>④単元等における振り返りの工夫 (単元などの内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定)</p> <p>○学習した単元ごとに振り返りを行うとともに、年間3回の「Let's Check」を設定し、これまで学習したことについて振り返りを行う。 (経験したことを伝える単元における具体例) 第6学年</p> <p>○Lesson 4: My Summer Vacation その単元で学習したことについて、巻末の「CAN-DO チェック」の4つの視点で振り返りを行うとともに、感想等を書く。 ・聞く(わかる) 夏休みの思い出についての話聞いて、おおよその内容がわかった。 ・話す(わかる) 夏</p>	<p>に関する学習、Word Book を設定している。</p> <p>④単元等における振り返りの工夫 (単元などの内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定)</p> <p>○学習した単元ごとに振り返りを行う。また、年間3回の大きな言語活動を設定し、その振り返りを行うとともに、それまでの単元で学習したことについて振り返りを行う。 (経験したことを伝える単元における具体例) 第6学年</p> <p>○Lesson 4: I went to the beach. その単元で学習したことについて振り返りを行うとともに、工夫したこと等を書く。 <ふりかえり> ・夏休みをどんなふうに過ごしたかを、友だちと伝え合うことができた。 ・このレッスンで、くふうできたことはど</p>	<p>に関する学習、Word Book を設定している。</p> <p>④単元等における振り返りの工夫 (単元などの内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定)</p> <p>○学習した単元ごとに振り返りを行う。(経験したことを伝える単元における具体例) 第6学年</p> <p>○Lesson 4: My Summer Vacation その単元で学習したことについて、4つの視点で振り返りを行う。 <Lesson 4 をふりかえろう> ・夏休みに行った場所や食べたものの表現を、聞いたり言ったりすることができた。 ・夏休みにしたことや感想を伝えるための表し方を知り、聞いたり言ったりすることができた。 ・英語の語順を意識しながら、絵日記をつ</p>	<p>を指さす活動、歌を設定している。</p> <p>④単元等における振り返りの工夫 (単元などの内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定)</p> <p>○学習した単元ごとに振り返りを行う。また、3つの「まとめ」の言語活動を設定し、その振り返りを行うとともに、それまでの単元で学習したことについて振り返る。 (経験したことを伝える単元における具体例) 第6学年</p> <p>○Unit 4: My Summer Vacation その単元で学習したことについて、3つの視点で振り返りを行うとともに、工夫したこと等を書く。 ・ブログから、夏休みの思い出を読み取ることができた。 ・夏休みの思い出を伝える絵日記を書くことができた。</p>	<p>に関する学習、Word Book を設定している。</p> <p>④単元等における振り返りの工夫 (単元などの内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定)</p> <p>○単元の Step ごとに振り返りを行うとともに、単元末に単元全体の振り返りを行う。 (経験したことを伝える単元における具体例) 第6学年</p> <p>○Unit 4: I went to the zoo. Step ごとの達成度を振り返るとともに、単元末にその単元でできるようになったこと等について、4つの視点で振り返りを行う。 ・Step 1～3 できたかな <Look Back > 1 できるようになったことにチェックマークを書きましょう。 ・自分がしたことを言うことができる。</p>
---	---	---	--	--	--

	<p>かな。 <Enjoy Communication> の振り返り ・週末にしたことを伝え合って、お互いの生活をよく知ることができたかな。 ・週末にしたことについて、内容を整理して伝えようとしたかな。 <Over the Horizonの振り返り> ・世界の人の生活を知るために、休みの日などについて考えたかな。 ○Check Your Steps 1「発信！わたしのニュースあれこれ」自分が行った発表等について、振り返る。 ・自分の発表の振り返りや、友達の発表でよかったところを書こう。</p>	<p>休みの思い出について、したことや感想などをしょうかいすることができた。 ・話す（使える）夏休みの思い出について、工夫してくわしくしょうかいすることができた。 ・がんばったこと、次のレッスンでがんばりたいこと ○Let's Check ② Interview: 先生と話をしよう。これまで学習したことを振り返るとともに、先生とのやり取りについて、4つの視点で振り返りを行い、感想を書く。 ・これまで学習してきたことを振り返りましょう。そして、どのようなことを伝えたり、たずねたりしたいかを考えましょう。 1 自分のことをよく知ってもらうために、自分から進んで話すことができた。 2 先生のことをよく</p>	<p>んなことですか。友だちがしていたことで、まねしたいことはありましたか。 ○JUMP 2: My best memory is the school trip. 自分が行ったスピーチについて振り返るとともに、それまで学習したことについて振り返りを行う。 <ふりかえり> ・Goal は達成できましたか。 ・HOP、STEP、JUMP を通して、がんばったことはなんですか。</p>	<p>くり、夏休みにしたことを伝えることができた。 ・読み手に分かりやすい絵日記になるようにくふうしたり、その内容の伝え方をくふうしたりした。</p>	<p>・夏休みの思い出を発表することができた。 ・くふうしたことや次に生かしたいこと ○まとめ 世界の友達 2 / You can do it! 2 各活動について振り返るとともに、それまでの単元で学習したことについて振り返る。 ・世界の友達のインタビューから、したことやしたいことを聞き取ることができた。 ・さいころを使って、英語のトーク番組にちょうせんすることができた。 ・世界のことについて、どんなことが言えるようになったかな。</p>	<p>・したことについての感想を言うことができる。 ・⇒GOAL 自分の体験を伝えることができる。 2 Unit 4 で学習した英語を、実際のどんな場面で使いたいか考えてみましょう。</p>
--	--	--	--	--	--	---

		<p>知るために、自分から進んで質問することができた。</p> <p>3 自分のことを伝えるために、先生の質問に答えることができた。</p> <p>4 相手の話を聞いて感想を伝えたり、質問したりして、相手意識をもって話を続けることができた。</p> <p>・話してわかったこと、これから話してみたいことなど</p>				
内容の構成・配列・分量	<p>⑤内容の構成・配列の工夫</p> <p>○総ページ数 106 (5・6年とも)</p> <p>○年間3つの小テーマで構成され8単元を設定している。</p> <p>○総言語活動数 403 「書くこと、読むこと、話すこと [やり取り]・[発表]、書くこと」の順</p> <p>5年 184 (51、13、68、4、48)</p> <p>6年 219 (70、42、51、8、48)</p>	<p>⑤内容の構成・配列の工夫</p> <p>○総ページ 138 (5・6年とも)</p> <p>○巻頭に Let's Review (前年度の復習)、8単元を設定している。</p> <p>○総言語活動数 359 「書くこと、読むこと、話すこと [やり取り]・[発表]、書くこと」の順</p> <p>5年 180 (53、23、71、9、24)</p> <p>6年 179 (52、24、72、7、24)</p>	<p>⑤内容の構成・配列の工夫</p> <p>○総ページ数 122 (5・6年とも)</p> <p>○全学年の復習教材を掲載4ページ、3部7単元で構成している。</p> <p>○総言語活動数 286 「書くこと、読むこと、話すこと [やり取り]・[発表]、書くこと」の順</p> <p>5年 143 (32、25、47、19、20)</p> <p>6年 143 (32、25、44、21、21)</p>	<p>⑤内容の構成・配列の工夫</p> <p>○総ページ数 140 (5・6年とも)</p> <p>○巻頭には、前年までの学習を復習する導入単元 Let's Start Together を掲載。第5学年は3部構成全9単元、第6学年は3部構成全8単元で、各単元はパート1～5で構成している。</p> <p>○総言語活動数 144 「書くこと、読むこと、話すこと [やり取り]・[発表]、書くこと」の順</p>	<p>⑤内容の構成・配列の工夫</p> <p>○総ページ数 153 (5年) 145 (6年)</p> <p>○巻頭に Let's Start (スタート教材)があり、年間3つのストーリー、8単元で構成されている。各単元は、Hop Step(1・2) Jump の順にしている。</p> <p>○総言語活動数 303 「書くこと、読むこと、話すこと [やり取り]・[発表]、書くこと」の順</p> <p>5年 147 (52、18、50、14、13)</p>	<p>⑤内容の構成・配列の工夫</p> <p>○総ページ数 152 (5・6年とも)</p> <p>○巻頭で Pre Unit を設定。年間3部8単元で構成されている。各単元は、扉/Step1・2 (言葉に慣れる)、Step3 (コミュニケーション)、振り返り及び Read and Write としている。</p> <p>○総言語活動数 288 「書くこと、読むこと、話すこと [やり取り]・[発表]、書くこと」の順</p>

	<p>⑥単元における言語活動の構成・配列</p> <p>○単元末に Sound and letters (聞くこと、書くこと)、小テーマ毎の最後に Check your Steps を設定している。</p>	<p>⑥単元における言語活動の構成・配列</p> <p>○各単元末の Story Time (話す活動)、年間3回の Let's Check (聞くこと・読むこと・話すこと・書くこと) がある。</p>	<p>⑥単元における言語活動の構成・配列</p> <p>○学期末に Hop Step Jump の構成。Jump では、表現する活動が設定している。4回の ABC Fun Box (読むこと・書くこと) の特設ページあり。</p>	<p>5年 72 (28、6、21、10、7)</p> <p>6年 72 (19、16、14、7、16)</p> <p>⑥単元における言語活動の構成・配列</p> <p>○各単元に Listen から Activity が展開されている。Final Activity において、習得した知識及び技能を活用する(読むこと・話すこと・書くこと) 活動等がある</p>	<p>6年 156 (51、20、45、20、20)</p> <p>⑥単元における言語活動の構成・配列</p> <p>○学期末には You can do it (まとめ) (話す・書く・発表する活動) がある。</p>	<p>5年 135 (80、8、30、12、5)</p> <p>6年 153 (79、9、21、21、23)</p> <p>⑥単元における言語活動の構成・配列</p> <p>○学期末に、REVIEW で活用する活動を設定している。</p>
<p>内容の 表現・表記</p>	<p>⑦学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等の活用 (キャラクターやマーク等の活用)</p> <p>○第5学年の巻頭で6人の登場人物を紹介し、第6学年では新たに1人の転入生を加え、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。</p> <p>○5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークやキャラクターを設定し、紙面に明示して</p>	<p>⑦学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等の活用 (キャラクターやマーク等の活用)</p> <p>○巻頭に主な登場人物として9人「Story Time」の登場人物として2人の人物を紹介している。「主な登場人物」の内、外国語指導助手が第6学年で入れ替わるが、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。</p>	<p>⑦学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等の活用 (キャラクターやマーク等の活用)</p> <p>○巻頭に「主な登場人物」として、8人を紹介しており、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。</p> <p>○5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークを設定し、紙面に明示している。また、児童の理解をサポートす</p>	<p>⑦学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等の活用 (キャラクターやマーク等の活用)</p> <p>○第5学年の最初の単元で8人の人物が登場し、第6学年では新たに1人の転入生を加え、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。</p> <p>○5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークやキャラクターを設定</p>	<p>⑦学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等の活用 (キャラクターやマーク等の活用)</p> <p>○巻頭に「主な登場人物」として、第5学年で7人の人物と学習を助けるキャラクターを紹介している。第6学年では新たに1人の転入生を加え、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。</p>	<p>⑦学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等の活用 (キャラクターやマーク等の活用)</p> <p>○巻頭に「登場人物」として、第5学年で8人、第6学年で7人を紹介し、2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。</p> <p>○5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークとキャラクターを設定し、紙面に明示して</p>

<p>いる。</p> <p>(写真やデジタル教材等の活用) 第5学年</p> <p>○単元の学習に関連した音声や動画、アニメーション等の視聴や、ワークシートやデジタルディクショナリー等の使用が Web 上でできるコンテンツや、日本や世界について調べることができる外部につながる二次元コードを、8箇所を示している。</p> <p>○学習に関連した日本や世界各国の写真を、単元終末ページを中心に示している。</p> <p>⑧巻末資料、付録等の工夫</p> <p>○巻末の絵カード資料あり。 Picture</p>	<p>○5つの領域に関連した言語活動等の種類を示すマークや、ガイドキャラクターを3つ設定し、紙面に明示している。</p> <p>(写真やデジタル教材等の活用) 第5学年</p> <p>○単元の学習に関連した音声や動画、アニメーション等の視聴や、やデジタルワードブックや活動における資料等の使用が Web 上でできるコンテンツにつながる二次元コードを、5箇所に示している。</p> <p>○学習に関連した日本や世界各国の写真を、単元を通して示している。</p> <p>⑧巻末資料、付録等の工夫</p> <p>○巻末の絵カード資料あり。Word book(辞書的資料)</p>	<p>るナビゲーションキャラクターを3つ設定し、紙面に登場させている。</p> <p>(写真やデジタル教材等の活用) 第5学年</p> <p>○単元の学習に関連した音声や動画、アニメーション等の視聴や、ワークシートやふりかえりシート等をダウンロードできる二次元コードを4箇所に示している。</p> <p>○2つの活動に関連した写真を示している。</p> <p>⑧巻末資料、付録等の工夫</p> <p>○巻末の絵カード資料あり。CROWN Jr. My</p>	<p>し、紙面に明示している。</p> <p>(写真やデジタル教材等の活用) 第5学年</p> <p>○音声や動画等が Web 上で視聴できるコンテンツにつながる二次元コードを、活動ごと7箇所に示している。</p> <p>○学校に関連した日本や世界各国の写真を単元導入の見開きページに示している。</p> <p>○学習に関連した日本や世界各国の写真を単元導入の見開きページに示している。</p> <p>⑧巻末資料、付録等の工夫</p> <p>○巻末には、My Word Bank(辞書的資料)、絵カード等がある。</p>	<p>○5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークを設定し、紙面に明示している。</p> <p>(写真やデジタル教材等の活用) 第5学年</p> <p>○単元の学習に関連した音声や動画、アニメーション等が Web 上で視聴できるコンテンツにつながる二次元コードを、5箇所に示している。</p> <p>○学習に関連した日本や世界各国の写真を、単元終末ページに示している。</p> <p>⑧巻末資料、付録等の工夫</p> <p>○巻末には、Picture Dictionary(辞書的資料)があり、カー</p>	<p>いる。</p> <p>(写真やデジタル教材等の活用) 第5学年</p> <p>○単元の学習に関連した音声や動画、アニメーション等の視聴や、単語クイズやアクティビティのヒントの使用が Web 上でできる二次元コードを、活動ごとに15箇所に示している。</p> <p>○学習に関連した日本や世界各国の写真を、単元導入ページと終末ページを中心に示している。</p> <p>⑧巻末資料、付録等の工夫</p> <p>○巻末には、Word List 等が設けられている。</p>
--	--	---	--	--	--

	Dictionary(辞書的資料等)5・6年合本で48ページ	を別冊資料5・6年別各33ページ	Dictionary(辞書的資料)5・6年合本で49ページ		ド等もある。	
言語活動の 充実	<p>⑨児童にとって身近な暮らしに関わる場面設定の工夫(主として学校での学習や活動場面を取り上げた単元)第6学年</p> <p>U1: This is me! U2: My Daily Schedule U7: My Best Memory U8: My Future, My Dream</p>	<p>⑨児童にとって身近な暮らしに関わる場面設定の工夫(主として学校での学習や活動場面を取り上げた単元)第6学年</p> <p>L1: This is me. L3: What time do you get up? L6: My Best Memory L8: My Junior High School Life</p>	<p>⑨児童にとって身近な暮らしに関わる場面設定の工夫(主として学校での学習や活動場面を取り上げた単元)第6学年</p> <p>L4: It was green. L5: We had the sports day in October. L7: I want to join the brass band.</p>	<p>⑨児童にとって身近な暮らしに関わる場面設定の工夫(主として学校での学習や活動場面を取り上げた単元)第6学年</p> <p>L1: Let's be friends L6: My Best Memory L8: Junior High School Life</p>	<p>⑨児童にとって身近な暮らしに関わる場面設定の工夫(主として学校での学習や活動場面を取り上げた単元)第6学年</p> <p>U1: This is me. U2: Welcome to Japan. U3: What time do you get up? U7: My Dream U8: My Best Memory</p>	<p>⑨児童にとって身近な暮らしに関わる場面設定の工夫(主として学校での学習や活動場面を取り上げた単元)第6学年</p> <p>U6: My favorite memory is the school trip. U8: I want to join the brass band.</p>
	<p>⑩知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫(自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定)</p> <p>○単元終末の Enjoy Communication で、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定。また、3回の Check Your Steps</p>	<p>⑩知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫(自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定)</p> <p>○単元終末の Activity や Let's Write 等で、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定。また、3回の Let's</p>	<p>⑩知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫(自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定)</p> <p>○単元終末の Step up で、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定。また、3回の大きな言語活動 JUMP で、</p>	<p>⑩知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫(自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定)</p> <p>○単元終末の Final Activity で、習得した知識及び技能を活用する「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定。</p>	<p>⑩知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫(自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定)</p> <p>○単元終末の Jump! で、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定。また、3回の「世界の友達」で、「聞くこと」「読む</p>	<p>⑩知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫(自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定)</p> <p>○単元終末の Step3 で、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定。また、3回の REVIEW で、習得した知識及び技能</p>

	<p>において、習得した知識及び技能を活用する「聞くこと」「話すこと[発表]」の活動を設定。</p> <p>(中学校生活への期待等が取り上げられた単元) 第6学年</p> <p>Unit 8 : My Future My dream</p> <p>Enjoy communication 互いの夢を応援するために、将来したいことを伝え合う。</p> <p>Step 1 文を指で追いつながら、2人の会話を聞く。</p> <p>Step 2 内容を整理しながら「招待カード」を作り、ペアで伝え合う。</p> <p>Your Goal 将来カードを使ってたくさんの友達と伝え合う。</p> <p>会話したことを書く。</p>	<p>Check で、「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「書くこと」の活動を設定。</p> <p>(中学校生活への期待等が取り上げられた単元) 第6学年</p> <p>Lesson 8 : My Junior High School Life</p> <p>Activity 1 中学でしたいことと理由を尋ねあう。</p> <p>Activity 2 中学校生活で関心をもっていることを話すために、選んだカードで話し合う。</p> <p>Activity 3 先輩や先生、友達に向け、中学でしたいことや将来に向けて発表し、動画を撮る。</p>	<p>「話すこと[発表]」の活動を設定。</p> <p>(中学校生活への期待等が取り上げられた単元) 第6学年</p> <p>Lesson 7 : I want to join the brass band.</p> <p>Goal 中学生になったらしめたことを伝え合おう。</p> <p>Part 1 力を入れたい教科や部活動を伝え合う。</p> <p>Part 2 中学生になってほしいことを伝え合う。</p> <p>Step up どんな中学校生活を送りたいかを伝え合おう。</p> <p>Let's Listen&Read 友達の発表を聞きながら文字を指で追ってみよう。</p> <p>Let's Listen 友達のやり取りを聞く。</p> <p>Let's Try どのような中学校生活を送りたいかを伝え合う。</p>	<p>(中学校生活への期待等が取り上げられた単元) 第6学年</p> <p>Lesson 8 : Junior High School Life</p> <p>Let's Listen 1・2 中学生でしたいことを、音声を聞いて、読み書く。</p> <p>Activity 中学校で入りたい部活動や楽しみたい学校行事を尋ね合う。</p> <p>Final Activity 中学校でしたいことを発表する。友達の発表を聞き、分かったことを書く。</p>	<p>こと」の活動、You can do it!で、「話すこと」「書くこと」の活動を設定。</p> <p>(中学校生活への期待等が取り上げられた単元) 第6学年</p> <p>Unit 7 : My Dream</p> <p>Step 1 音声を聞いて部活動を選ぶ。入りたい部活動や頑張りたい教科など、中学校でしたいことを尋ね合う。</p> <p>Step 2 音声を聞いて職業を選んだり、将来の夢を尋ねたりし合う。</p> <p>Jump 自分の「夢宣言」を書き、書いた事柄について更に詳しい発表をする。</p>	<p>を活用する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の活動を設定。</p> <p>(中学校生活への期待等が取り上げられた単元) 第6学年</p> <p>Unit 8 : I want to join the brass band.</p> <p>Step 1 音声を聞いて部活動を選ぶ。自分の中学校でやってみたい部活動を尋ね合う。</p> <p>Step 2 音声を聞いて中学校でやってみたいことを選ぶ。自分のやってみたいことを尋ね合う。</p> <p>Step 3 中学校を紹介してくれた人に、中学校でやってみたいことを含めたお礼を、動画メッセージを作り、また、手紙にも書く。</p>
--	--	--	---	---	---	---

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に記載された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	道徳	6	4

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	視点	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	208 光文	224 学研
基礎・基本の定着	①道徳科の学び方等の示し方	○「どんな学びをするのかな」で、 ①「気づく」 ②「考える」 ③「広げる・深める」 の3つの学習の流れを示している。 ○学び方を「演じて考えよう」「問題を見つけて考えよう」「やってみてかんがえよう（第1・2学年のみ）」を示し、教材の概要ページに説明している。 ○「ちょっと話し合ってみよう！」で、話し合う際の言い方の例を示している。（第2学年以上）	○「道徳ではこんな学び方をするよ」で、 ①「考えよう」 ②「深めよう」 ③「つなげよう」 ④「今日の学習を自分でふり返ってみよう」 の4つの学習の流れを示している。 ○「考えよう」を「話し合ってみよう」「演じて考えよう」「書いて考えよう」と3つの方法を示し、それぞれ説明している。	○第3学年以上は巻頭教材で「道徳の学び方」について、 ①「考えたいことに気づく」 ②「よりよい生き方について考える」 ③「学んだことをつなげる」 の3つの学習の流れを示している。 ○第1学年は「話し合うときにできるといいな」の説明を短い言葉で5つ、第2学年以上は「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を3つ示し、対話を進めるポイントを説明している。	○「道徳の学び方」で、 ①「気づく」 ②「考える・深める」 ③「見つめる・生かす」 の3つの学習の流れを示している。 ○「考える・深める」の方法を「話し合ってみよう」「動いてみよう」「書いてみよう」とし、添付の二次元コードを活用すると動画視聴ができるようにしている。	○「道徳の時間は、こんな時間でず」で、 ①「問いを見つけよう」 ②「考えよう」 ③「まとめよう・ふりかえろう」 ④「ひろげよう・つなげよう」 の4つの学習の流れを示している。 ○「考えよう」は具体例を示しながら3ページにわたって、「まとめよう・ふりかえろう」は1ページで説明している。	○「道徳の学習が始まるよ」で中・高学年ともに3つの学習の流れを示している。 ・中学年：自分を見つめ深めるポイント ①「お話をもとに考えよう」 ②「話し合い高め合おう」 ③「自分を見つめ深めよう」 ・高学年：考えを深めるステップ ①見つけよう ②考えよう ③生かそう ○中・高学年は、考えを深める方法として、対話、役割演技、書く活動を示している。
	②発問の示し方 (例：1学年「かぼちゃのつる」)	発問 ・教材文の終わりに（第1～2学年）2つ（第3学年以上）3～4つ 「トラックのタイヤにつるを切られ、泣いてしまったかぼちゃは、どんなことを思ったでしょう。」	発問 ・冒頭に1つ ・教材文の終わりに3～5つ 「どうすればよかったか、かぼちゃに教えてあげましょう。」	発問 ・冒頭に1つ ・教材文の終わりに4～7つ 「つるをのぼすとき、かぼちゃはどんなことを考えればよかったのでしょうか。」	発問 ・冒頭に1つ ・教材文の終わりに2つ 「ぼろぼろと涙をこぼすかぼちゃは、どんなことを思っていたのだろうか。」	発問 ・冒頭に1つ ・教材文の終わりに4つ 「トラックにつるを切られたかぼちゃは、泣きながらどんなことに気づいたのかな。」	発問 ・教材文の終わりに（第1～2学年）1～2つ、（第3学年以上）2つ 「泣いているかぼちゃさんの気持ちを話し合ってみよう。」
主体的に学習に取り組む工夫	③問題解決的な学習を取り入れた工夫	○「問題を見つけて考えよう」を設け、問題解決的な学習の流れを示している。	○教材の終わりに問題解決的な学習の流れを示し、目次には「解決」「かいけつ」のマークを付けて示している。	○「考えよう・話し合おう」「つなげよう」において、教材の終わりに学習過程の例を示している。	○「ぐっと深める」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示している	○「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」において、学習過程の例を示している。	○「深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示している。
	④体験的な学習を取り入れた工夫 (例：第3学年)	○「演じて考えよう」のページを設け、直前の教材に関連した体験的な学習（役割演技や動作化）を促している。各学年1～2例ある。 ・ みさきさんのえがお C公正公平・社会正義（役割演技）「えんじてかんがえましょう」	○「やってみよう」のコーナーを設け、直前の教材に関連した体験的な学習（役割演技）を促している。各学年3～7例あり、目次に「体験」「たいけん」のマークを付けて示している。 ・ 悪いのはわたしじゃない A正直・誠実（役割演技）「自分が『わたし』だったらなんと声をかけますか。」	○「演じて考えよう」のページを設け、直前の教材に関連した体験的な学習（役割演技）を促している。各学年1例ずつあり、目次に示している。 ・ 教えてあげる？持ってあげる？ B親切・思いやり（役割演技）「わたしとみきちゃんをえんじてみましょう。」	○「ぐっと深める」のページの中で、直前の教材に関連した体験的な学習（役割演技）を促している。各学年2～3例あり、目次に示している。 ・ お母さんのせいきゅう書 C家族愛、家庭生活の充実（役割演技）「お母さんになって演じてみよう。」	○「みんなでやってみよう！」のコーナーを設け、直前の教材にも関連する実際の問題場面を想定した体験的な学習を促す教材を掲載している。各学年1例ずつあり、目次に示している。 ・ ことばのキャッチボール B相互理解、寛容（役割演技）『ことばのキャッチボール』を続けてみましょう」	○「心のパスポート」のページの中で、直前の教材に関連した体験的な学習（役割演技）を促している。各学年1例ずつあり、目次に示している。 ・ 貝がら B友情、信頼（役割演技）「病気が治った『ぼく』が学校で中山君にあったときの場面を想像してえんじましょう。」
内容の構成・配列・分量	⑤分量や教材の数	判型 ・AB ページ数 ・P146～196	判型 ・AB ページ数 ・P161～185	判型 ・B5 変形 ページ数 ・P135～213	判型（別冊判） ・AB（AB） ページ数 ・P154～194（別冊 P46）	判型 ・AB ページ数 ・P162～194	判型 ・AB ページ数 ・P142～170

		教材数（4つの視点） A8～11 B7～9 C9～12 D6～8 (合計34～35教材)	教材数（4つの視点） A8～11 B6～10 C10～13 D4～7 (合計34～35教材)	教材数（4つの視点） A8～10 B8～9 C9～11 D5～7 (合計34～35教材)	教材数（4つの視点） A9～11 B8～10 C12～13 D5～6 (合計37～38教材)	教材数（4つの視点） A8～11 B8～11 C12～15 D7～9 (合計40教材)	教材数（4つの視点） A9～12 B8～9 C9～11 D6～8 (合計34～35教材)
		【全ての発行者に掲載されている教材】 「かぼちゃのつる」(第1学年) 「はしの上のおおかみ」(第1学年) 「二わの小鳥」(第1学年) 「金のおの／きんのおの ぎんのおの」(第1・2学年) 「七つの星／ひしゃくぼし／七つぼし」(第1・2学年) 「ブラッドレーのせい求書／お母さんのせい求書」(第3・4学年) 「花さき山」(第3・4学年) 「雨のバス停留所で」(第4学年) 「手品師」(第5・6学年) ブランコ乗りとピエロ(第5・6学年)					
					別冊「道徳ノート」 ・教材ごとに、自分の考えを書くようにしてある		
⑥現代的な課題等を踏まえた内容の示し方 (例：第5学年)	○いじめの問題をテーマとした2つの教材と扉ページ、いじめの問題についてのコラムという構成でユニット化した「『いじめ』についてかんがえよう」を設けている。 ○いじめの問題を扱う教材のまともには、目次に色付けがしてある。 ○いじめそのものを扱う教材のほかに、年間を通して、いじめ問題に関連する教材を配置し、巻末の内容項目一覧の「関係するテーマ」で紹介している。 ・ どうすればいいんだ C公正公平、社会正義 ・ 心のレシーブ B友情、信頼	○いじめの問題をテーマとした2つの教材とコラムの構成でユニット化した「いじめをなくす」を設けている。 ○いじめの問題を扱う教材のまともには、マークを目次及び該当ページに示し、目次と該当ページに色付けしている。 ○いじめそのものを扱う教材のほかに、年間を通して、いじめ問題に関連する教材を配置し、巻末の内容項目一覧の「現代的な課題との関わり」で紹介している。 ・ 言葉のおくりもの B友情、信頼 ・ SNSいじめ A善悪の判断、自律、自由と責任	○いじめの問題をテーマとした2つの教材とコラムの構成でユニット化した「いじめを許さない心」を設けている。一つ目の教材の冒頭に、ユニットを貫く問いを配置している。 ○いじめの問題を扱う教材のまともには、マークを目次及び該当ページに示し、目次と該当ページに色付けしている。 ○いじめそのものを扱う教材のほかに、年間を通して、いじめ問題に関連する教材を配置し、巻末の内容項目一覧の「現代的な課題との関わり」で紹介している。 ・ みんな、おかしいよ B相互理解、寛容 ・ ドッジボール対決 B友情、信頼	○いじめの問題をテーマとした複数の教材とコラムの構成でユニット化した「人との関わり(いじめをなくすために)」を設けている。 ○いじめの問題を扱う教材のまともには、「人との関わり(いじめをなくすために)」マークを使って目次教材名の上に示し、ユニットを色付けしている ○いじめそのものを扱う教材のほかに、年間を通して、いじめ問題に関連する教材を配置し、巻末の内容項目一覧の「テーマ」で紹介している。 ・ 真由、班長になる Cよりよい学校生活、集団生活の充実 ・ 名前のない手紙 C公正、公平、社会正義 ・ 折れたタワー B相互理解、寛容	○いじめの問題をテーマとした2つの教材と扉ページの構成でユニット化した「いじめを生まない心」を設けている。扉ページにユニットを貫く問いを配置している。 ○いじめの問題を扱う教材のまともには、「いじめを生まない心」マークを目次及び扉ページに示し、目次と該当ページに色付けしている。 ○いじめそのものを扱う教材のほかに、年間を通して、いじめ問題に関連する教材を配置し、巻末の内容項目一覧の「現代的課題」で紹介している。 ・ ドッジボールを百倍楽しくする方法 B友情、信頼 ・ 光輝の告白 C公正、公平、社会正義	○いじめの問題をテーマとした複数の内容項目の教材を特設ページとともに配置している。 ○いじめの問題を扱う教材には、「いじめ防止」マークを使い目次と該当ページに示している。 ・ すれちがい B相互理解、寛容 ・ いじめをなくすために C公正、公平、社会正義	
内容の表現・表記 ⑦巻頭・巻末等の取扱いの工夫	巻頭 ○目次の前に、詩を掲載している。 ○「なにを学ぶのかな？」では、4つの視点ごとに、教材名等を示している。 ○「どんな学びをするのかな？」「ちょっと話し合ってみよう！」(第2学年以上)を示している。 ○「コンピュータで学びを広げよう」(低学年)「デジタルコンテンツで学びを広げよう」(中・高学年)を示し、デジタルコンテンツの利用方法を説明している。 巻末 ○「学習の記録」「考えるためのツール」を示し、4学年以上に「心情円」を設けている。	巻頭 ○「道徳で学習すること」では、4つの視点ごとに、教材名等を示している。 ○「道徳ではこんな学び方をするよ」では学び方を、「道徳の学習をもっと広げよう」「タブレットを学習に生かそう」ではデジタルコンテンツの利用方法を説明している。 巻末 ○「学習をふり返ろう」「1年間の学習をふり返ろう」を設けている。	巻頭 ○目次の前に、詩を掲載している。 ○「道徳が始まるよ」では、4つの視点ごとに色分けし、道徳の時間に学ぶテーマを示している。 ○第2学年以上には「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」で対話のポイントを、「道徳みちあんない」で1年間に学ぶ教材名等を示している。 巻末 ○「学びの記録」「学びの道工具箱」を示している。	巻頭 ○「道徳のとびら」では、4つの視点ごとに色分けし、道徳の時間に学ぶテーマを示している。 ○「道徳の学び方」を示している。 ○別冊「道徳ノート」の目次には、4つの視点で色分けをし、教材名を示したり、「道徳ノート」の使い方を示したりしている。 巻末 ○「見つけた！ここにも道徳」を示している。	巻頭 ○「豊かな心」では、4つの視点ごとに色分けし、道徳の時間に学ぶテーマを示している。 ○「道徳の時間は、こんな時間です」「いろいろなやり方で考えてみよう」「話し合ってみよう」「まとめよう・ふりかえろう」を示している。 巻末 ○「ことばのたからもの」や折り込みで「学びの足あと」を設けている。	巻頭 ○目次の前に詩を掲載している。 ○「大きな心を育てよう」では、4つの視点ごとに、教材名等を示している。 ○「つながる私 広がる私」「道徳の学習が始まるよ」を示している。 巻末 ○「つなげよう 広げよう」を設けている。	

		○内容項目別教材一覧表を4つの視点別で示し、テーマや他教科等との関連等を記載している。	○教材に活用する「資料」を掲載している。 ○内容項目別教材一覧表を4つの視点別で示し、他の教科・領域・SDGsとの関連を記載している。	○第3学年以上に、日本の伝統文化等について掲載している。 ○内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、現代的な課題等との関わり、他教科・領域との関わりを記載している。	○別冊「道徳ノート」の巻末「見つけた！ここにも道徳」には、今までの道徳の学習とのつながりを考えて書くページを設けている。 ○内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、他教科等との関連を記載している。	○内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、現代的課題、他教科との関連等を記載している。	○内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、デジタルコンテンツとの関連を記載している。
⑧教材の内容を理解させる工夫	<p>マーク →場所 …活用例</p> <p>○4つの視点 →主題・教材名の上</p> <p>○「つながる・広がる」 →教材文の終わり …他教科等と関連付けた学習</p> <p>○「考えよう」 →教材文の終わり …道徳的価値に迫る中心的な発問</p> <p>○「安心・安全」 「情報モラル」 「『いじめ』について」 「『いのち』について」 「『じぶん』について」 →目次 …現代的な課題に取り組むユニット</p> <p>○「鉛筆」 →教材文の終わり、数か所 …自分の考えを書き込む欄</p> <p>○二次元コード →教材冒頭等 …朗読、スライドショー等のデジタルコンテンツへのリンク</p> <p>キャラクター…活用例 「男女2人の児童」 …生活につながる問いかけ</p>	<p>マーク →場所 …活用例</p> <p>○4つの視点 →主題・教材名の上</p> <p>○「ユニット名」 →目次 …特に大切にしているテーマ</p> <p>○「解決」「かいつ」 →目次 …問題解決的な学習の流れを示している教材</p> <p>○「体験」「たいけん」 →目次 …体験的な学習（役割演技）を促す教材</p> <p>○「考えよう」 →教材文の終わり …ねらいとする道徳的価値に関わる中心的発問</p> <p>○「考えよう」 「深めよう」 「つなげよう」 「やってみよう」 →教材文後に …学習の手引</p> <p>○「問題を見つける」 「解決方法を考える①」 「解決方法を考える②」 「考えたことを生かす」 →教材文の終わり、2～4か所 …学習の手引</p> <p>○「まなびリンク」二次元コード →教材冒頭等 …あらすじ、登場人物紹介、参考図書等のデジタルコンテンツへのリンク</p> <p>キャラクター…活用例 「マナビイ」 …主題を意識させる問いかけ</p>	<p>マーク →場所 …活用例</p> <p>○4つの視点 →教材名の上</p> <p>○「話とコラムをあわせて学習するまとまり」 →目次、本文ユニットの冒頭 …教材名、ユニット名とともに色付け</p> <p>○「内容項目の扉」 →2学年以上教材冒頭 …キャラクターによる教材に関する言葉</p> <p>○「コラム」 「心を通わせよう」 「考える準備たいそう」 「学びの準備」 →目次 …現代的な課題について考えることができる内容やソシヤルスキルトレーニング等</p> <p>○「考えよう・話し合おう」 「つなげよう（第2学年以上）」 →教材文の終わり …学びのめあてや他教科等との関連等</p> <p>○「考えよう・話し合おう」 →教材文の終わり …特に考えさせたい中心的な発問</p> <p>○「家の人といっしょに考えてほしいこと」 「SDGs（第2学年以上）」 「国・社・理等」 →教材文の終わり …持続可能な開発目標、他教科や特別活動等との関わり</p> <p>○二次元コード →教材冒頭等 …朗読、動画、写真等のデジタルコンテンツへのリンク</p> <p>キャラクター…活用例 「ころん」 「きりりん」 「もやもやん」（第2学年以上） …生活や学びにつながる問いかけ、考えたことの問い直し</p>	<p>マーク →場所 …活用例</p> <p>○4つの視点 →主題・教材名の上</p> <p>○「安全な暮らし」 「情報モラル」 「人との関わり」 「よりよい社会」 →目次 …現代的な課題を考える内容</p> <p>○「考えをぐっと深めるページ」 →目次教材名や該当ページの下 …「問題解決的な学習」や「体験的な学習」等の教材</p> <p>○「考えてみよう」 「見つめよう・生かそう」 →教材文の終わり …道徳的価値に迫る中心的な発問</p> <p>○「ふろく」 →巻末 …補助教材</p> <p>○「心のベンチ」 →目次や該当ページ …道徳的価値について考えを広げ深めるためのコラム</p> <p>○「SDGsで考えよう（第3学年以上）」 →「心のベンチ」の一教材文の右上と巻末 …SDGsの視点</p> <p>○二次元コード →教材冒頭等 …動画、画像等のデジタルコンテンツへのリンク</p> <p>キャラクター…活用例 「コロウ」 …教材冒頭での問いかけ 「あおい」 「そうた」 「ほのか」 「えいと」 …「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」でねらいに迫る問いかけ</p>	<p>マーク →場所 …活用例</p> <p>○4つの視点 →主題・教材名の上</p> <p>○「いじめを生まない心」 「命をかがやかせる」 「世界中いろいろな人とつながるために」 →目次や該当ページ …現代的な課題や学年独自のテーマ</p> <p>○「かんがえよう」 「まとめよう」 「ひろげよう」 →教材文の終わり …導入・展開・発展等の発問</p> <p>○「お話とつなげて、考えを広げたり、深めたりしよう」 「みんなでやってみよう！」 「情報モラル」 「へこんでも立ち直る」 「SDGs」 →目次や該当ページ …関係するコラム</p> <p>○「ことばのたからもの」 →目次や該当ページ …「みんなに知ってほしい、すてきな言葉」の紹介</p> <p>○「学びの足あと」 →目次 …授業の記録を書く欄</p> <p>○二次元コード →教材冒頭等 …写真や動画等のデジタルコンテンツへのリンク</p> <p>キャラクター…活用例 「みらいさん」 「ゆたかさん」 「ドミン」 …考えるためのポイントや多様な感じ方・考え方を示す問いかけ</p>	<p>マーク →場所 …活用例</p> <p>○4つの視点 →教材名の上</p> <p>○「いのち」 「みんなで」 「みらいへ」 →目次 …内容項目が異なる2教材を連続して学ぶユニット教材</p> <p>○「ハートマーク」 「クエスチョンマーク」 「エクスクラメーションマーク」 →教材中 …考えるきっかけとなる言葉</p> <p>○「心のパスポート」 「深めよう」 →目次や該当ページ …多面的・多角的に考える特設ページ</p> <p>○「考えよう」 →教材文の終わり …道徳的価値に迫る中心的な発問</p> <p>○「鉛筆」 →巻頭、巻末、深めよう、心のパスポート等 …自分の気付きや思いを書き込む欄</p> <p>○「現代的な課題」 →巻頭、目次、該当ページ …現代的課題へのつながり</p> <p>○「情報モラル」 →目次と該当教材ページ下 …情報モラルを扱った教材</p> <p>○二次元コード →教材冒頭等 …写真や音声等のデジタルコンテンツへのリンク</p> <p>キャラクター…活用例 「明日香」 「未来」 …目次や教材の挿絵。（低学年から高学年の教科書にかけて、成長している人物絵になっている。）</p>	

言語活動 の充実	<p>⑨考えを伝え合う活動の工夫</p> <p>(例：第5学年)</p>	<p>○巻頭「どんな学びをするのかな？」の「考える」に、話合いのポイント等をイラストとともに示している。 「自分の考えを話しましょう。」 「友達の考えを、よく聞きましょう。」</p> <p>○巻頭「ちょっと話し合ってみよう！」(第2学年以上)に、児童がミニ教材を用いて話し合う様子をイラストとともに示している。 「私だったら・・・。」 「例えば・・・。」</p> <p>○教材の終わりの「つながる∞広がる」で、話合いを促している。 ・<u>流行おくれ</u> 「あなたは、自分の持ち物を大切にしようとしていますか。大切に使い続けるためのひけつを友達と話し合ってみましょう。」</p>	<p>○巻頭「道徳ではこんな学び方をするよ」の中で、イラストとともに話合いのポイントを示している。 「自分の考えを伝えるときは、きちんと分かりやすく話そう。」</p> <p>○巻頭「道徳の学習をもっと広げよう」ではデジタル機器を活用した言語活動例を示している。 ・グループで意見を出し合う。 ・グループやクラス全体で発表する。</p> <p>○教材の終わりの「考えよう」「深めよう」「つなげよう」で、話合いを促している。 ・<u>稲むらの火</u> 「自分が五兵衛だったら、どのような行動をとったと思いますか。みんなで話し合ってみよう。」</p>	<p>○巻頭「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」の中に、話合いのポイント等をイラストとともに示している。 「□さんの考えを聞いて、△△という見方に気づいたよ。」 「みんなで気持ちよく話し合うためのこつを意識して、話し合ってみましょう。」</p> <p>○教材の終わりの「考えよう・話し合おう」「つなげよう」で、話合いを促している。 ・<u>友のしょうぞう画</u> 「友達と支え合えてよかったなと思ったことを、しょうかいし合おう。」</p> <p>○「考えるヒント」や「考えるじゅんびたいそう」のページに、話合いのポイントを示したり、話合いを促したりしている。 ・<u>友のしょうぞう画</u> 「発表されたなみだの中から、心に残ったなみだを選び、その理由を話し合いましょう。」</p>	<p>○巻頭「道徳の学び方」の中に、話合いのポイントや状況等を二次元コードや写真とともに示している。 「気付いたことを友達と話し合って、自分の見方を広げ、考えを深めよう。」</p> <p>○教材の終わりの「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」の中で、話合いを促している。 ・<u>「真由、班長になる」</u> 「みんなが気持ちよく集団生活をするためにたいせつにしたい心がまえについて話し合おう。」</p> <p>○「ぐっと深める」の教材で、写真やキャラクターとともに話合いを促している。 ・<u>うばわれた自由</u> 「ガリユーのいう本当の自由とは、どのようなものだろう。話合いを通して考えてみよう。」</p>	<p>○巻頭「道徳の時間は、こんな時間です」の中に、話合いのポイント等をイラストとともに示している。 「いろいろな人の考えを聞いて話し合い、考えを広げたり、深めたりしましょう。」</p> <p>○巻頭「話し合ってみよう」では、話し合う活動をイラストで提示し、話合いのポイントや対話ツールを示している。 「言葉のカード(対話ツール)にはこんなものがあるよ。」</p> <p>○教材の終わりの「ひろげよう」の中で、話合いを促している。 ・<u>明日へ向かって</u> 「災害やボランティアの実態について調べ、自分たちにどのようなボランティアができるか話し合ってみよう。」</p>	<p>○巻頭「道徳の学習が始まるよ」に、イラストとともに話合い活動を促している。 「話し合おう：いろいろなもの見方、感じ方、考え方にふれよう。」</p> <p>○「心のパスポート」の中で、話合いを促している。 「これからの自分について考えよう」「あなたの考える『自由』はどんなものですか。話し合ってみましょう。」</p> <p>○教材の終わりの「深めよう」の中に、話合いを促したり、言語活動例を示したりしている。 ・<u>植物と共に 牧野富太郎</u> 「グループやクラスで考えたことを話し合ってみましょう。」</p>
	<p>⑩考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</p>	<p>○巻末に、学期末に心に残った題名と内容を記述する欄を設けている。【6回分】 【学習の記録】 「心に残ったお話について書きましよう。」</p> <p>○巻末に、学期末に道徳で学んだことを振り返って記述する欄を設けている。【3回分】 【学習の記録】 「道徳の学習をふり返って、感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしたいことなどを書きましよう。」</p>	<p>○教材の終わりに自己評価をマークや言葉で書く欄を設けている。【35回分】 (自己評価の観点の例) ・しっかり考えられた ・新しく気づいたことがあった ・大切にしたいことがわかった</p> <p>○巻末に、学習した教材で心に残ったこと等を記述するページを設けている。【6回分】 「学習をふり返ろう」 「どんな教材が心に残ったかな。」</p> <p>○巻末に、年度末に道徳で学んだことを振り返って記入する欄を設けている。【2回分】 「1年間の学習をふり返ろう」 「1年間の道徳の学習を通して、感じたことや考えたことを書きましよう。」</p>	<p>○巻末折込に、毎時間に学んだことなどを振り返って記述したり、自己評価をシールで貼ったりする欄を設けている。【35回分】 1～4年生 自己評価シール 5～6年生 自己評価記述欄 【学びの記録】 「道徳の授業でできたことを、記録ましよう。」 「3つの観点について、当てはまるところには、○印をつけましよう」 (自己評価の観点の例) ・自分のこととして考えることができた。 ・友達の考えを聞いて、自分の考えが深まった。 ・もっと考えたい、やってみたことが見つかった。</p>	<p>○別冊「道徳ノート」の中に自分が気付いたことや考えたこと、友だちの意見や話し合ったこと等を記述する欄を設けている。【39回分】</p> <p>○別冊「道徳ノート」に学習を振り返って自己評価をマークで描く欄を設けている。【39回分】 (自己評価の観点の例) ・しっかり考えた ・友達の意見から新しく気づいたことがあった ・これから大切にしたいことがわかった</p> <p>○学期末に心に残った話と理由を書くページを設けている。【3回分】 「ここまでの学習をふり返ってみよう。」 「心に残ったお話はありましたか。その理由も書きましよう。」 「心に残ったお話をすることをおうちのの人に教えてあげよう。」</p>	<p>○巻末に学習した日付、教材番号、学んだことや思ったこと等を記入する欄を設けている。【36回分】 【学びの足あと】 「授業を受けた後の気持ちを矢印で表ましよう。」 「そのような矢印にしたわけや、分かったこと、感じたこと、やってみたいと思ったことを書きましよう。」</p> <p>○巻末に、学期末や年度末に、道徳で学んだことをまとめて記入する欄を設けている。【3回分】 【学びの足あと】 「道徳で学んだことを、まとめましよう。」</p>	<p>○巻末に、道徳の学習を通して、心に残ったお話や出来事、心に残った言葉、人に伝えたい言葉等を記入し、1年間の学びを振り返るページを設けている。【1回分】 【つなげよう広げよう】 「道徳の学習で心に残ったお話や出来事を書こう。」 「心に残った言葉、人に伝えたい言葉を書こう。」 ・心に残った友だちや先生の言葉 ・友だちや家の人に伝えたい言葉 ・○年生になる自分へメッセージ</p>